

令和7年度  
学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業

# 成果報告書

(デジタル教科書の効果・影響の把握に資する  
大規模アンケート調査等)

2026年3月31日



Build Beyond As One.

# 目次

## 1. 事業概要 p.2

---

- 1.1. 本事業の背景・目的 3
- 1.2. 本事業の全体像 4
- 1.3. 有識者会議の開催 5

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要 p.6

---

- 2.1. 標本設計 7
- 2.2. 調査方針 8
- 2.3. 分析テーマ一覧 9
- 2.4. 調査概要 12
- 2.5. 調査対象数 16
- 2.6. 調査回答数 17

## 3. 主な分析結果のまとめ p.18

---

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果 p.27

---

- 4.1. 分析結果の見方 28
- 4.2. テーマ別分析結果 29
- 4.3. 追加ヒアリング調査結果 106
- 参考 主なデータの教科別サンプル数 109
- 経年変化分析の留意点 111

## 別添資料

---

- 1. アンケート調査票（教師向け調査）
- 2. アンケート調査票（低学年児童向け調査）
- 3. アンケート調査票（中高学年児童・中学生向け調査）

# 1. 事業概要

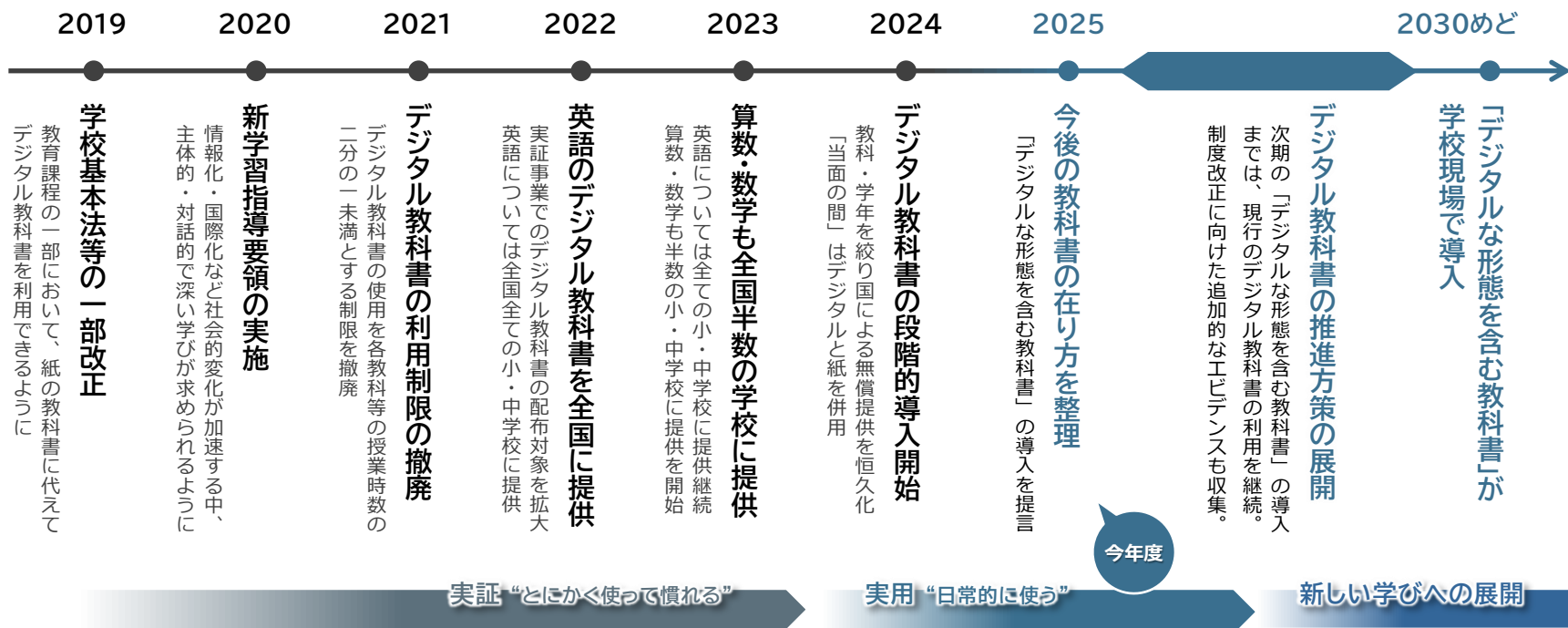


# 1. 事業概要

## 1.1. 本事業の背景・目的

- 学習者用デジタル教科書（以下「デジタル教科書」という。）は、2019年の法改正により、紙の教科書に代えて使用できる教材として位置付けられ、英語を皮切りにデジタル教科書の段階的な導入が進められてきました。また、中央教育審議会の下に設置された「デジタル教科書推進WG」の審議まとめ（2025年）においては、今後は、**教科書の形態として紙だけでなくデジタルも認め、検定・採択・義務教育段階の無償給与などの対象とすることが適当とされました。**
- これを受けて、所要の制度改革を前提に、**デジタルも取り入れて作成される新たな教科書（デジタルな形態を含む教科書）が導入され、現行のデジタル教科書の活用の成果を踏まえつつ、学校現場で広く活用されることとなります。**本事業では、これら議論のエビデンスとなる情報を収集・整理することを目的に実施しました。

デジタル教科書の導入に係るこれまでの経緯と今後の動き



# 1. 事業概要

## 1.2. 本事業の全体像

- 前述の背景・目的から、本事業では次の3つの調査研究を実施しました。
- ①「**研修に関する調査研究**」では、全国5の都道府県教育委員会と連携し、有識者（次頁参照）の指導助言の下で、デジタル教科書の活用促進に関する研修の改善に取り組みました。②「**授業改善に関する調査研究**」では、全国から小学校を2校、中学校を3校選定し、同校と連携してデジタル教科書等を活用した授業改善に取り組みました。さらに、全国の小・中学校の教員及び児童生徒に対する③「**大規模アンケート調査等**」の実施を通じて、デジタル教科書が学習に及ぼす効果・影響を定量的・定性的に把握・分析しました。このうち、本書は、③「**大規模アンケート調査等**」の結果をまとめたものです。

### 本事業を構成する3つの調査研究

	都道府県教育委員会における 研修に関する調査研究	市町村教委及び実証研究校における 授業改善に関する調査研究	デジタル教科書の効果・影響の把握に資する 大規模アンケート調査等
対象	<ul style="list-style-type: none"><li>全国5の都道府県教育委員会（埼玉県、福井県、奈良県、熊本県、鹿児島県）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>左記の参加県教育委員会管下の小学校2校、中学校3校 ※低学年（小学校1~4年）1校含む</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>全国の小・中学校に所属する教員及び児童生徒（標本抽出）</li></ul>
実施内容	<ul style="list-style-type: none"><li>都道府県教育委員会が実施するデジタル教科書の活用に係る研修（年内2回）を対象に、有識者の指導助言の下、その改善に取り組んだ。</li><li>研修の成果を定性的・定量的に評価し、どのように研修を実施すれば、効果的なデジタル教科書の活用促進に繋がるのかを検証した。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>各校において、主要5教科（外国語、算数・数学、国語、理科、社会）の授業（年内2回）を対象に、有識者の指導助言の下、その改善と実践に取り組んだ。</li><li>また、一部では各校の取組を校内・地域内に展開。市町村教育委員会等とも連携し、デジタル教科書の活用促進を図った。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>全国の小・中学校のうち、外国語、算数・数学のほか複数教科のデジタル教科書を使用している学校を対象に、教員及び児童生徒を抽出し、アンケート調査を実施した。</li><li>過年度との比較から経年変化を分析するほか、新規の調査観点を追加し分析を行った。</li><li>特別な配慮を必要とする児童生徒への影響については追加ヒアリング調査も実施。</li></ul>
成果物	<ul style="list-style-type: none"><li>研修計画、研修に使用した資料等一式</li><li>研修効果の検証結果 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>実践事例集</li><li>実践事例動画 など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>アンケート調査結果</li><li>追加ヒアリング調査結果 など</li></ul>

本書の対象

# 1. 事業概要

## 1.3. 有識者会議の開催

- 本事業では、各調査研究の実施に当たっての指導・助言を得るため、デジタル教科書等の活用や各教科の指導に精通する有識者にご協力いただきました。また、各有識者には、「研修に関する調査研究」及び「授業改善に関する調査研究」について討議するWG、「大規模アンケート調査等」について討議するWGに参画いただき、本事業の実施内容及び成果に助言を頂きました。

有識者（WG委員）一覧

氏名	所属・職名	研修	授業改善	アンケート	担当県・教科
<b>主査</b> 中川 一史	放送大学 教授	○	○	○	—
<b>副査※1</b> 中橋 雄	日本大学 教授	○	○	○	—
齋藤 嘉則	東京学芸大学 教授	○	○	—	—※3
太田 洋	東京家政大学 教授	○※2	○※2	—	鹿児島県 (外国語)
岡部 恭幸	神戸大学 教授	○※2	○※2	—	福井県 (算数)
佐藤 幸江	放送大学 客員教授	○※2	○※2	—	奈良県 (国語)
岩崎 有朋	札幌国際大学 教授	○※2	○※2	—	熊本県 (理科)
<b>副査※1</b> 小林 祐紀	放送大学 准教授	○※2	○※2	—	埼玉県 (社会)
<b>副査※1</b> 稲垣 忠	東北学院大学 教授	—	—	○	—
齊藤 萌木	聖心女子大学 講師	—	—	○	—

- ※1 研修に関する調査研究の副査を小林委員、授業改善に関する調査研究の副査を中橋委員、アンケートWGの副査を稲垣委員にそれぞれ依頼した。
- ※2 各委員には本事業に参加した全国5の県教育委員会が行う研修の内容等に直接の指導・助言を依頼し、各県の実証研究校における授業改善に関する指導・助言も依頼した。
- ※3 埼玉県研修における外国語科の視点からの指導・助言を担当いただいた。

開催要領

### 第1回 研修・授業改善WG

日時： 2025年7月18日  
議事： 実証研究状況の報告及び以降の取組に向けた意見交換

### 第2回 研修・授業改善WG

日時： 2025年11月12日  
議事： 実証研究状況の報告及び以降の取組に向けた意見交換

### 第3回 研修・授業改善WG

日時： 2026年3月5日  
議事： 実証研究結果の報告  
研修・授業改善における成果と課題及び今後の取組方針に関する意見聴取

### 第1回 アンケート調査WG

日時： 2025年8月（書面開催）  
議事： 調査方針及び設問設計に対する意見聴取  
標本設計に対する意見聴取

### 第2回 アンケート調査WG

日時： 2026年2月27日  
議事： アンケート集計・分析結果の報告  
分析結果に対する意見聴取

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要



## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.1. 標本設計

- 調査の実施にあたり、標本から母集団を正しく推定する上で統計的に十分な調査対象数を確保しつつ、学校現場の回答負担を抑制する観点から、必要以上に調査規模を大きくせずに精度を担保できるよう、標本設計を行いました。
- 以下のとおり、調査対象校の地域、学校規模、教科書発行者の割合が、全国と同程度の割合になるように考慮しています。

#### 調査対象数

##### 基本方針

- 児童生徒については教科別※1・発達段階別※2に、教員については教科別・校種別に、「**標本誤差±2.5%（信頼基準95%）**」を達成する上で**必要な回答数（約1,500人）を確保**する。
- **回収率は、昨年度調査を踏まえて、60%を仮定**し、上記で算定した必要な回答数（約1,500人）よりも余裕のある**調査対象数（約2,600人）を確保**する。
- 上記の方針の下、**必要以上に調査規模を大きくせずに調査を行い、学校現場の負担を抑制**する。

##### 留意事項

- 英語、算数・数学以外の教科は、ごく一部の学校にしかデジタル教科書を配布していないため、教科別に上記標本誤差を達成するために必要な回答数を確保できない。
- そこで、英語、算数・数学以外の教科については、可能な限り多くの回答数を確保した上で、その回答数から計算される標本誤差とあわせて、調査結果の妥当性を評価する。

※1 「英語」、「算数・数学」及び「その他の教科」を言う。 ※2 「小学校低学年児童」、「小学校中学年児童」、「小学校高学年児童」及び「中学校生徒」を言う。

※3 「北海道」、「東北」、「関東」、「中部」、「近畿」、「中国・四国」及び「九州」を言う。

※4 「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き」の基準により、小学校は2クラス以下を小規模校、3～6クラスを中規模校、7クラス以上を大規模校とする。中学校は11クラス以下を小規模校、12～18クラスを中規模校、19クラス以上を大規模校とする。

#### 抽出方法

##### 基本方針

- 母集団を正しく推定できるよう、**地域、学校規模、教科書発行者の偏りに留意**して調査対象校を抽出する。
- 具体的には、**地域別※3、学校規模別※4に層別した上で、全国と同様の割合となるように調査対象校を抽出**する。
- その上で、抽出された調査対象校における**教科書発行者の割合が、全国の導入割合と乖離していないことを確認**し、乖離している場合には必要な調整を行う。  
(全国で100校以上の調査対象校を確保していることから、全国的な割合と乖離することは考えにくいですが、念のため確認する。)

##### 留意事項

- 英語、算数・数学以外の教科は、ごく一部の学校にしかデジタル教科書を配布していないため、必ずしも上記のとおり、抽出を行うことができない。
- そこで、英語、算数・数学以外の教科については、特定の学校に調査負担が偏らないよう（例えば、同一校に複数教科について問うなど）に配慮した上で、可能な限り多くの回答数を確保できるよう抽出する。

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.2. 調査方針

- 今年度の調査では、デジタル教科書の使用状況や課題などは過年度に引き続き調査しつつ、新たに**デジタル教科書と紙の教科書の特性が活かせる具体的な活用場面**を把握し、教科書の形態としてデジタルも認めることとした、中央教育審議会の審議まとめを踏まえた施策の検討に繋げることを目的としました。
- この検討に当たっては、デジタル教科書の活用による効果・影響等に関する知見を有し、過年度の大規模アンケート調査の設計にもご協力をいただいた有識者（p.5参照）から、ご意見を伺いました。

調査の目的：デジタル教科書の効果・影響を把握し、  
今後の在り方を検討するための政策的な材料を得る

#### デジタル教科書活用の程度に関する調査

授業内でどのくらい使用されているか。

授業外でデジタル教科書に関する情報にどのくらい触れているか。

#### デジタル教科書活用の内容に関する調査

活用の効果は何か。

教師が感じる効果は何か。

デジタルだからこそ感じる効果は何か。

紙の教科書と比較したときの効果は何か。

児童生徒が感じる効果は何か。

活用の課題は何か。

分析テーマ（番号は報告書内の掲載順）

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

⑦ 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書の活用

⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

② デジタル教科書による授業改善の効果

③ 紙の教科書との比較における効果

④ デジタル教科書の使用が児童生徒の学びにもたらす影響

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての課題感や情報モラル・健康面への影響

新

新

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.3. 分析テーマ一覧（1/3）

- 前ページの「調査方針」に基づき、学習者用デジタル教科書の効果・影響等を把握するための40の分析テーマを設定しました。

分析テーマ（1/3）※赤字は今年度新たに分析したテーマ

分析テーマ一覧	掲載ページ
① 授業中のデジタル教科書の使用状況	
①-1 教師のデジタル教科書の使用歴及び今年度の使用開始時期	p.29
①-2 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度	p.30
①-3 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化	p.31
①-4 教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係	p.32
①-5 教師のデジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度	p.34
①-6 教師のデジタル教科書の使用歴と、デジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度の関係	p.35
①-7 児童生徒の学習場面別の授業でのデジタル教科書の使用頻度	p.36
② デジタル教科書による授業改善の効果	
②-1 デジタル教科書の導入による授業改善への意識の変化	p.37
②-2 教師のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書の導入による授業改善への意識の変化の関係	p.38
②-3 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）	p.39
②-4 教師のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係	p.40
②-5 教師のデジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係	p.43
②-6 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科固有の観点）	p.45

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.3. 分析テーマ一覧 (2/3)

- 前ページの続きです。

分析テーマ (2/3) ※赤字は今年度新たに分析したテーマ

分析テーマ一覧	掲載ページ
③ 紙の教科書との比較における効果	
③-1 紙の教科書を引き続き使用している場面	p.49
③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係	p.50
④ デジタル教科書の使用が児童生徒の学びにもたらす影響	
④-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連	p.57
④-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連	p.60
④-3 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連	p.63
④-4 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連	p.66
④-5 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連	p.69
④-6 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連	p.72
④-7 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連	p.75
④-8 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連	p.78
④-9 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きになった時期」の関連	p.81
④-10 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「自己効力感」の関連	p.84
④-11 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「情報活用能力」の関連	p.87
④-12 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と授業外の学習時間の関連	p.90

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.3. 分析テーマ一覧 (3/3)

- 前ページの続きです。

分析テーマ (3/3) ※赤字は今年度新たに分析したテーマ

分析テーマ一覧	掲載ページ
⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての課題感や情報モラル・健康面への影響	
⑤-1 デジタル教科書を使用するにあたっての教師の課題感	p.93
⑤-2 デジタル教科書を使用するにあたっての教師の課題感の経年変化	p.94
⑤-3 デジタル教科書の授業内での使用歴とデジタル教科書の課題感の関連	p.95
⑤-4 デジタル教科書の授業内での使用頻度とデジタル教科書の課題感の関連	p.96
⑤-5 デジタル教科書の活用と情報モラルとの関係	p.97
⑤-6 デジタル教科書の授業内での使用頻度と情報モラルの関連	p.98
⑤-7 児童生徒の健康面への影響の経年変化	p.99
⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験	
⑥-1 デジタル教科書に関する情報に触れた経験の経年変化	p.100
⑥-2 デジタル教科書に関する研修を受けた経験の経年変化	p.101
⑥-3 デジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書に関する研修を受けた経験の関連	p.102
⑥-4 デジタル教科書の使用頻度と、受けたことのある研修の内容の関連	p.103
⑥-5 デジタル教科書に関する研修を受けた経験と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開の関連	p.104
⑦ 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書の活用	
⑦-1 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導において、デジタル教科書を活用している観点	p.105

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.4. 調査概要（1/4：教師向け調査）

- 教師向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料①「アンケート調査票（教師向け調査）」を参照ください。

調査概要（教師向け調査） ※赤字は今年度新たに追加した設問

調査対象教科 ※	国語、算数、数学、英語、理科、社会（地理、歴史、公民）、技術・家庭、音楽、図画工作、美術、道徳	
調査対象者	令和7年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された小学校、中学校又は特別支援学校に属する教師	
回答期間	令和7年11月12日～12月24日（未回答者への督促期間を含む。）	
調査項目	Q.1 回答する教科 Q.2 学習者用デジタル教科書を使用している学年・担当クラス Q.3 学習者用デジタル教科書の使用開始時期 Q.4 学習者用デジタル教科書の本年度における使用開始時期 Q.5 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.6 学習支援ソフトの授業での使用頻度 Q.7 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導有無 Q.8 教師が指導している学級 Q.9 必要な配慮の内容 Q.10 学習者用デジタル教科書の使用による授業改善意識の効果 Q.11 学習者用デジタル教科書の使用による授業改善の効果 Q.12 学習媒体の指定状況	Q.13 学習者用デジタル教科書で可能になった授業展開（教科共通の観点） Q.14 学習者用デジタル教科書で可能になった授業展開（教科固有の観点） Q.15 紙の教科書を使用している授業場面 Q.16 情報活用能力（特に情報モラル）との関係 Q.17 学習者用デジタル教科書の導入に当たっての課題 Q.18 デジタル教科書の活用方法に関する情報に触れる機会の有無 Q.19 デジタル教科書の活用方法に関する情報にどのように触れたか Q.20 学習者用デジタル教科書に関する研修を受けたことがあるか Q.21 どのような研修を受けたことがあるか

※ 保健、保健体育については、今年度事業でデジタル教科書を配布していないため、調査対象教科から外れている。

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.4. 調査概要（2/4：小学校低学年児童向け調査）

- 小学校低学年児童向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料②「アンケート調査票（低学年児童向け調査）」を参照ください。

調査概要（低学年児童向け調査）※赤字は今年度新たに追加した設問

調査対象教科 ※	算数、図画工作、音楽
調査対象者	令和7年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された小学校又は特別支援学校小学部に属する低学年児童（1、2年生）
回答期間	令和7年11月12日～12月24日（未回答者への督促期間を含む。）
調査項目	Q.1 回答者の学年 Q.2 回答者のクラス Q.3 学習者用デジタル教科書の選択状況 Q.4 学習者用デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感 Q.5 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.6 回答対象の教科の勉強が好きか Q.7 回答対象の教科の勉強が好きになった時期 Q.8 回答対象の教科の理解度 Q.9 学習者用デジタル教科書で便利だと感じたこと（自由記述） Q.10 学習者用デジタル教科書で不便だと感じたこと（自由記述）

※ 国語、生活、道徳については、今年度事業でデジタル教科書を配布していないため、調査対象教科から外れている。

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.4. 調査概要（3/4：小学校中高学年児童向け調査）

- 小学校中高学年児童向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料③「アンケート調査票（中高学年児童・中学生向け調査）」を参照ください。

調査概要（中高学年児童向け調査）※赤字は今年度新たに追加した設問

調査対象教科 ※	国語、算数、英語（高学年のみ）、理科、社会、道徳、図画工作、音楽	
調査対象者	令和7年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された小学校又は特別支援学校小学部に属する中高学年児童（3～6年生）	
回答期間	令和7年11月12日～12月24日（未回答者への督促期間を含む。）	
調査項目	Q.1 回答者の学年 Q.2 回答者のクラス Q.3 学習者用デジタル教科書の選択状況 Q.4 学習者用デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感 Q.5 学習者用デジタル教科書の健康面への影響 Q.6 回答対象の教科の理解度 Q.7 学習者用デジタル教科書の影響（主体的な学び） Q.8 学習者用デジタル教科書の影響（協働的な学び）	Q.9 学習者用デジタル教科書の影響（探究的な学び） Q.10 回答対象の教科の勉強が好きか Q.11 回答対象の教科の勉強が好きになった時期 Q.12 学習者用デジタル教科書の影響（自己効力感） Q.13 学習者用デジタル教科書の影響（情報活用能力） Q.14 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度 Q.15 学習場面別の学習者用デジタル教科書の使用頻度 Q.16 学校の授業時間以外の勉強時間

※ 保健、家庭については、今年度事業でデジタル教科書を配布していないため、調査対象教科から外れている。

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.4. 調査概要（4/4：中学生向け調査）

- 中学生向け調査の概要は以下のとおりです。
- 設問と選択肢の詳細については、別添資料③「アンケート調査票（中高学年児童・中学生向け調査）」を参照ください。

調査概要（中学生向け調査）※赤字は今年度新たに追加した設問

調査対象教科 ※	国語、数学、英語、理科、社会（地理、歴史、公民）、道徳、美術、技術、家庭、音楽
調査対象者	令和7年度「学習者用デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業」等において、国からデジタル教科書が配布された中学校又は特別支援学校中学部に属する生徒
回答期間	令和7年11月12日～12月24日（未回答者への督促期間を含む。）
調査項目	<p>Q.1 回答者の学年</p> <p>Q.2 回答者のクラス</p> <p>Q.3 学習者用デジタル教科書の選択状況</p> <p>Q.4 学習者用デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感</p> <p>Q.5 学習者用デジタル教科書の健康面への影響</p> <p>Q.6 回答対象の教科の理解度</p> <p>Q.7 学習者用デジタル教科書の影響（主体的な学び）</p> <p>Q.8 学習者用デジタル教科書の影響（協働的な学び）</p> <p>Q.9 学習者用デジタル教科書の影響（探究的な学び）</p> <p>Q.10 回答対象の教科の勉強が好きか</p> <p>Q.11 回答対象の教科の勉強が好きになった時期</p> <p>Q.12 学習者用デジタル教科書の影響（自己効力感）</p> <p>Q.13 学習者用デジタル教科書の影響（情報活用能力）</p> <p>Q.14 学習者用デジタル教科書の授業での使用頻度</p> <p>Q.15 学習場面別の学習者用デジタル教科書の使用頻度</p> <p>Q.16 学校の授業時間以外の勉強時間</p>

※ 保健体育については、今年度事業でデジタル教科書を配布していないため、調査対象教科から外れている。

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.5. 調査対象数

- p.7「標本設計」の方針に基づき、以下のとおり、調査対象を抽出の上、アンケート調査への回答を求めました。
- デジタル教科書を配布した児童生徒・教員が十分にある教科（主に英語、算数・数学、国語、理科、社会など主要5教科）については、発達段階別に統計的に必要な精度を確保できるよう、調査対象数を設定しています。

調査対象数（全体）

	小学校			教師	中学校	
	児童				生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
対象者数 (人)	306	346	20,784	6,970	44,480	5,732

調査対象数（教科別）

	小学校				中学校	
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
国語	0	0	6,856	283	8,424	111
算数	106	104	2,794	2,600	2,630	2,616
英語	-	-	2,850	3,738	2,659	2,638
理科	-	69	2,480	95	15,939	219
社会	-	0	5,086	212	7,406	88
道徳	0	0	201	6	512	28
図画工作	40	36	12	2	1,290	7
音楽	160	137	515	22	521	4
					1,152	7
					3,946	14

#### 【補足】

- 各学校の教師数は児童生徒数よりも少ないため、教師の必要回答数を満たすために「教師のみを対象として調査を行う学校」が存在する。
- 教師数は、デジタル教科書の必要冊数に係る事前調査結果から、以下のとおり、推計している。
  - 小学校：各学年のクラス数の合計を教師数と見なす。
  - 中学校：教科別の担当教員数の合計を総教師数と見なす。ただし、掛け持ちが予想される教科（地図、書写、器楽、道徳）は、重複を排除した値を計上。なお、本事業以外でデジタル教科書を配布した教科（英語、算数・数学）については、教科別の担当教員数を把握していないため、本事業の参加校における担当教員数とクラス数の比率から、教員数を総クラス数の3分の1と仮定して推計。

## 2. 大規模アンケート調査の実施概要

### 2.6. 調査回答数

- 教師調査の英語、算数・数学及び児童生徒調査の英語、算数・数学、国語、理科、社会、音楽（中学生のみ）については、発達段階別に1,000以上の回答を収集でき、信頼水準95%での標本誤差が2.5%未満となっています。
- 一部の発達段階・教科については、デジタル教科書を配布した学校がごく少数であることから、十分な調査回答数を確保できず、標本誤差が大きく、アンケート調査による「集計値」と「真の値」との間に誤差を含む可能性があることに留意が必要です。

調査回答数（全体）

	小学校			中学校		
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
対象者数 (人)	162	571	15,194	5,754	26,439	3,283

調査回答数（教科別）

	小学校				中学校	
	児童			教師	生徒 (全学年)	教師
	低学年	中学年	高学年			
国語	-	222	4,971	324	3,796	54
算数	36	169	2,524	3,354	2,277	1,438
英語	-	-	2,038	1,751	2,942	1,566
理科	-	60	1,746	75	9,957	117
社会	-	66	3,658	142	3,343	62
道徳	-	-	0	46	307	9
図画工作	30	28	15	11	759	7
家庭	-	-	-	8	299	8
音楽	96	26	242	43	158	9
					2,601	13

#### 【補足】

- (ア) 「小学校中学年児童」及び「小学校高学年児童」、並びに (イ) 「小学校教師」及び「中学校教師」は、過年度と同様に (ア) (イ) の単位で2区分を合算して集計・分析を行うため、同一教科における両区分の総回答数を基に、標本誤差を算出している。
- 一部の発達段階・教科については、デジタル教科書を配布した学校がごく少数であることから、十分な調査回答数を確保できず、標本誤差が5%以上となっていることに留意が必要。
- 各校に回答を依頼した教科とは異なる教科を児童生徒や教師が回答しているケースもあり、「調査対象数」より「調査回答数」が多くなっている区分もあることに留意が必要。

発達段階・教科別に見た信頼水準95%での標本誤差

- : 2.5%未満
- : 2.5%以上5%未満
- : 5%以上
- : 調査対象外

### 3. 主な分析結果のまとめ



### 3. 主な分析結果のまとめ (1/8)

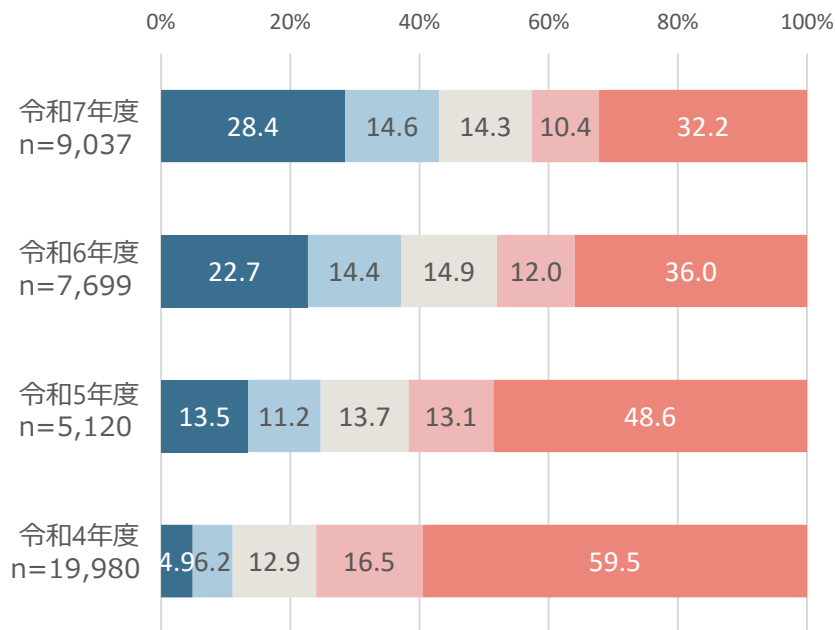
- 各分析テーマにおける、主な分析結果は以下のとおりです。

#### 1 授業中のデジタル教科書の使用状況

p.29

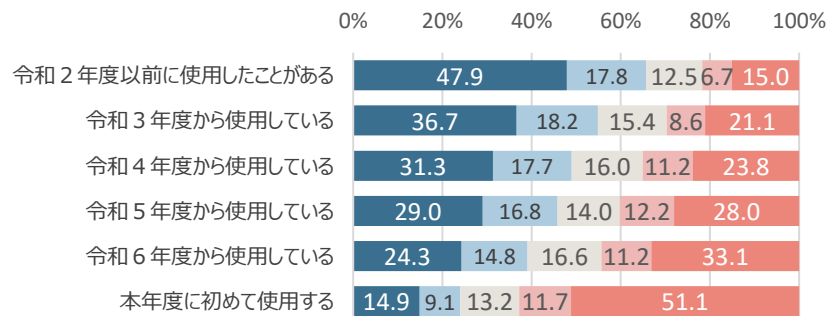
- 令和7年度までの4か年分の調査結果を比較すると、教師の授業中でのデジタル教科書の使用頻度は年々高まっており、4回に1回以上の授業で使用している割合が約7割を占める。
- デジタル教科書の使用歴が長く使用経験が重なるほど、デジタル教科書および、デジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度が高い傾向にある。デジタル教科書の活用に慣れることで、協働的な学びの場面等での使用も試行するようになり、学習支援ソフトを組み合わせる機会も増えるのだと推察される。

学習者用デジタル教科書の使用頻度の経年変化



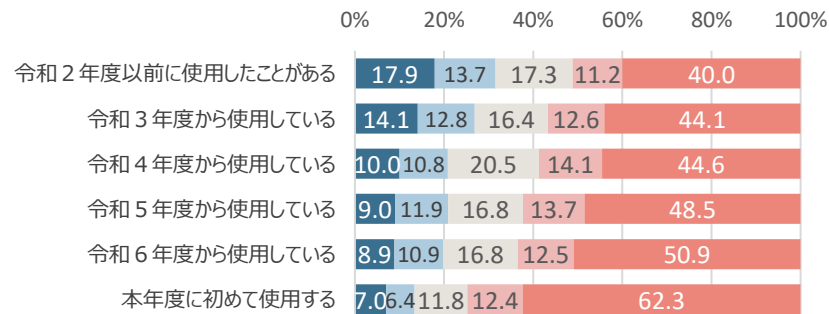
デジタル教科書の使用歴と使用頻度の関係

n=9,037



デジタル教科書の使用歴と学習支援ソフトの使用頻度の関係

n=9,037



■ 毎授業で使用
 ■ 4回に3回程度は使用
 ■ 半分程度は使用
 ■ 4回に1回程度は使用
 ■ 4回に1回未満

### 3. 主な分析結果のまとめ (2/8)

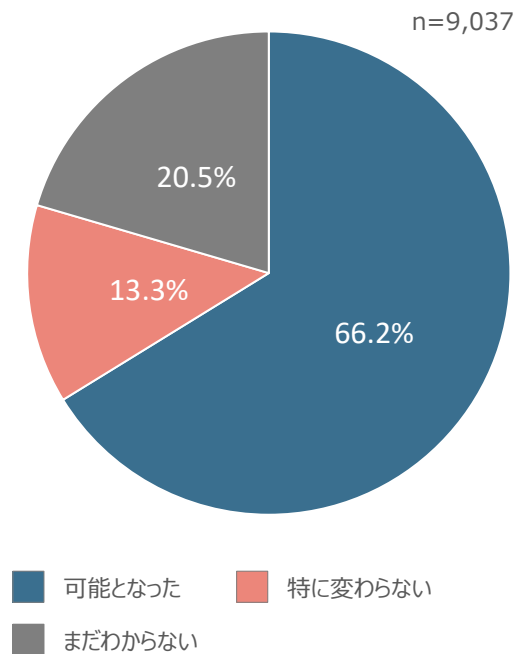
■ (前頁の続き)

## 2 デジタル教科書による授業改善の効果

p.37

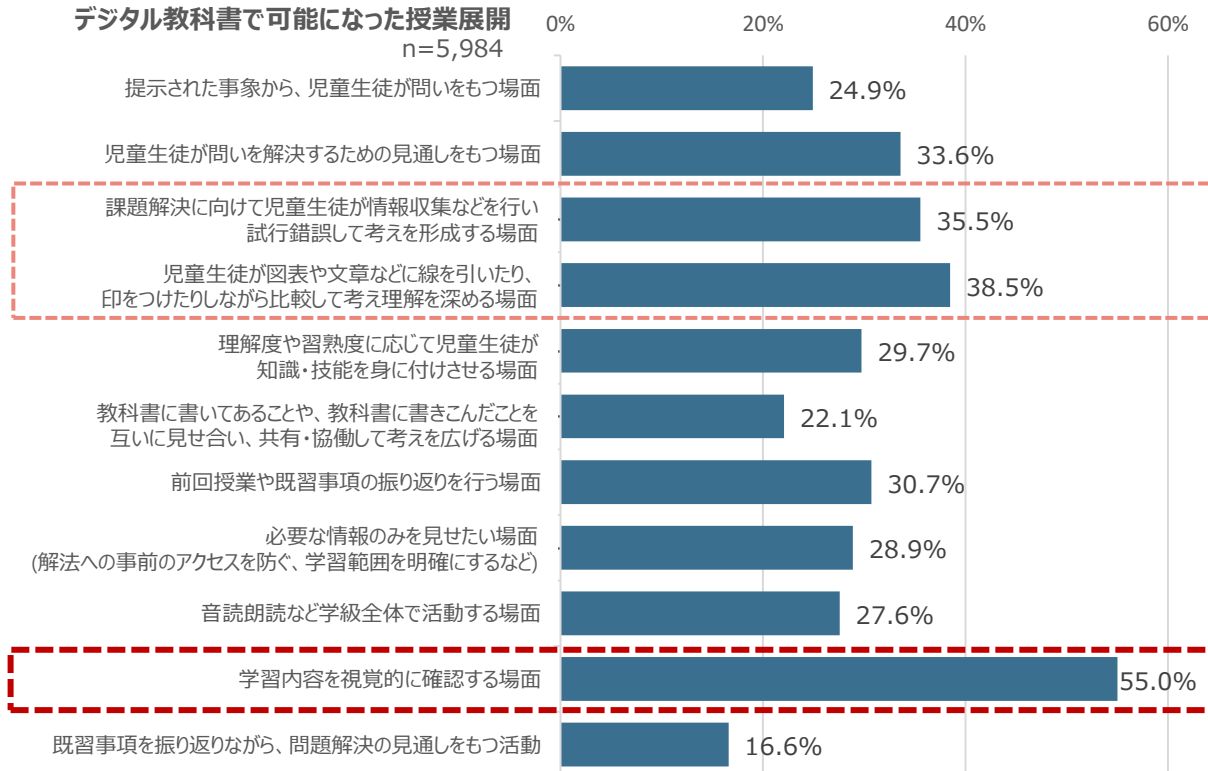
- デジタル教科書の導入により約66%の教師が授業改善の効果を感じており、そのうちの過半数が「学習内容を視覚的に確認する場面」で、「紙の教科書ではできなかった（しにくかった）ことができるようになった」と感じている。
- 次に、「児童生徒が図表や文章などに線を引いたり、印をつけたりしながら比較して考え理解を深める場面」や「課題解決に向けて児童生徒が情報収集などを行い試行錯誤して考えを形成する場面」を選択した教師も多かった。

デジタル教科書を使用することで、紙の教科書だけではできなかった、又はしにくかった授業展開や授業の工夫が可能となったか



### デジタル教科書で可能になった授業展開

n=5,984



### 3. 主な分析結果のまとめ (3/8)

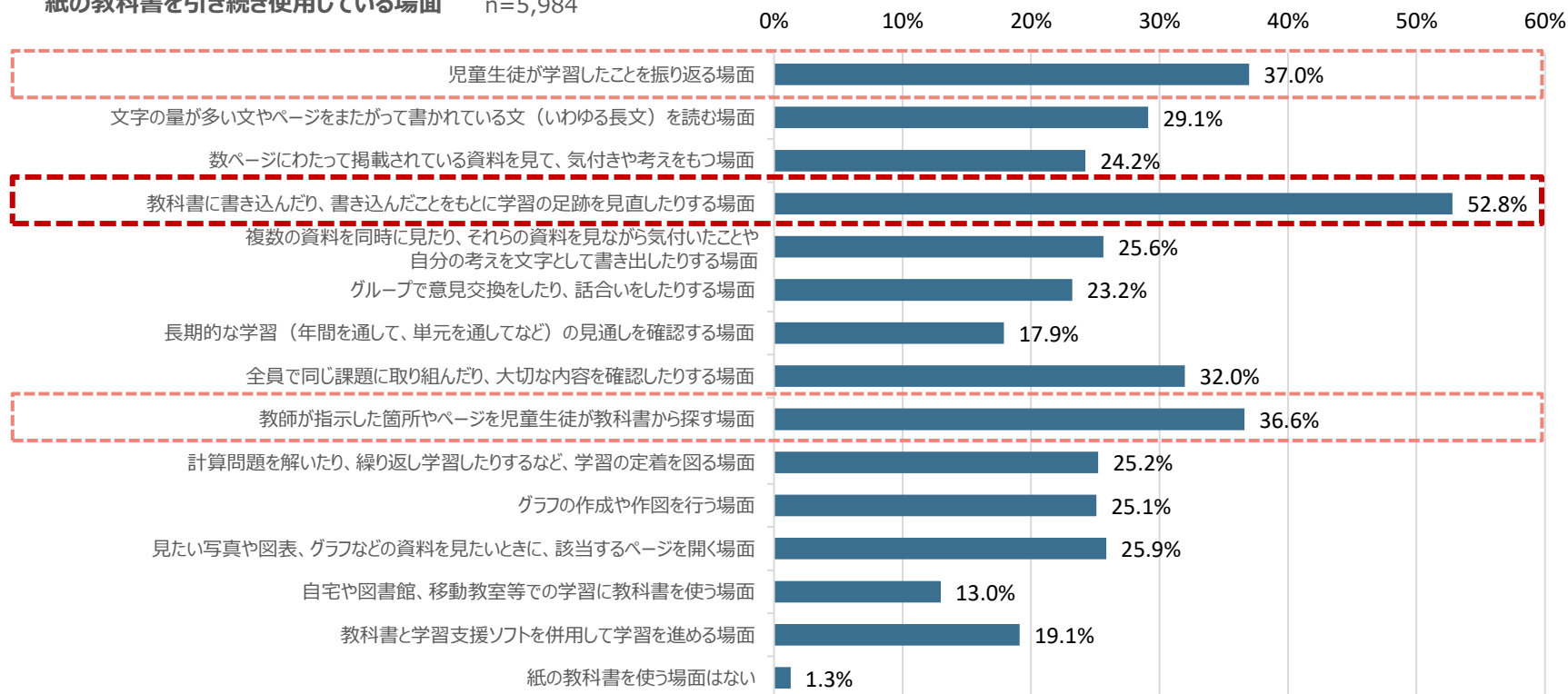
#### ■ (前頁の続き)

### 3 紙の教科書との比較における効果

p.49

- 紙の教科書を引き続き使用している場面として、過半数の教師が「教科書に書き込んだり、書き込んだことをもとに学習の足跡を見直したりする場面」を挙げている。
- 次に、「児童生徒が学習したことを振り返る場面」や「教師が指示した箇所やページを児童生徒が教科書から探す場面」も多く挙げられている。

紙の教科書を引き続き使用している場面 n=5,984



### 3. 主な分析結果のまとめ (4/8)

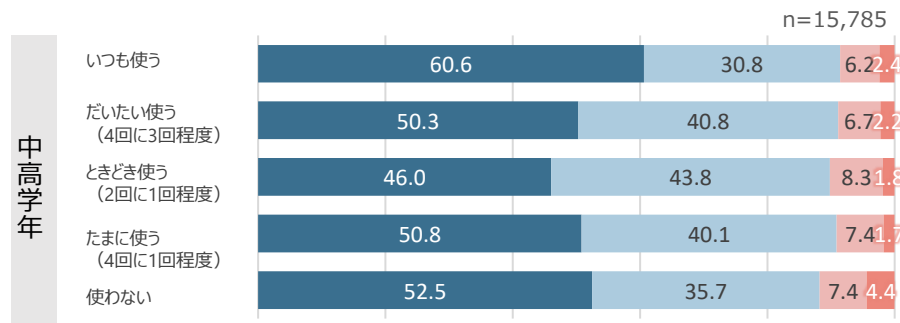
■ (前頁の続き)

#### 4 デジタル教科書の使用が児童生徒の学びに与える影響

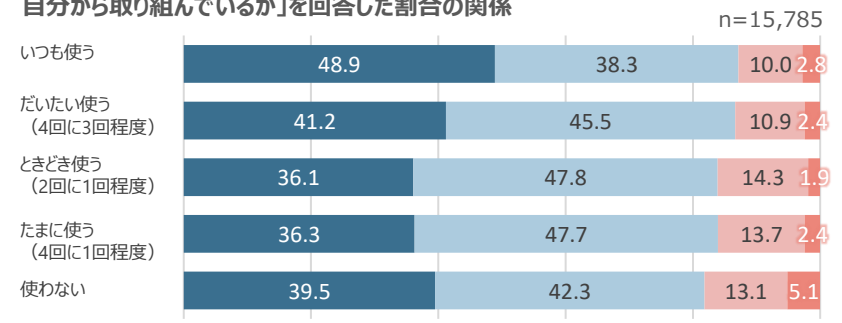
p.57

- ・ 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を授業で「いつも使う」グループは、他のグループに比べて「授業の内容がよく分かっているか」「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」のいずれについても、肯定的な回答の割合が高い。
- ・ 分析テーマ②（デジタル教科書による授業改善の効果）全体の分析結果を踏まえると、デジタル教科書の使用は、教師の授業展開の変化や多様化を介して、児童生徒の内容理解や主体的な学びに寄与している側面があると推察される。

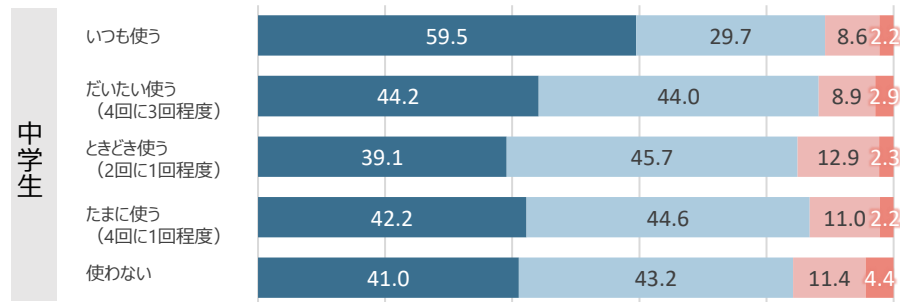
デジタル教科書の使用頻度と、「授業の内容がよく分かっているか」を回答した割合の関係



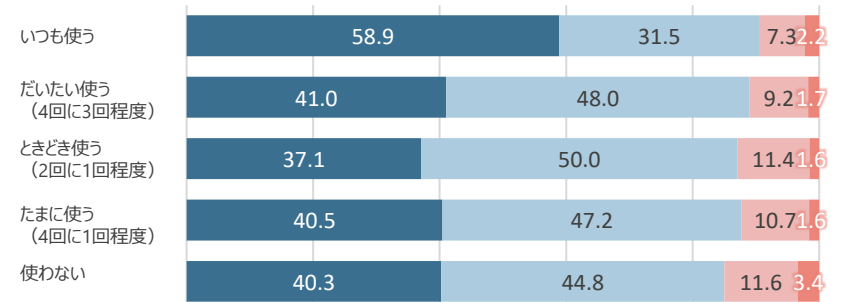
デジタル教科書の使用頻度と、授業において「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」を回答した割合の関係



n=26,439



n=26,439



■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない

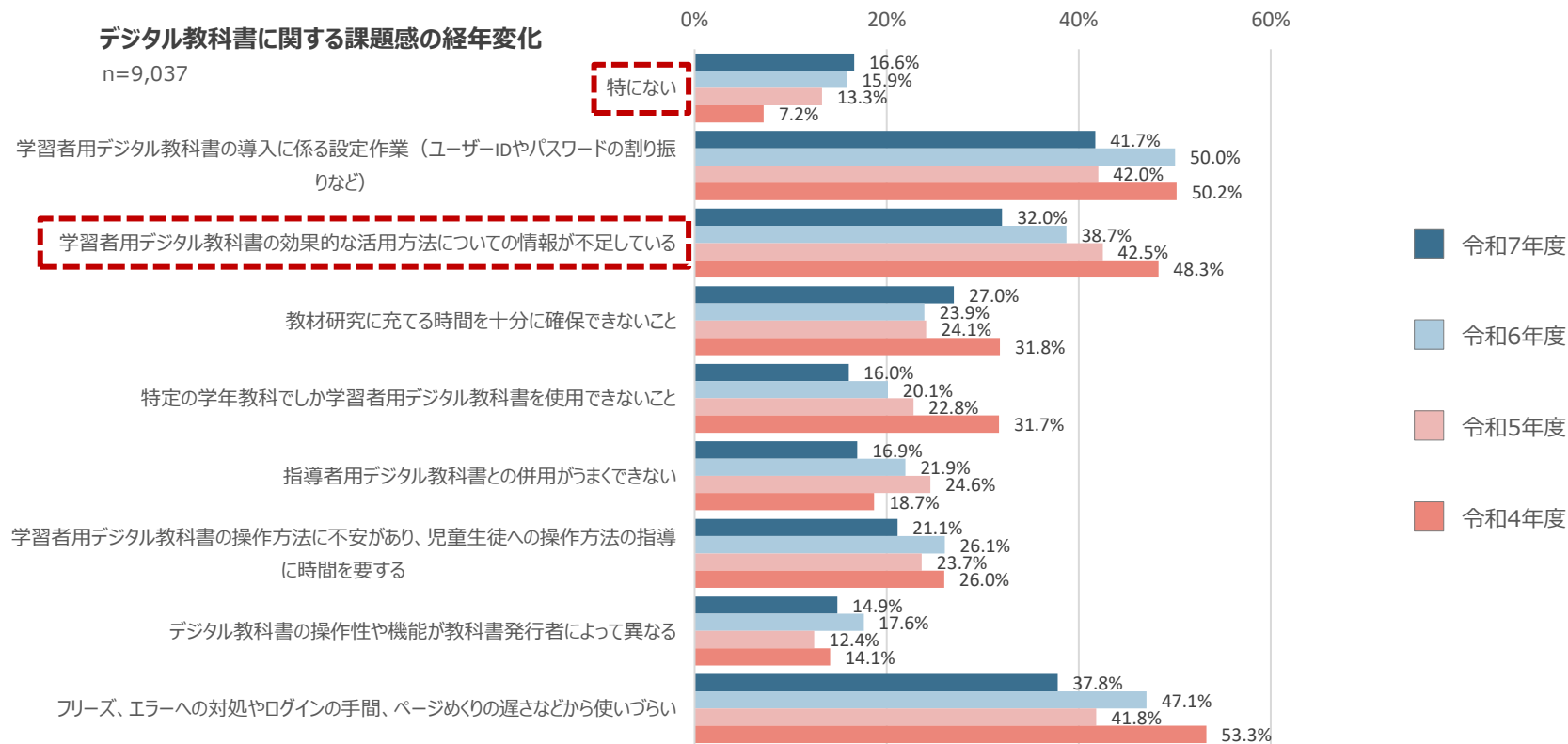
### 3. 主な分析結果のまとめ (5/8)

■ (前頁の続き)

## 5 デジタル教科書を使用するにあたっての課題感

p.93

- ・ 過年度調査と比較して、デジタル教科書の課題が「特にない」と回答した教師の割合は微増傾向にある。
- ・ なお、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」と回答した教師の割合は減少し続けている。



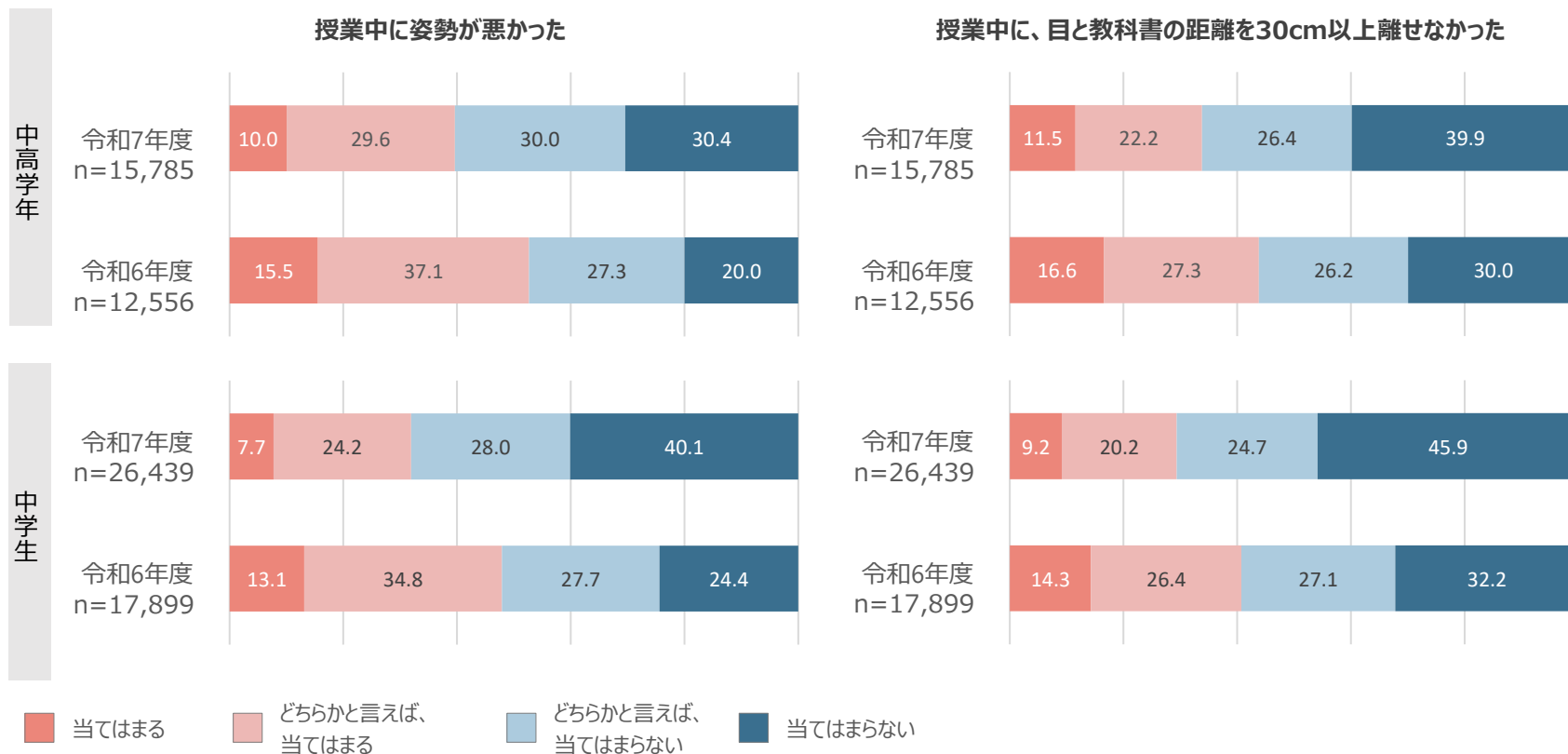
### 3. 主な分析結果のまとめ (6/8)

■ (前頁の続き)

## 5 デジタル教科書の健康面への影響

p.99

- 小学校中高学年と中学生ともに、令和6年度と比較して、「授業中の姿勢」と「目と教科書の距離」に注意できていた児童生徒の割合が増えている。



### 3. 主な分析結果のまとめ (7/8)

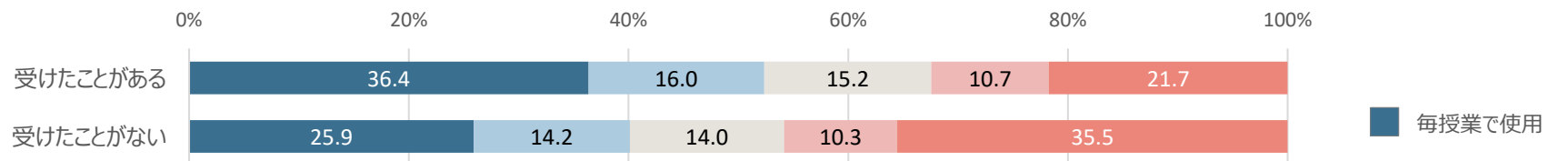
■ (前頁の続き)

#### 6 デジタル教科書に関する情報に触れた経験

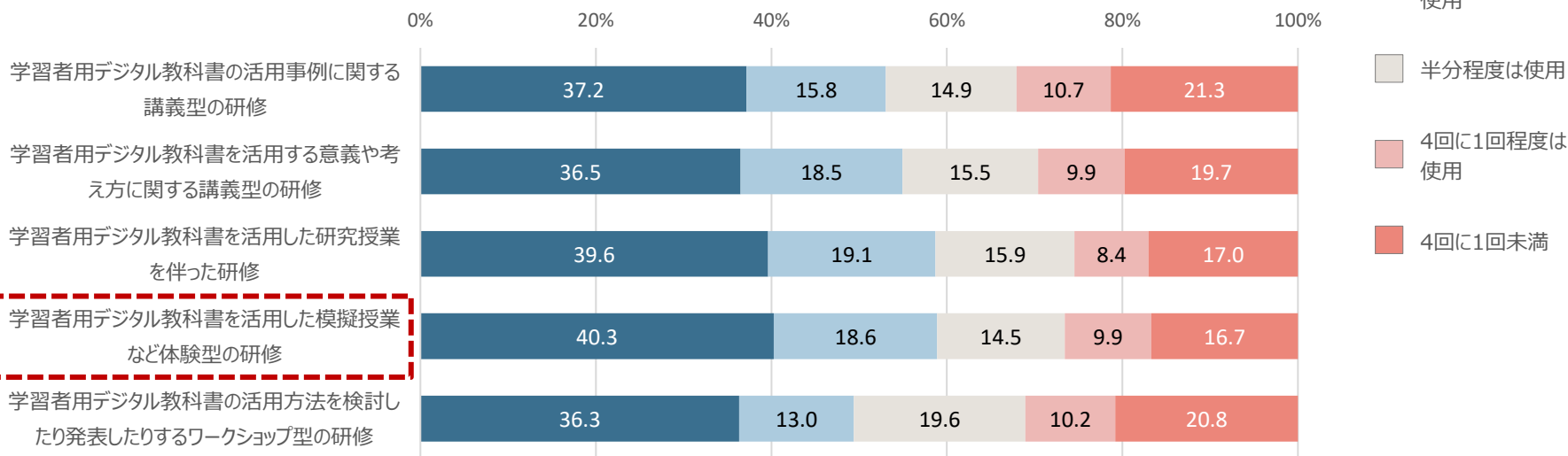
p.100

- デジタル教科書に関する研修を受けた経験があると回答した教師は、研修を受けたことがないと回答した教師に比べ、授業中の使用頻度が高い。
- 「学習者用デジタル教科書を活用した模擬授業など体験型の研修」を受けたことがある教師の約40%が、デジタル教科書を毎授業で使用しており、講義型の研修やワークショップ型の研修を受けたことのある教師よりも、デジタル教科書の活用頻度がやや高い。

デジタル教科書に関する研修を受けた経験と、デジタル教科書の使用頻度の関係 n=9,037



受けたことのある研修の内容と、デジタル教科書の使用頻度の関係 n=2,195



### 3. 主な分析結果のまとめ (8/8)

- (前頁の続き)

## 7 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書の活用

p.105

### ■ 書き込み機能の効果

- ささまざまな情報を同時に捉えることが苦手な児童生徒も、教科書本文に色分けして線を引くことで、**必要な情報を視覚的に捉えやすくなる**と考えられる。(国語)
- 紙のノートに考えをまとめることが難しい児童生徒も、教科書から資料を探す活動や、学習支援ソフト上のノートにデジタル教科書の資料を切り貼りする活動には取り組みやすい。自分1人でノートをまとめ、複数の資料を比較参照することができ、**授業への参加意欲が向上した**と考えられる。(社会)

### ■ 拡大機能の効果

- 小さな文字に拒否感のある児童生徒は、デジタル教科書の拡大機能で見たい箇所のみを確認でき、**授業に集中しやすくなる**と考えられる。(国語)

### ■ 動画・シミュレーション機能の効果

- 落ち着きのない児童生徒でも、手元のデジタル教科書で好きなタイミングで動画を視聴できることで、**集中して課題に取り組めるようになる**と考えられる。(理科)

### ■ 指導負担の軽減に関する効果

- 授業準備での資料探しや、児童生徒への説明の時間が短縮され、**児童生徒が考える時間や考えを深掘りする時間が増える**と考えられる。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.1. 分析結果の見方

■ 次ページ以降の分析結果の見方を示します。

- 分析対象の質問項目を記載。  
質問文や選択肢の詳細は、別添資料「アンケート調査票」を参照。

- 当該ページに掲載しているグラフの対象（教科・回答者）を記載。

#### 分析④-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連

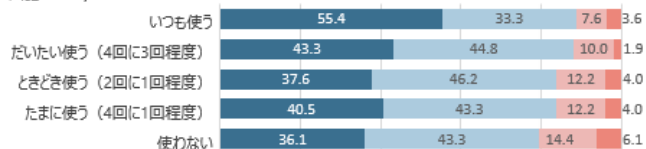
主要5教科別  
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.11 授業での使用頻度 × 中高学年Q.7 主体的な学び

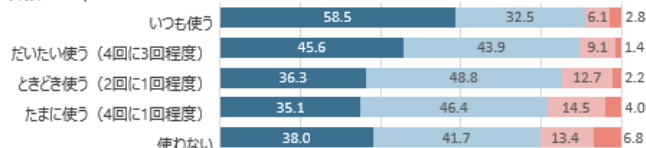
##### 傾向/示唆

- ・ 中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」と回答したグループは、主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- ・ 特に理科と算数はその傾向が顕著であり、「いつも使う」グループでは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合がそれぞれ約26ポイント、約21ポイント高くなっている。なお、「いつも使う」グループにおける「当てはまる」と回答した割合は、理科（63.4%）、算数（58.5%）、社会（55.5%）の順に高くなっている。

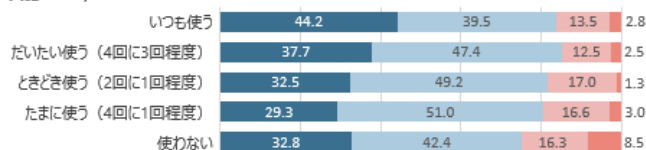
国語 n=2,257



算数 n=2,472

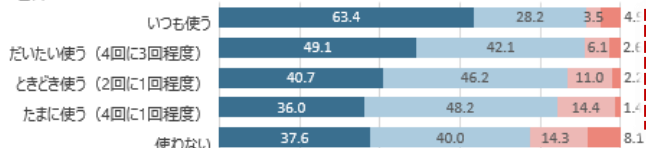


英語 n=2,105

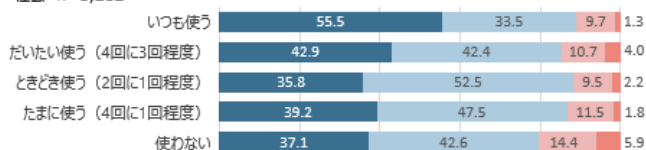


■ 当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまらない  
■ 当てはまらない

理科 n=696



社会 n=1,212



- グラフから読み取れる傾向・示唆や、数値を解釈する上での留意事項等を記載。

「◆」を付したグラフは、分析対象とする集団のサンプル数が少なく、標本誤差が大きい（10%超）ものであり、数値の解釈に留意が必要。具体的なサンプル数は、p.109,p.110を参照。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

小中学校  
教師

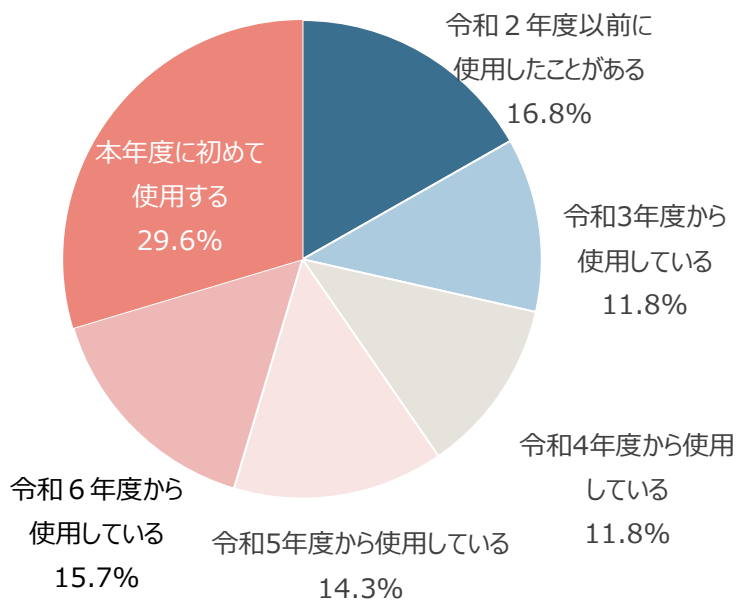
#### 分析①-1 教師のデジタル教科書の使用歴及び今年度の使用開始時期

教師Q.3 使用歴、教師Q.4 使用開始時期 n=9,037

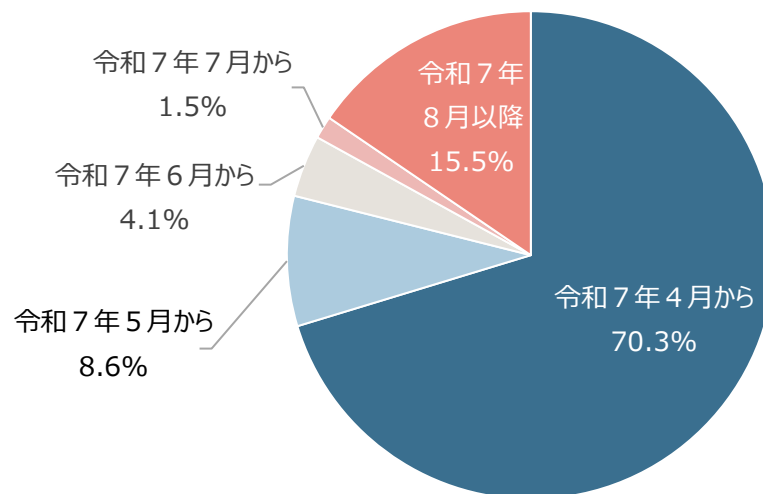
#### 傾向/示唆

- デジタル教科書の使用歴について、70%以上の教師が令和6年度以前から使用しており、1年以上のデジタル教科書の使用経験がある。（昨年度と同設問では、約60%の教師が1年以上のデジタル教科書の使用経験があった。）
- 使用開始時期については、「令和7年4月から」が約70%と最も多く、次いで「令和7年8月以降」が約16%と多い。

学習者用デジタル教科書の使用歴



学習者用デジタル教科書の使用開始時期



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計  
／主要5教科別

小中学校  
教師

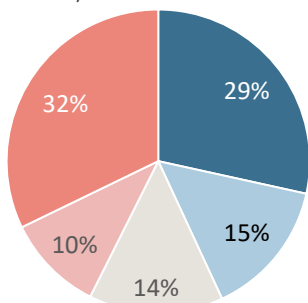
### 分析①-2 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度

#### 教師Q.5 使用頻度

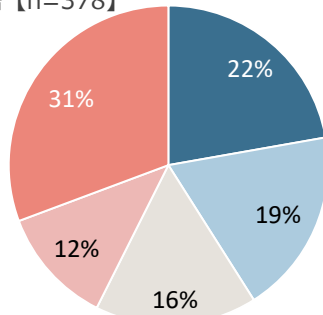
##### 傾向/示唆

- 教科全体で見ると、授業中、4回に1回程度以上デジタル教科書を使用している教師がおよそ7割を占めている。
- 教科別では、英語（小学校）においてデジタル教科書の使用頻度が高く、「毎授業で使用」と回答した教師が45%を占めている。

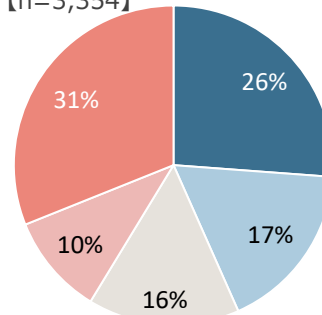
全体【n=9,037】



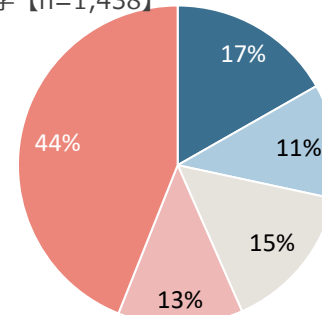
国語【n=378】



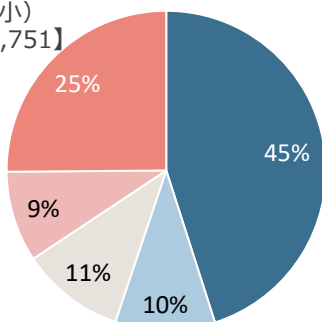
算数【n=3,354】



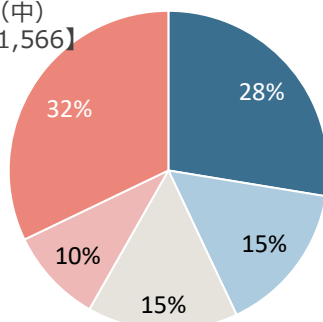
数学【n=1,438】



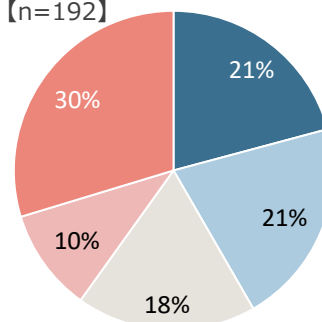
英語（小）  
【n=1,751】



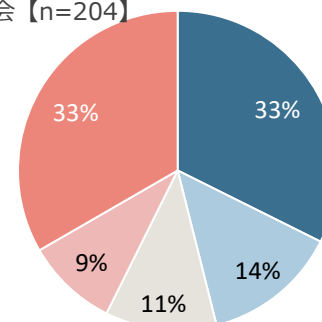
英語（中）  
【n=1,566】



理科【n=192】



社会【n=204】



■ 毎授業で使用 ■ 4回に3回程度は使用 ■ 半分程度は使用 ■ 4回に1回程度は使用 ■ 4回に1回未満

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

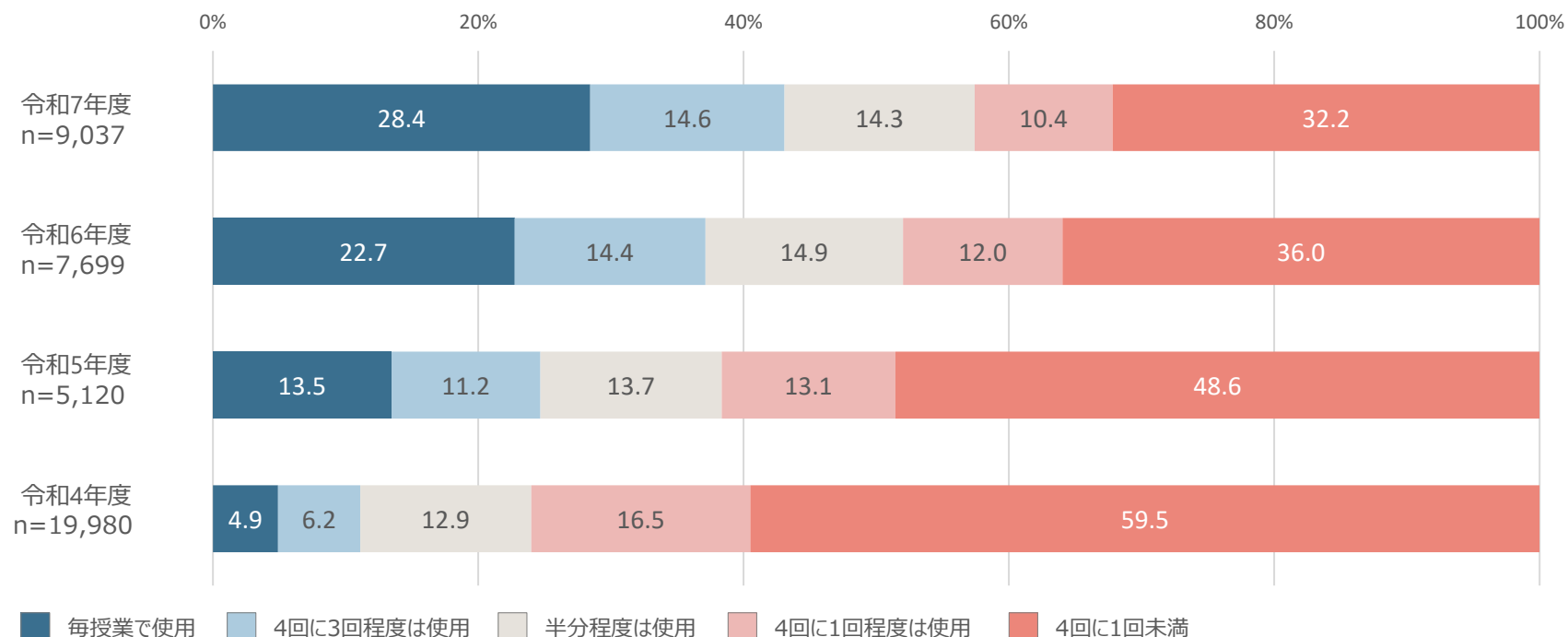
小中学校  
教師

#### 分析①-3 教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度の経年変化

##### 教師Q.5 使用頻度

###### 傾向/示唆

- 令和7年度では、令和6年度と比較し、「毎授業で使用」の回答が約6ポイント高くなっている。
- 教師の授業中でのデジタル教科書の使用頻度は、年々高まっている。
- なお、年度間の比較においては、経年による変化だけでなく、年度ごとに調査対象教科などが異なることによる影響も含まれている点に留意。（詳細はp.111・112を参照。以下、経年比較に関するすべての分析について、同様。なお、調査対象教科の構成割合の違いによる影響は無視できる程度に小さいと言える。）



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

小中学校  
教師

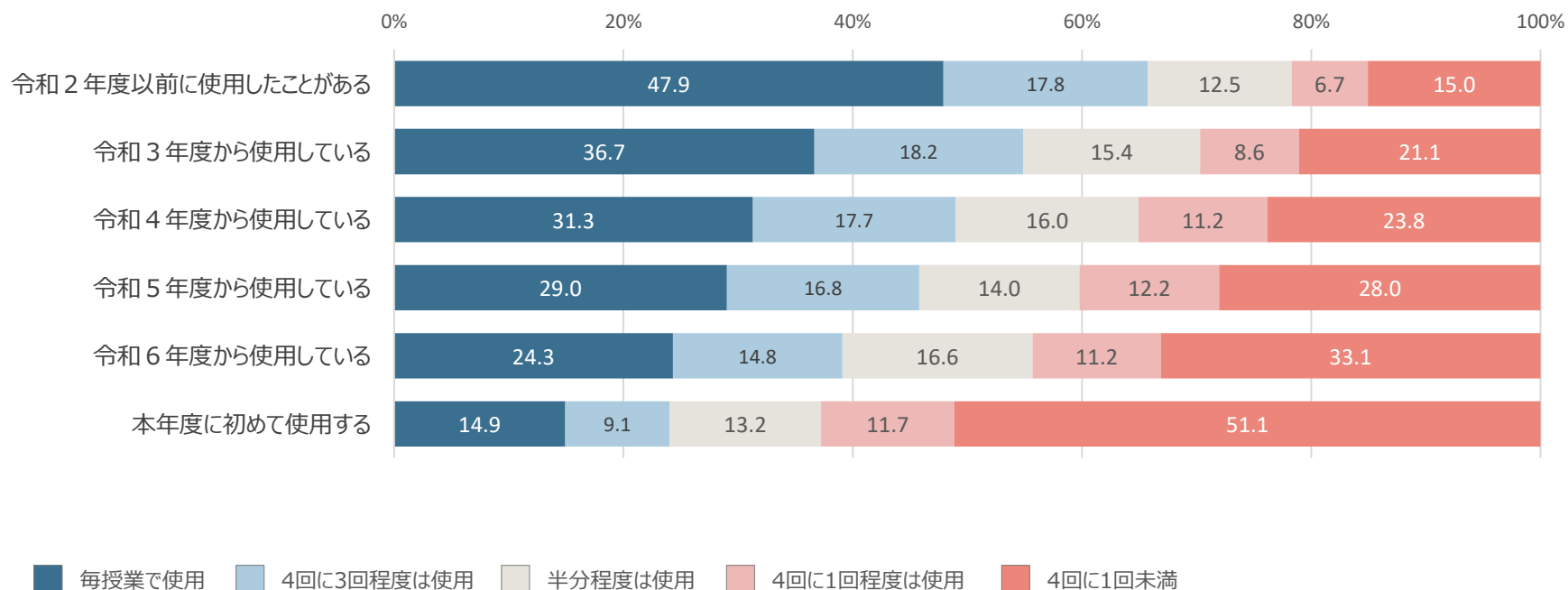
#### 分析①-4 教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係

教師Q.3 使用歴 × 教師Q.5 使用頻度

n=9,037

#### 傾向/示唆

- 「本年度（令和7年度）に初めて使用する」教師よりも、過年度に使用経験がある教師の方が、「毎授業で使用」以上の頻度の回答割合が高くなっている。
- デジタル教科書の使用歴が長く、使用経験が重なるほど、使用頻度が高まっていることが見て取れる。デジタル教科書の活用に慣れ、メリットを理解し活用頻度が高まっていることが一因として考えられる。
- 使用歴ごとに回答教科の構成が大きく異なることには留意が必要（回答者のうち英語と算数・数学が占める割合は、使用歴が令和2年度以前からの者では72%、本年度初めて使用する者では41%）。ただし、英語、算数・数学の回答者に限定した比較でも、使用歴が増えるほど「毎授業で使用」の回答割合が高くなっている。（次ページ参照。）



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

英語／  
算数・数学

小中学校  
教師

分析①-4 教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係（参考：英語、算数・数学のみ）

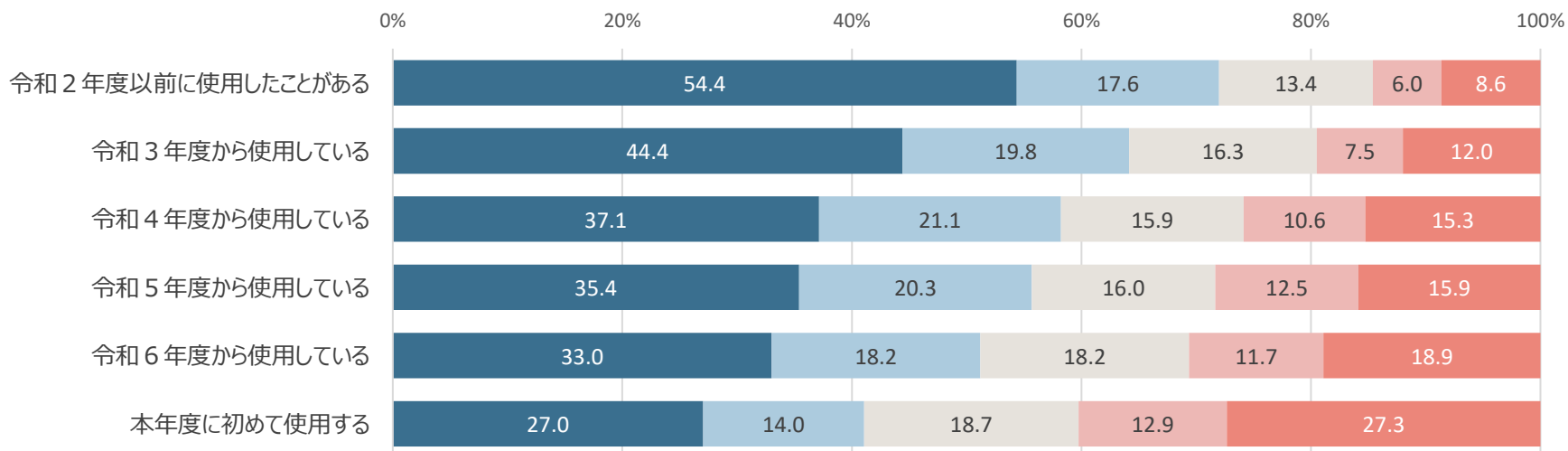
教師Q.3 使用歴 × 教師Q.5 使用頻度

n=9,037

傾向/示唆

- 英語、算数・数学の回答者に限定した比較でも、使用歴が増えるほど「毎授業で使用」の回答割合が高くなっている。

英語、算数・数学の回答者に限定した、教師のデジタル教科書の使用歴と、授業での使用頻度の関係



■ 毎授業で使用 ■ 4回に3回程度は使用 ■ 半分程度は使用 ■ 4回に1回程度は使用 ■ 4回に1回未満

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計  
／主要5教科別

小中学校  
教師

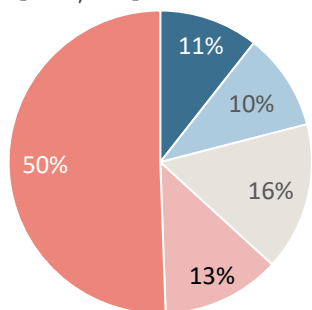
#### 分析①-5 教師の、デジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度

##### 教師Q.6 学習支援ソフトの使用頻度

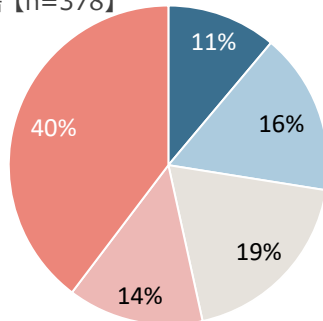
##### 傾向/示唆

- 教科全体で見ると、デジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせて使用している頻度は、「4回に1回以上」がおよそ半数を占めている。
- 教科別では、英語（小学校）・社会において、デジタル教科書を学習支援ソフトウェアと組み合わせて「毎授業で使用」と回答した割合が高く、18%を占めている。

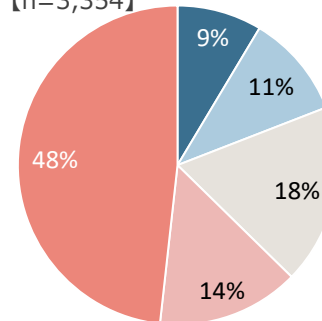
全体【n=9,037】



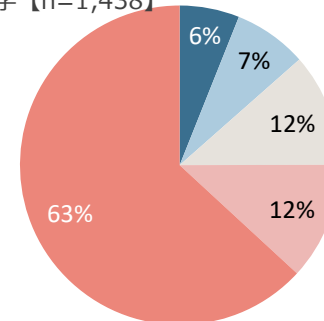
国語【n=378】



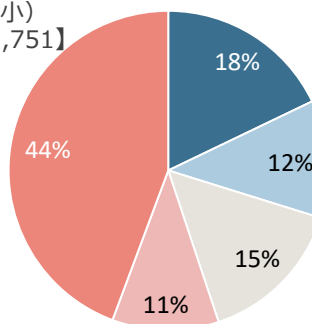
算数【n=3,354】



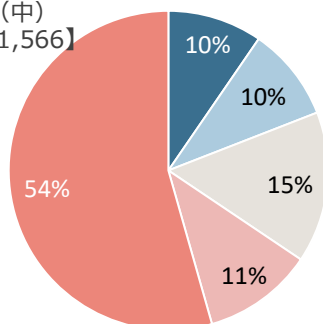
数学【n=1,438】



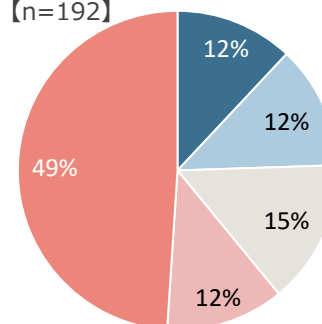
英語（小）  
【n=1,751】



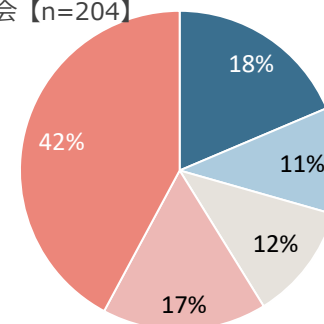
英語（中）  
【n=1,566】



理科【n=192】



社会【n=204】



■ 毎授業で使用
 ■ 4回に3回程度は使用
 ■ 半分程度は使用
 ■ 4回に1回程度は使用
 ■ 4回に1回未満

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計

小中学校  
教師

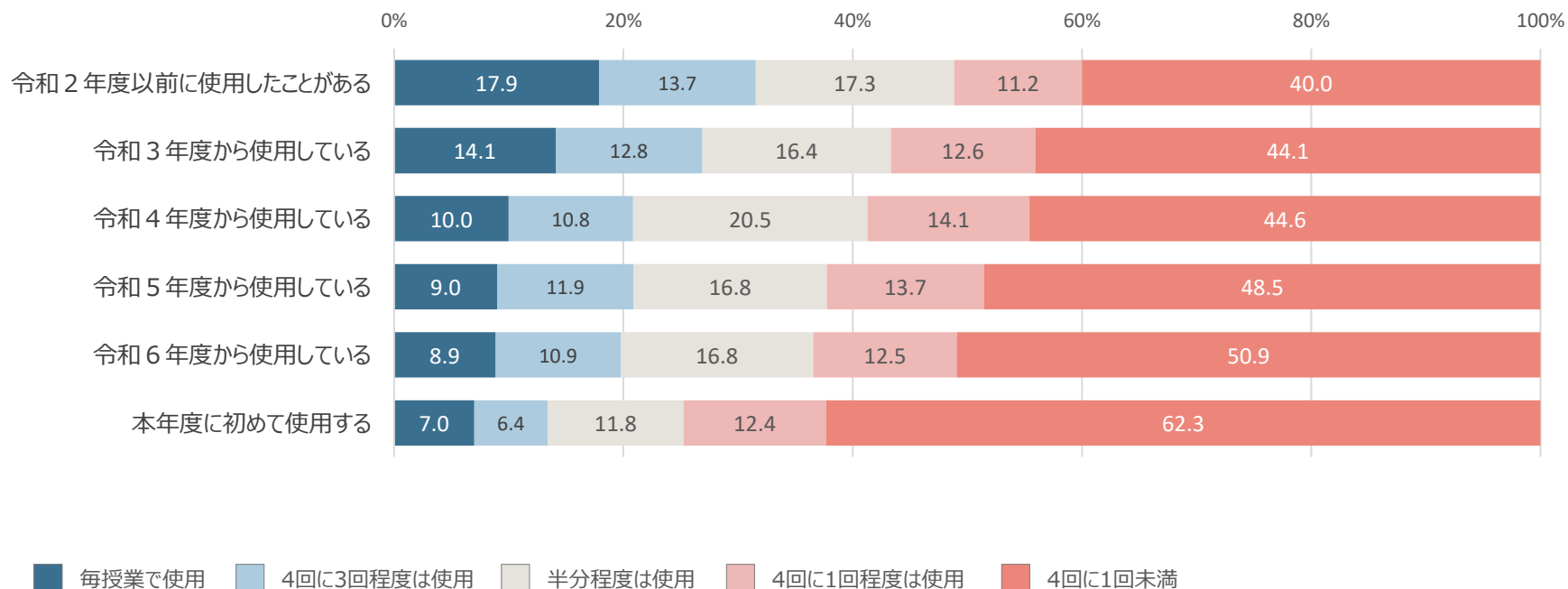
分析①-6 教師のデジタル教科書の使用歴と、デジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度の関係

教師Q.3 使用歴 × 教師Q.6 学習支援ソフトの使用頻度

n=9,037

#### 傾向/示唆

- 「本年度（令和7年度）に初めて使用する」教師よりも、過年度に使用経験がある教師の方が、「**毎授業で使用**」の回答割合が高くなっている。
- デジタル教科書の使用歴が長く、使用経験が重なるほど、使用頻度が高まっていることが見て取れる。**デジタル教科書の活用に慣れ**、デジタル教科書で実現できることに対する理解が深まり、それを補強・拡充するために学習支援ソフトを組み合わせる機会も増えるのだと推察される。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

① 授業中のデジタル教科書の使用状況

全教科総計  
／主要5教科別

中高学年児童・  
中学校生徒

#### 分析①-7 児童生徒の学習場面別の授業でのデジタル教科書の使用頻度

##### 中高学年・中学生Q.15 学習場面別の使用頻度

中高学年：n=15,785 中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 一斉（先生の説明をクラス全員で一斉に聞く場面）、個別（一人で課題に取り組む場面）、協働（友達と資料や考えを見せ合う場面）の順に使用頻度が高い。その後に「学んだことを自分で振り返る場面」での使用頻度が続く。
- 全体的に中高学年の方が使用頻度が高い。

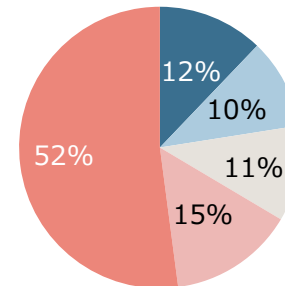
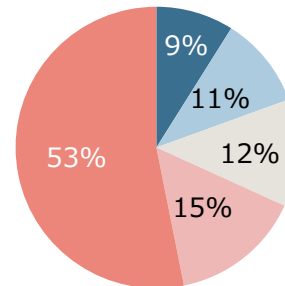
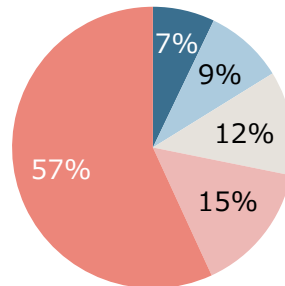
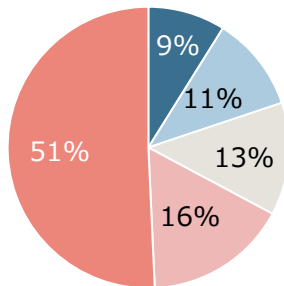
##### 一人で課題に取り組む場面

##### 学んだことを自分で振り返る場面

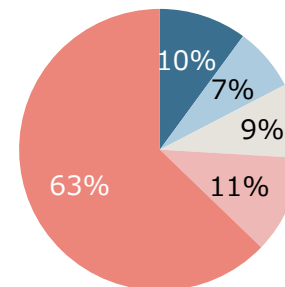
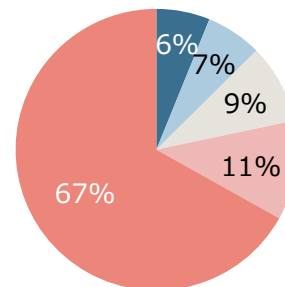
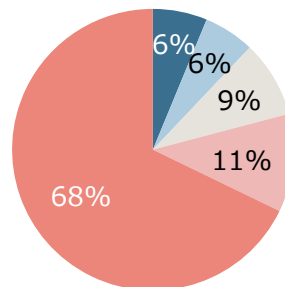
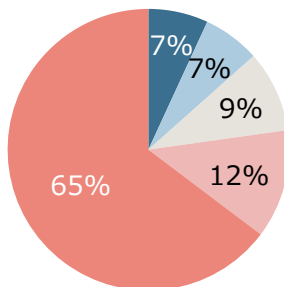
##### 友達と資料や考えを見せ合う場面

##### 先生の説明をクラス全員で一斉に聞く場面

中高学年



中学生



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

全教科総計

小中学校  
教師

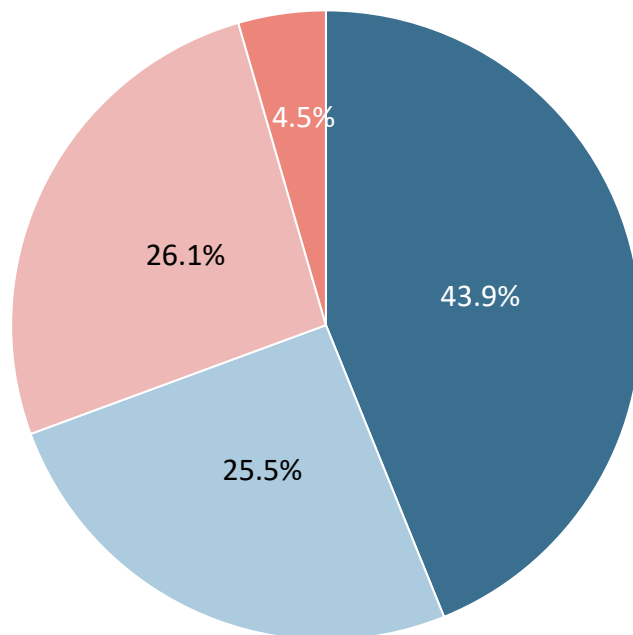
#### 分析②-1 デジタル教科書の導入による授業改善への意識の変化

##### 教師Q.10 授業改善への意識の変化

n=9,037

#### 傾向/示唆

- 約44%の教師が、デジタル教科書の導入によって「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善の実現に向けた意識を持ったと回答しており、割合として一番多い。
- 約26%の教師は、デジタル教科書の導入前から「主体的・対話的で深い学び」を実現した授業を行っていた。



- 学習者用デジタル教科書が導入されたことで「主体的な学び・対話的で深い学び」の実現に向けた授業観の転換への意識を持った。
- 学習者用デジタル教科書の導入前から「主体的な学び・対話的で深い学び」を実現した授業を行っているため、導入による意識の変化はない。
- 「主体的な学び・対話的で深い学び」の実現に向けた授業観の転換の必要性は理解しているが、学習者用デジタル教科書が導入されても、特に意識の変化はなかった。
- 「主体的な学び・対話的で深い学び」の実現に向けた授業観の転換の必要性を理解しておらず、デジタル教科書が導入されても、特に意識の変化はなかった。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

全教科総計

小中学校  
教師

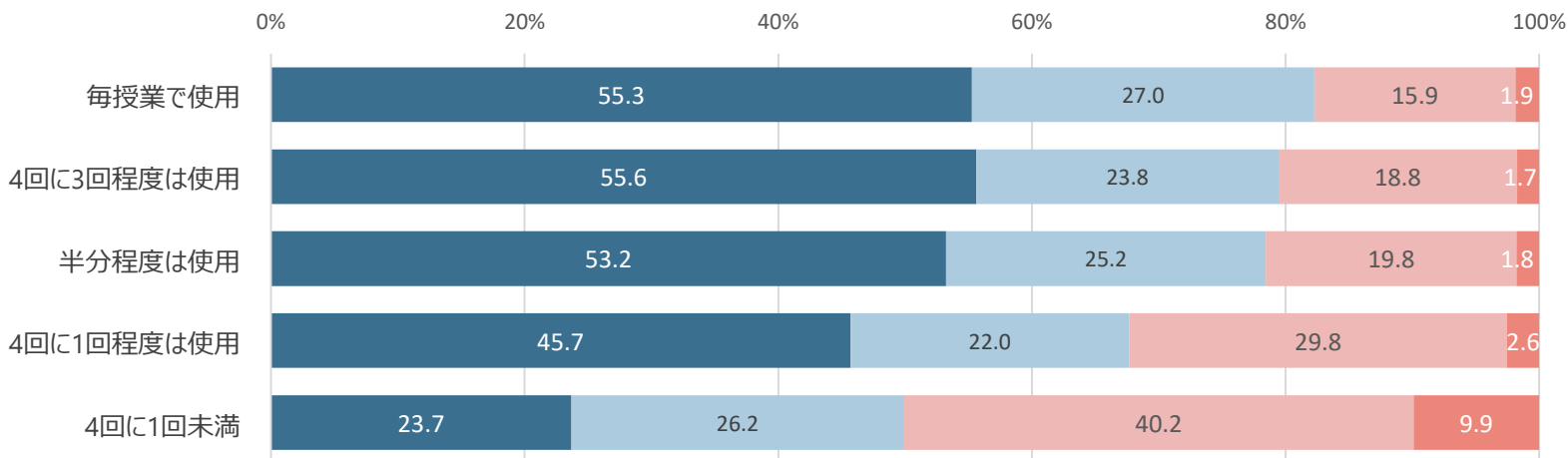
#### 分析②-2 教師のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書の導入による授業改善への意識の変化の関係

教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.10 授業改善への意識の変化

n=9,037

#### 傾向/示唆

- デジタル教科書の使用が「半分程度は使用」よりも多い教師は、その過半数が「デジタル教科書が導入されたことで、『主体的な学び・対話的で深い学び』の実現に向けた授業観の転換への意識を持った」と回答している。
- デジタル教科書の使用頻度が4回に1回未満の教師は、その他の教師に比べて、授業観の転換の必要性を理解していない者や、意識が変化していない者が多い。



学習者用デジタル教科書が導入されたことで「主体的な学び・対話的で深い学び」の実現に向けた授業観の転換への意識を持った。

学習者用デジタル教科書の導入前から「主体的な学び・対話的で深い学び」を実現した授業を行っているため、導入による意識の変化はない。

「主体的な学び・対話的で深い学び」の実現に向けた授業観の転換の必要性は理解しているが、学習者用デジタル教科書が導入されても、特に意識の変化はなかった。

「主体的な学び・対話的で深い学び」の実現に向けた授業観の転換の必要性を理解しておらず、デジタル教科書が導入されても、特に意識の変化はなかった。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

全教科総計

小中学校  
教師

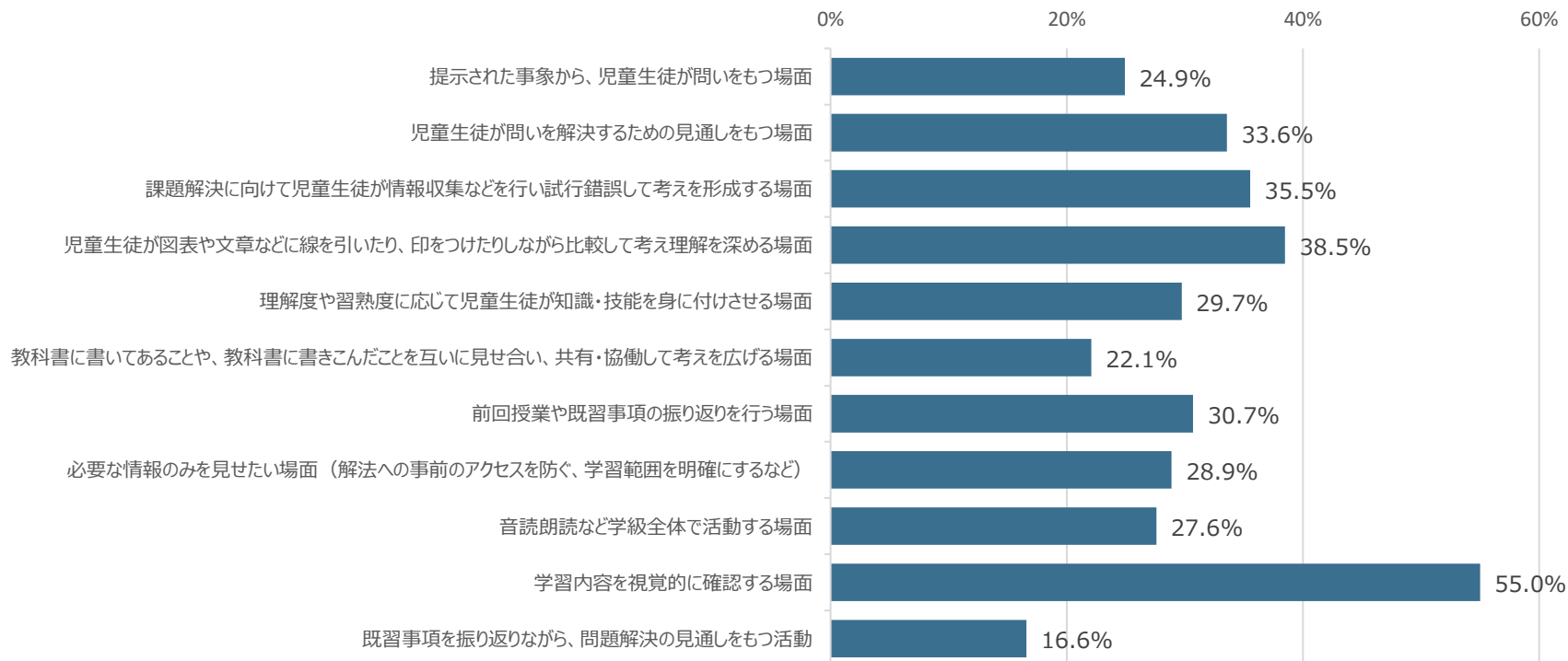
#### 分析②-3 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）

##### 教師Q.13 デジタル教科書で可能になった授業展開

n=5,984

#### 傾向/示唆

- デジタル教科書で授業改善の効果を感じている教師のうち、過半数が「**学習内容を視覚的に確認する場面**」で、「紙の教科書ではできなかった（しにくかった）ことができるようになった」と感じている。（ただし、動画やシミュレーション機能のような視覚的な理解を促すコンテンツだけでなく、紙面をに書かれた内容を読み取ることなども想定して回答された可能性があることに留意。）
- 次に、「**児童生徒が図表や文章などに線を引いたり、印をつけたりしながら比較して考え理解を深める場面**」や「**課題解決に向けて児童生徒が情報収集などを行い試行錯誤して考えを形成する場面**」を選択した教師も多かった。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

分析②-4 教師のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係（1/3）

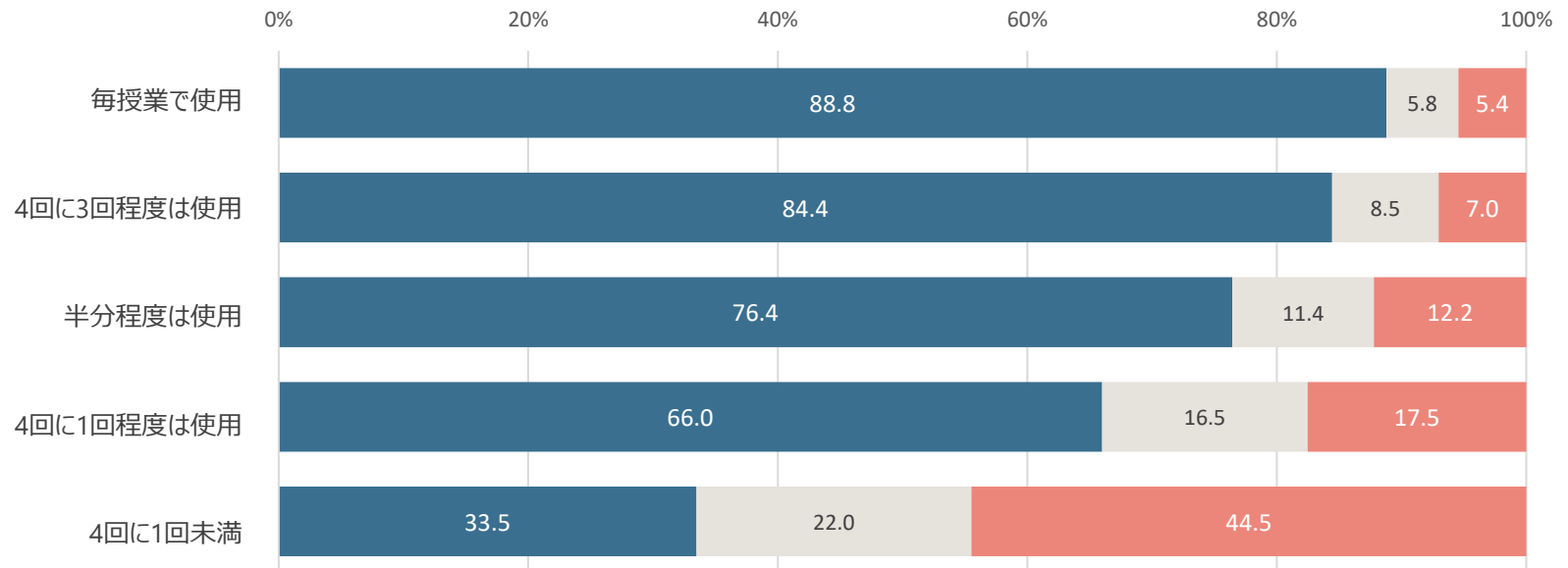
全教科総計

小中学校  
教師

教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.11 デジタル教科書で新たな授業展開が可能になったか n=9,037

傾向/示唆

- デジタル教科書の使用頻度が多いほど、「デジタル教科書を使用することで、紙の教科書だけではできなかった、又はしにくかった授業展開や授業の工夫が可能となった」と回答した者が多い。



■ 可能となった ■ 特に変わらない ■ まだわからない

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析②-4 教師のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係（2/3）

全教科総計

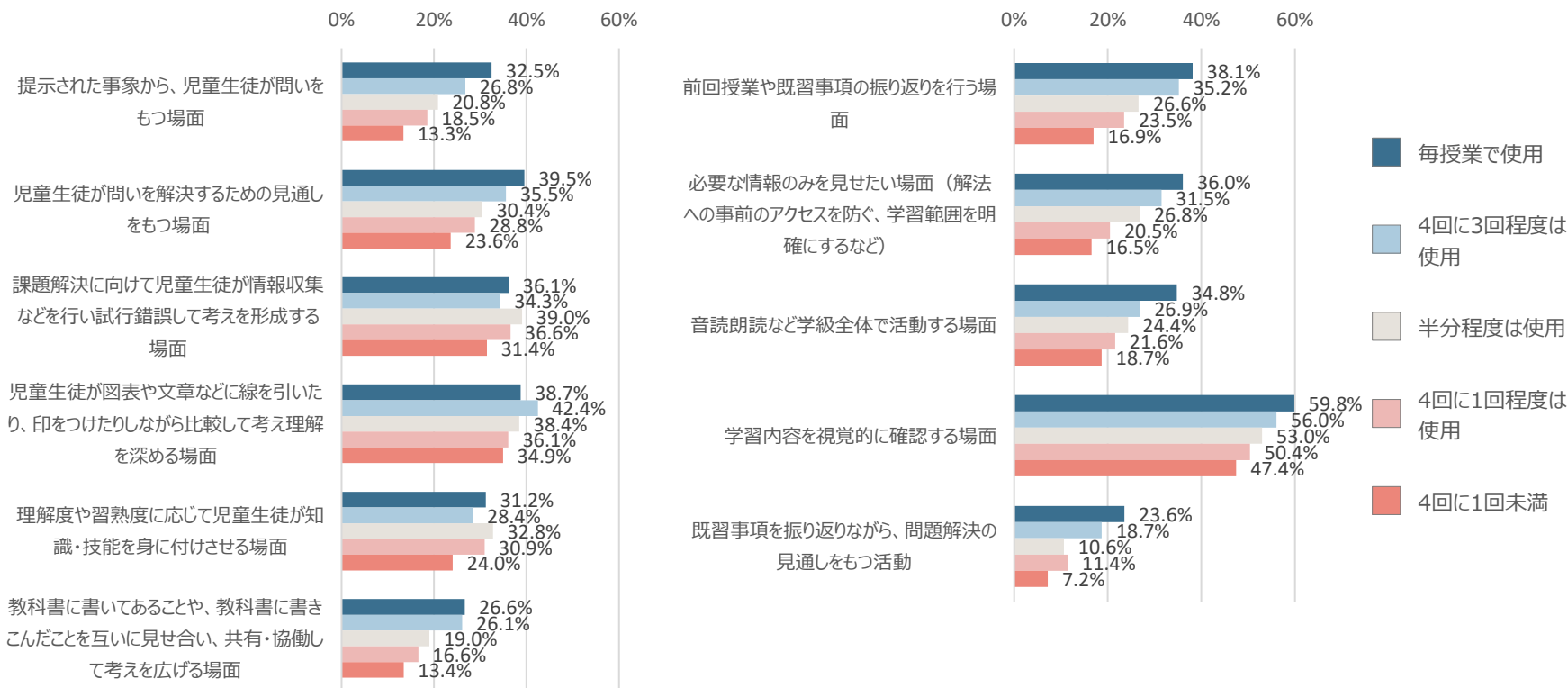
小中学校  
教師

#### 教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.13 デジタル教科書で可能になった授業展開

n=5,984

#### 傾向/示唆

- 「デジタル教科書の導入で可能になった授業展開」の回答割合に関して、**活用頻度による差**（毎授業で使用と4回に1回未満の層で比較）が大きいのは、「**前回授業や既習事項の振り返りを行う場面**」（約21ポイント差）、「**必要な情報のみを見せたい場面**」（約20ポイント差）、「**提示された事象から、児童生徒が問いをもつ場面**」（約19ポイント差）である。
- 対して、**活用頻度による差があまり見られない**のは、「**課題解決に向けて児童生徒が情報収集などを行い試行錯誤して考えを形成する場面**」、「**児童生徒が図表や文章などに線を引いたり、印をつけたりしながら比較して考え理解を深める場面**」、「**理解度や習熟度に応じて児童生徒が知識・技能を身に付けさせる場面**」である。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

分析②-4 教師のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係（3/3）

主要5教科別

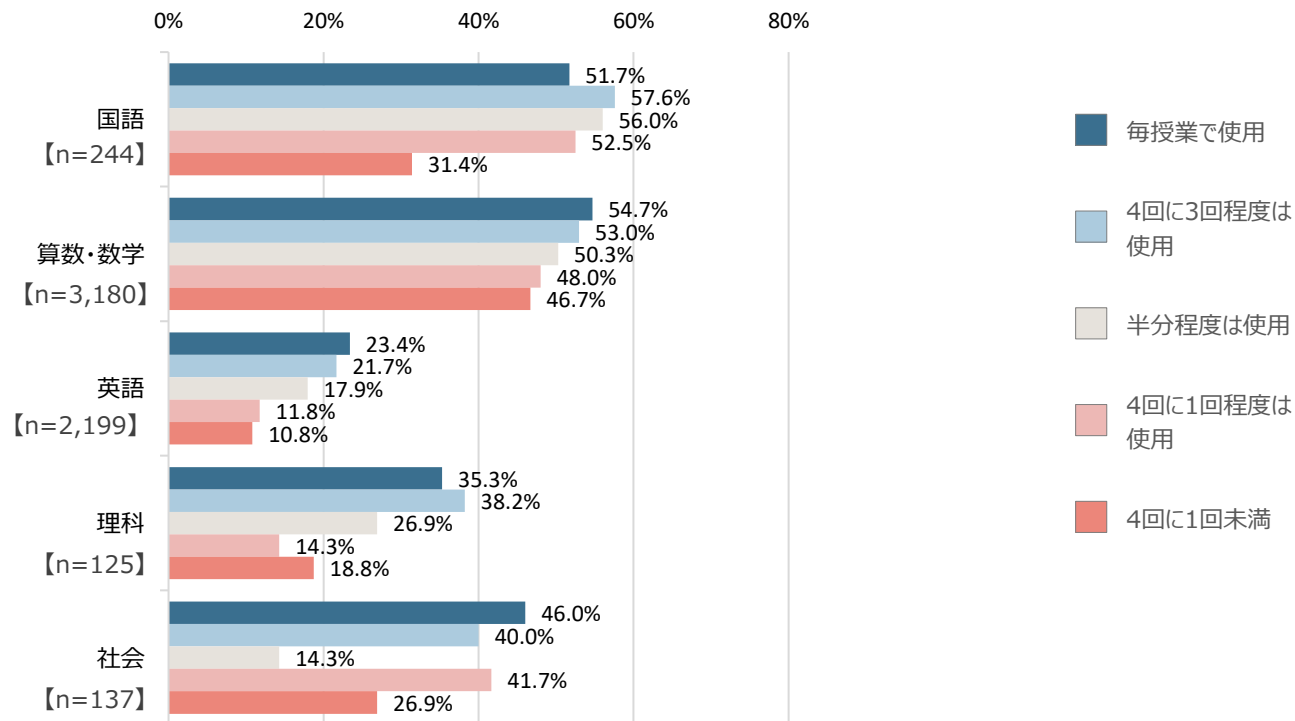
小中学校  
教師

教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.13 デジタル教科書で可能になった授業展開

n=5,984

#### 傾向/示唆

- なお、「児童生徒が図表や文章などに線を引いたり、印をつけたりしながら比較して考え理解を深める場面」について教科別の傾向を分析すると、算数・数学の教科において、活用頻度による差が見られる。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

分析②-5 教師のデジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係（1/2）

全教科総計

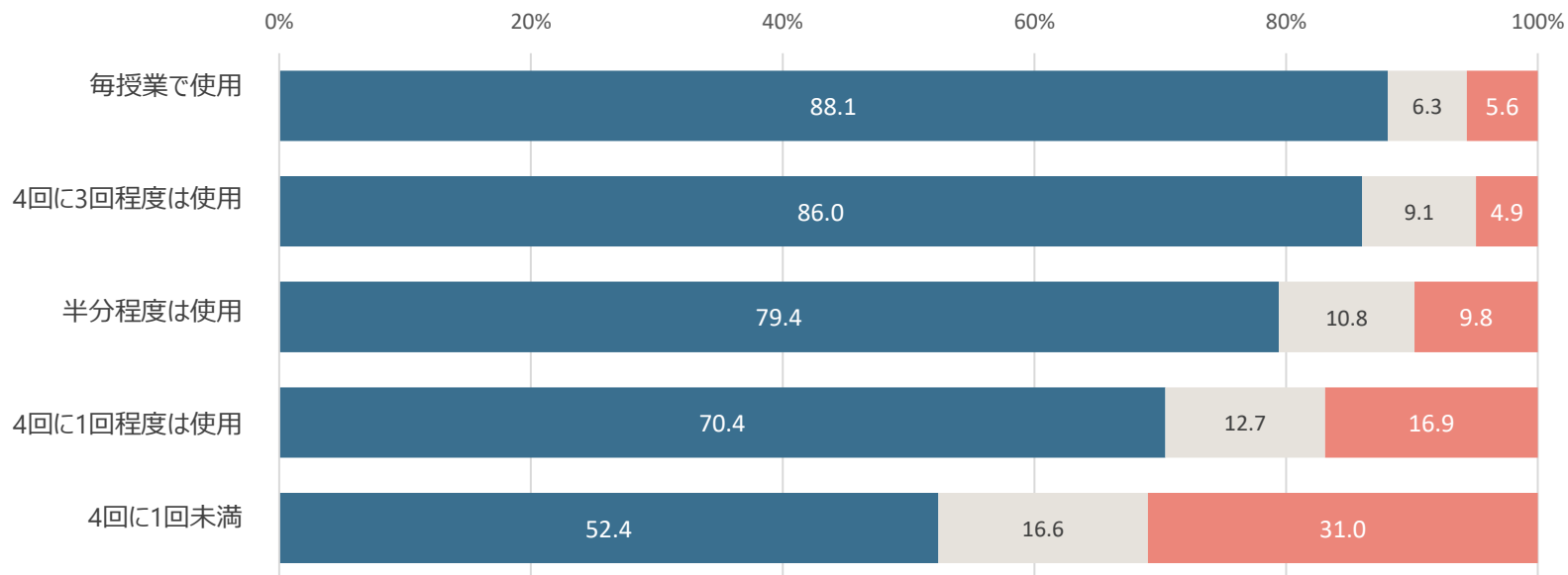
小中学校  
教師

教師Q.6 学習支援ソフトの使用頻度 × 教師Q.11 デジタル教科書で新たな授業展開が可能になったか

n=9,037

傾向/示唆

- 学習支援ソフトの使用頻度が多いほど、「デジタル教科書を使用することで、紙の教科書だけではできなかった、又はしにくかった授業展開や授業の工夫が可能となった」と回答した者が多い。



■ 可能となった ■ 特に変わらない ■ まだわからない

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

分析②-5 教師のデジタル教科書と学習支援ソフトを組み合わせた使用頻度と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科共通の観点）の関係（2/2）

全教科総計

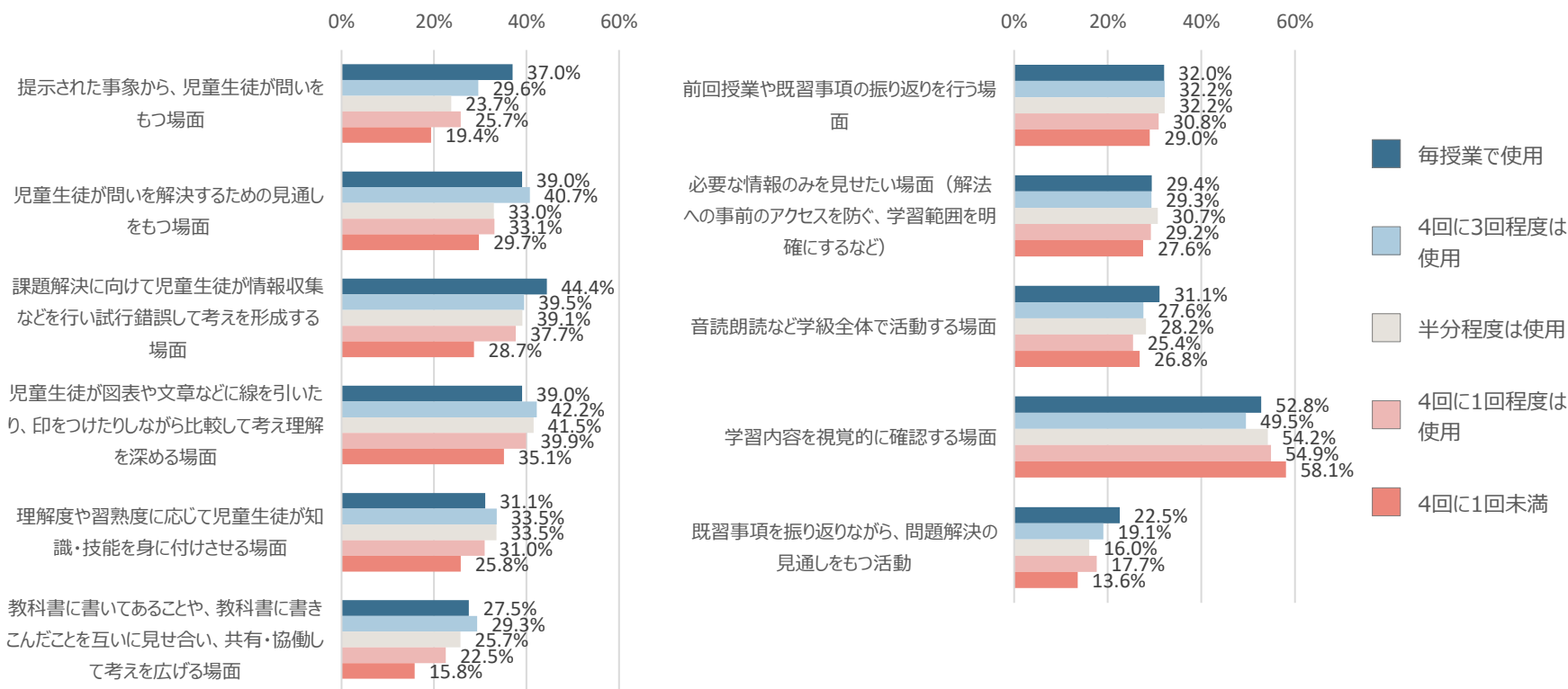
小中学校  
教師

教師Q.6 学習支援ソフトの使用頻度 × 教師Q.13 デジタル教科書で可能になった授業展開

n=5,984

#### 傾向/示唆

- 「デジタル教科書の導入で可能になった授業展開」の回答割合に関して、**学習支援ソフトの使用頻度による差**（毎授業で使用と4回に1回未満の層で比較）**が大きいのは、「提示された事象から、児童生徒が問いをもつ場面」（約18ポイント差）、「課題解決に向けて児童生徒が情報収集などを行い試行錯誤して考えを形成する場面」（約16ポイント差）、「教科書に書いてあることや、教科書に書きこんだことを互いに見せ合い、共有・協働して考えを広げる場面」（約12ポイント差）**といった、**学習支援ソフトの活用が想定される場面**である。
- 対して、**デジタル教科書の使用頻度では差が見られた「前回授業や既習事項の振り返りを行う場面」や「必要な情報のみを見せたい場面」**に関しては、**学習支援ソフトの使用頻度による差があまり見られなかった。**



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

国語／  
算数・数学

小中学校  
教師

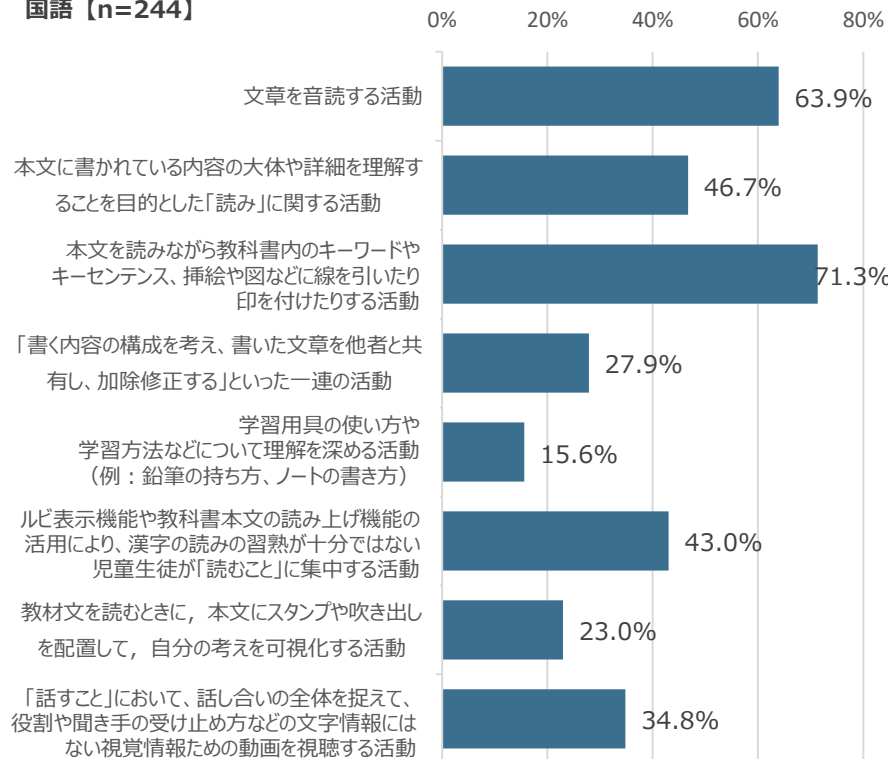
#### 分析②-6 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科固有の観点）（1/4）

#### 教師Q.14 デジタル教科書で可能になった授業展開（教科固有の観点）

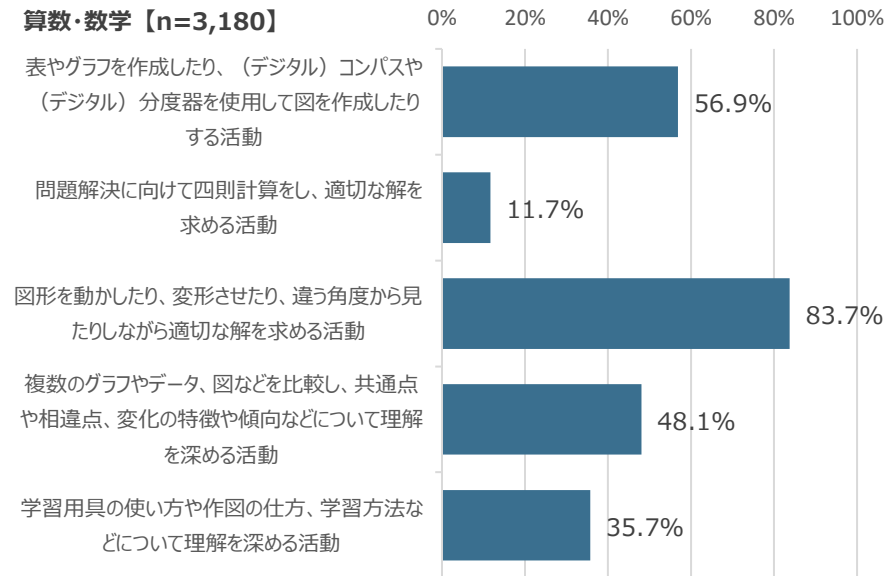
##### 傾向/示唆

- デジタル教科書で授業改善の効果を感じている教師のうち、最もデジタル教科書で可能になった授業展開と感じているのは、国語では「本文を読みながら教科書内のキーワードやキーセンテンス、挿絵や図などに線を引いたり印を付けたりする活動」、算数・数学では「図形を動かしたり、変形させたり、違う角度から見たりしながら適切な解を求める活動」である。

##### 国語【n=244】



##### 算数・数学【n=3,180】



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

社会/理科

小中学校  
教師

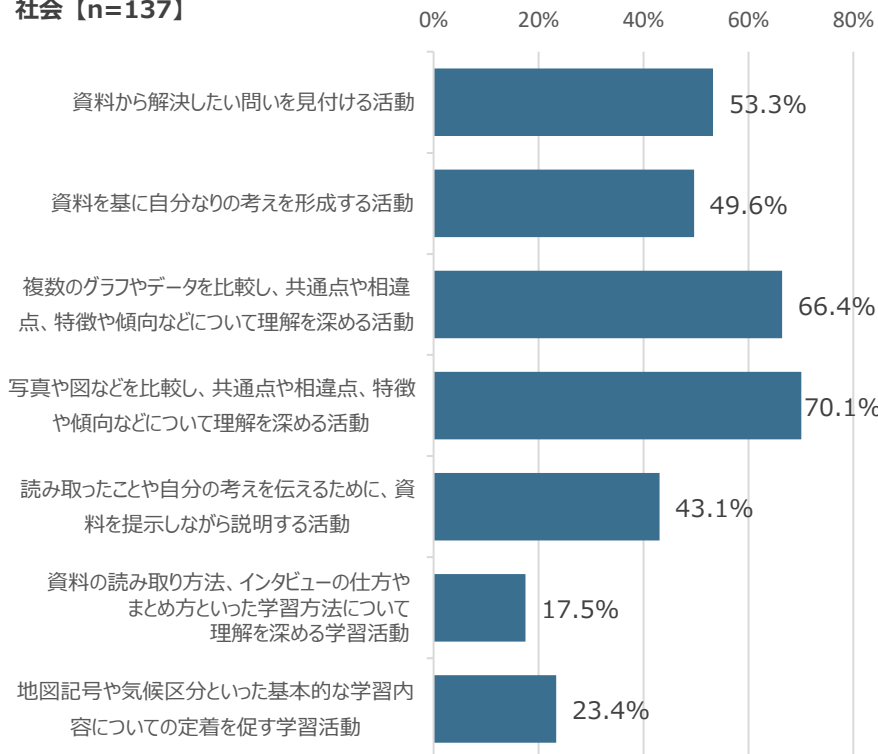
#### 分析②-6 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科固有の観点）（2/4）

##### 教師Q.14 デジタル教科書で可能になった授業展開（教科固有の観点）

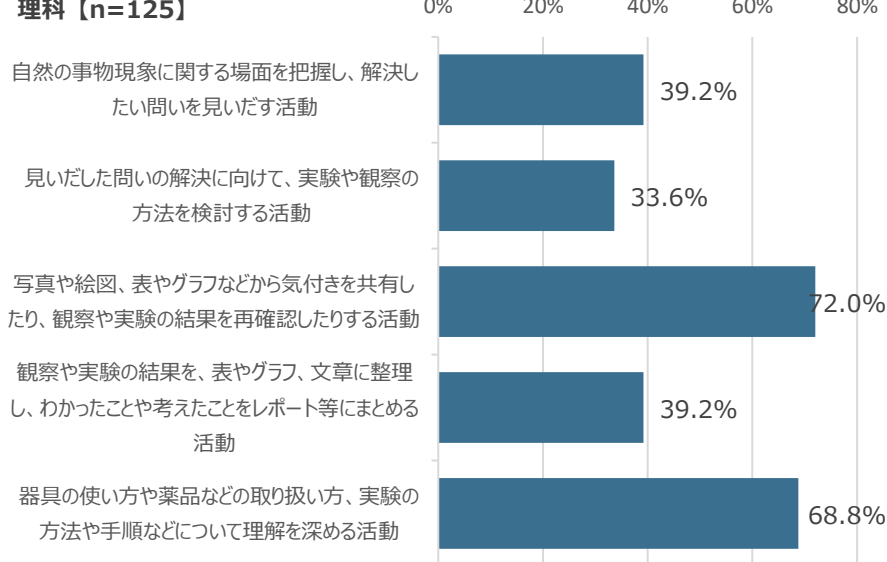
###### 傾向/示唆

- デジタル教科書で授業改善の効果を感じている教師のうち、最もデジタル教科書で可能になった授業展開と感じているのは、社会では「写真や図などを比較し、共通点や相違点、特徴や傾向などについて理解を深める活動」、理科では「写真や絵図、表やグラフなどから気付きを共有したり、観察や実験の結果を再確認したりする活動」である。

###### 社会【n=137】



###### 理科【n=125】



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

② デジタル教科書による授業改善の効果

英語／音楽

小中学校  
教師

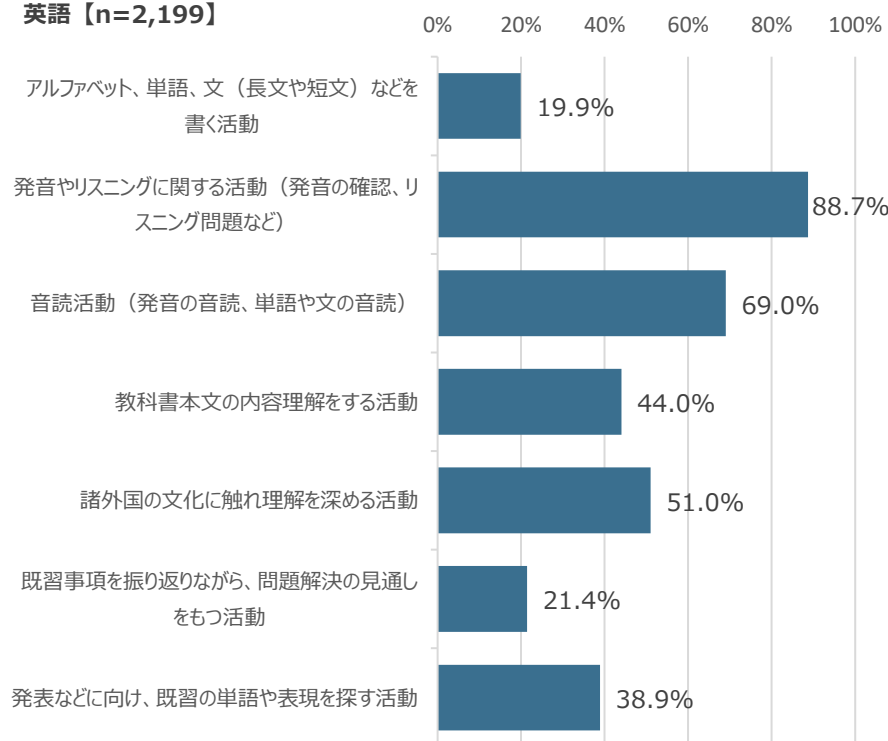
#### 分析②-6 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科固有の観点）（3/4）

##### 教師Q.14 デジタル教科書で可能になった授業展開（教科固有の観点）

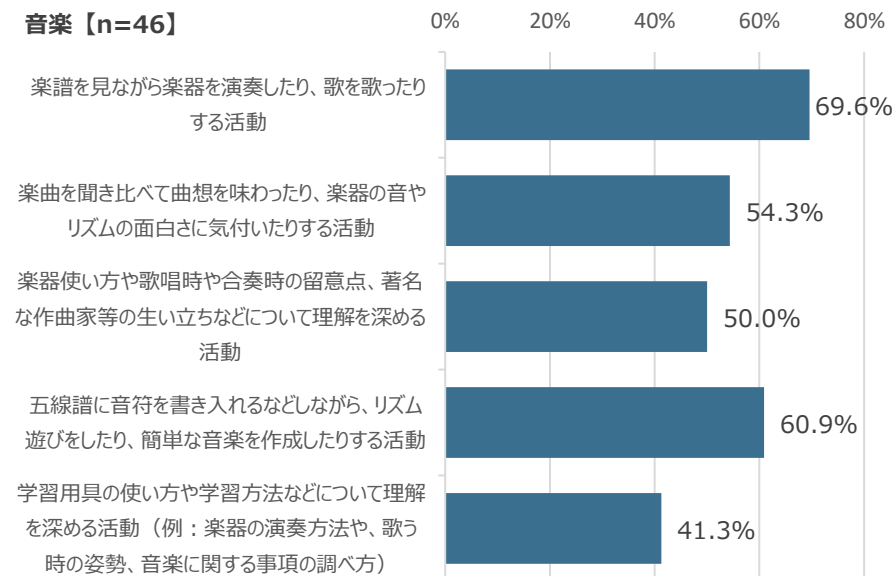
###### 傾向/示唆

- デジタル教科書で授業改善の効果を感じている教師のうち、最もデジタル教科書で可能になった授業展開と感じているのは、英語では「**発音やリスニングに関する活動（発音の確認、リスニング問題など）**」である。  
（音楽はサンプル数が少ないため、参考値としてグラフのみ掲載。次ページに掲載の教科も同様。）

###### 英語【n=2,199】



###### 音楽【n=46】



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

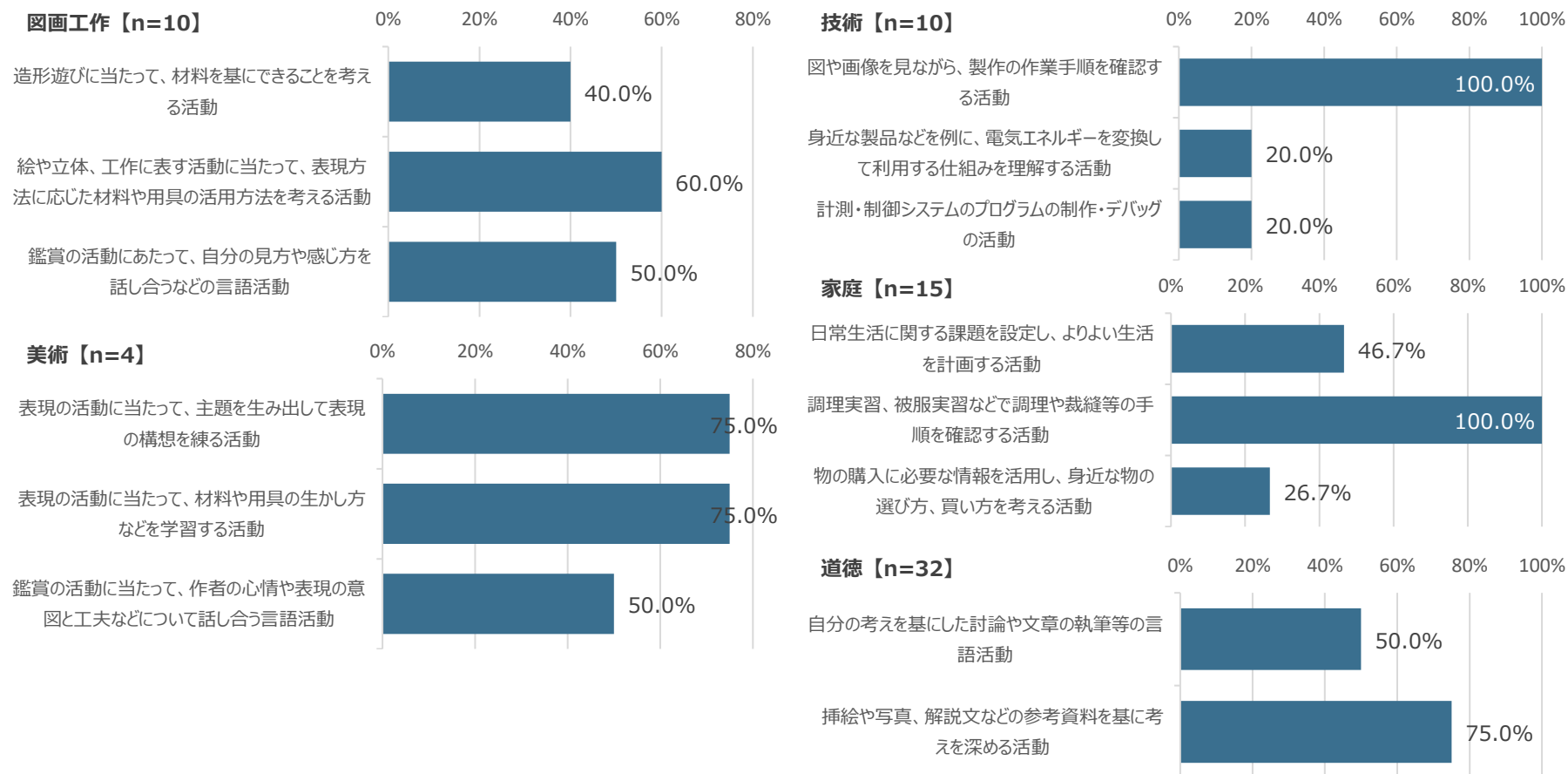
② デジタル教科書による授業改善の効果

図工・美術/  
技術・家庭/道徳

小中学校  
教師

#### 分析②-6 デジタル教科書の導入で可能になった授業展開（教科固有の観点）（4/4）

##### 教師Q.14 デジタル教科書で可能になった授業展開（教科固有の観点）



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

小中学校  
教師

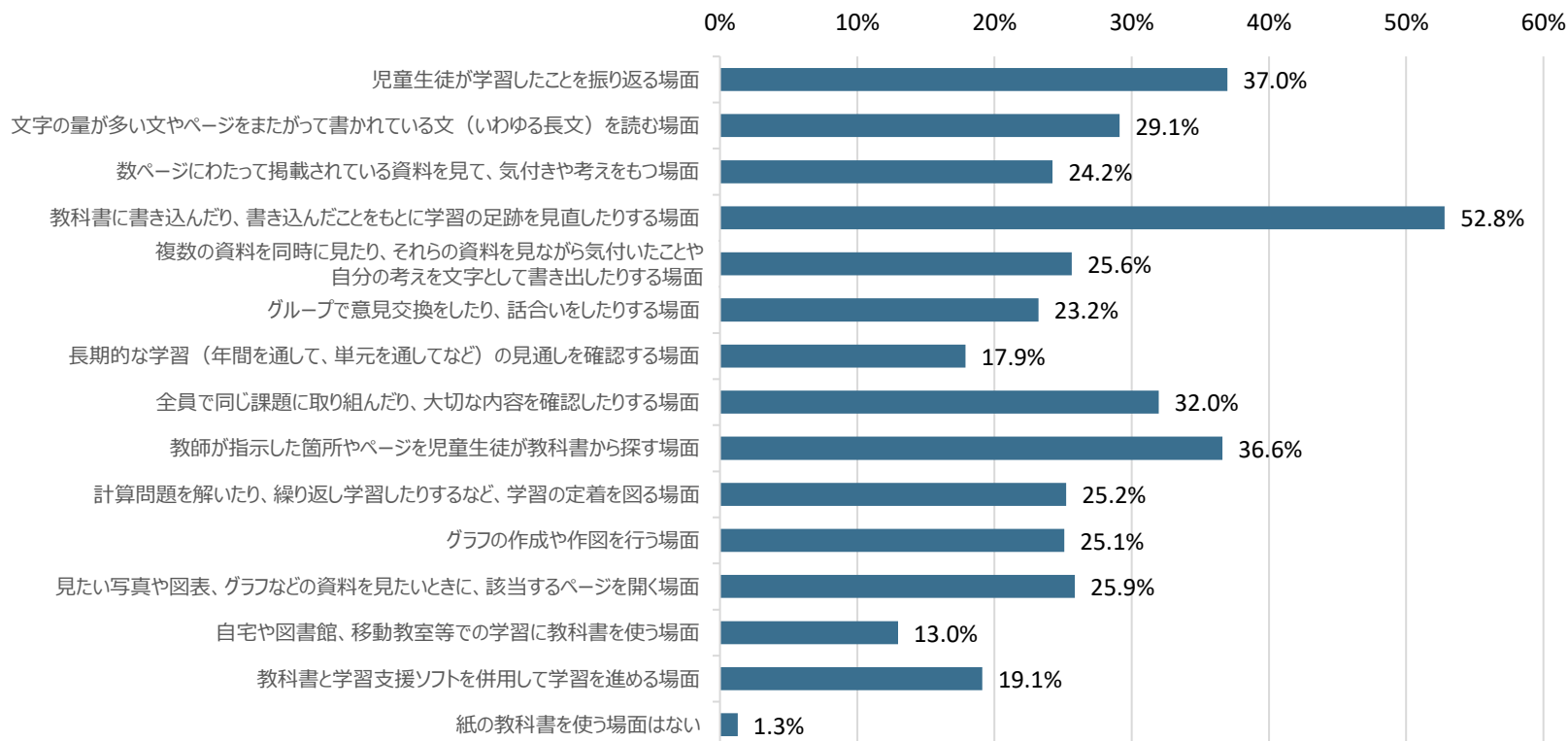
#### 分析③-1 紙の教科書を引き続き使用している場面

##### 教師Q.15 紙の教科書を引き続き使用している場面

n=5,984

#### 傾向/示唆

- 紙の教科書を引き続き使用している場面として、過半数の教師が「教科書に書き込んだり、書き込んだことをもとに学習の足跡を見直したりする場面」を挙げている。  
次に、「児童生徒が学習したことを振り返る場面」や「教師が指示した箇所やページを児童生徒が教科書から探す場面」も多く挙げられている。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

小学校  
中高学年児童

#### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係（1/7）

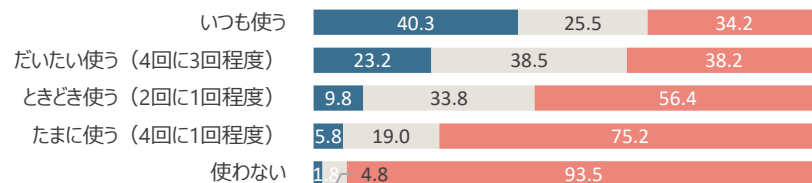
中高学年・中学生Q.14 使用頻度 × 中高学年・中学生Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

中高学年：n=15,785

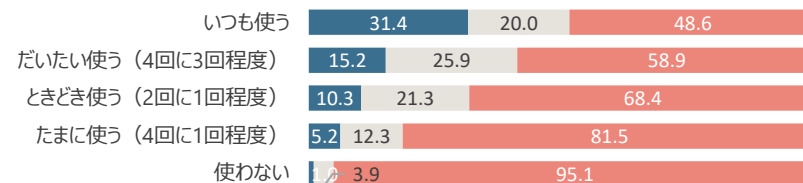
#### 傾向/示唆

- どの授業場面においても、デジタル教科書の使用頻度が高いほど、デジタル教科書を選択する児童生徒が多い。
- 特に使用頻度による差が大きく見られる場面として、「教科書を見ながら、先生や友達の話を聞くととき」や、「図や写真、表やグラフをくわしく見て、自分なりの気づきや考えをもつとき」、「友達同士で教え合うとき」、「思ったことや自分の考えを、教科書を使って説明するとき」が挙げられる。
- デジタル教科書の使用頻度が高い児童生徒でも、一部の学習場面では、紙の教科書を選択する児童生徒もあり、学習場面によって最適な媒体が異なり得ることが分かる。

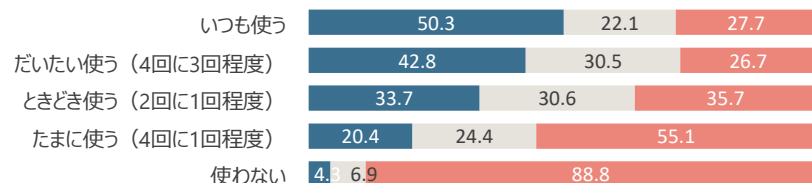
#### 教科書を見ながら、先生や友達の話を聞くととき



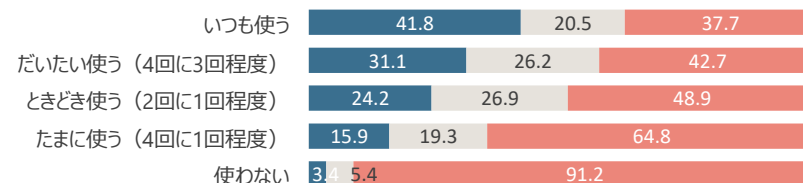
#### 文字や文章を声に出して読んだり、一人でじっくり読んだりするとき



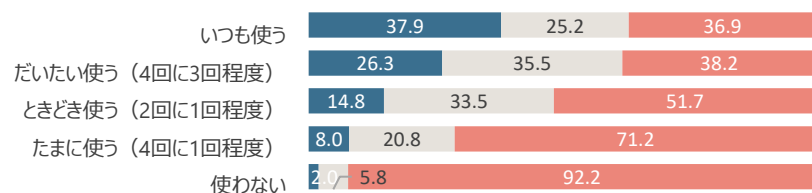
#### 図や写真、表やグラフをくわしく見て、自分なりの気づきや考えをもつとき



#### 文字や文章に線を引いたり、図や写真、表やグラフの中に印をつけたりするなど、教科書に書き込んだり、書き込んだものを消したりするとき



#### 友達同士で教え合うとき



■ デジタル教科書を使うことが多い

□ どちらも同じくらい

■ 紙の教科書を使うことが多い

中高学年

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

小学校  
中高学年児童

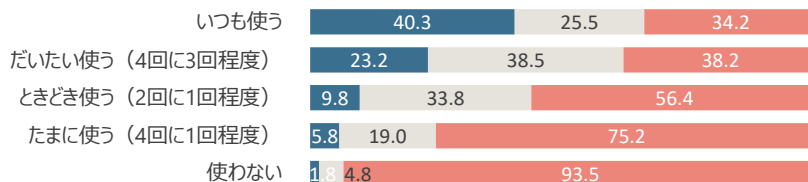
### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係 (2/7)

中高学年・中学生Q.14 使用頻度 × 中高学年・中学生Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

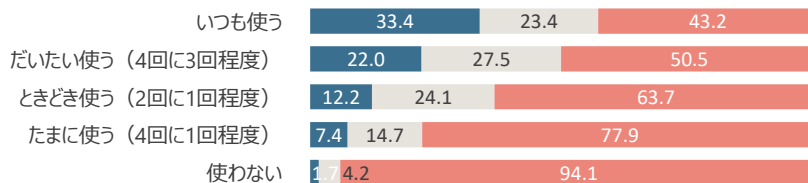
中高学年：n=15,785

中高学年

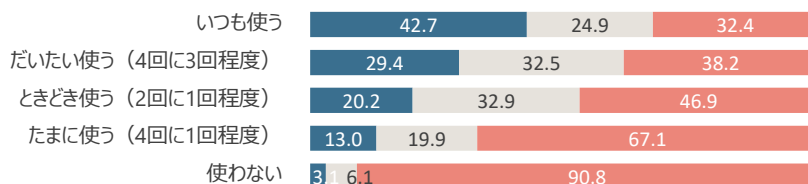
#### 自分の考えを、クラスのみんに説明するとき



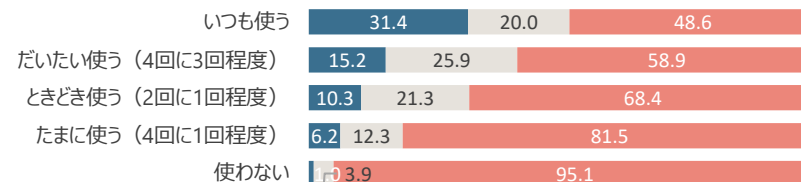
#### これまでに学習した教科書のページを開いて、学習内容を確認するとき



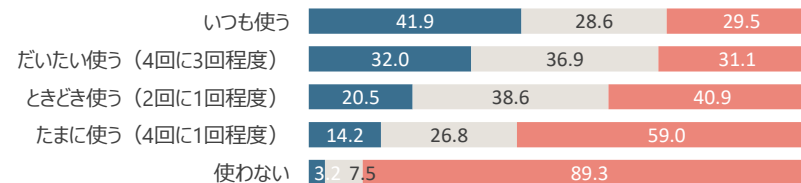
#### 思ったことや自分の考えを、教科書を使って説明するとき



#### 課題の解決に向けて、自分一人で考えたり、情報を集めたりするとき



#### 教科書と、教科書以外の資料を同時に使って学習するとき



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

小学校  
中高学年児童

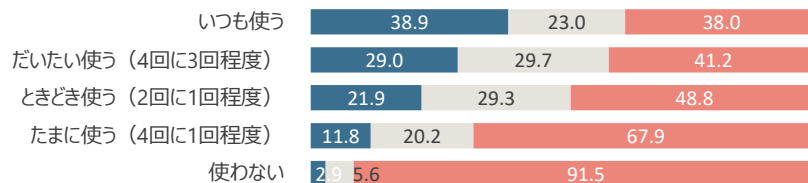
#### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係 (3/7)

中高学年・中学生Q.14 使用頻度 × 中高学年・中学生Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

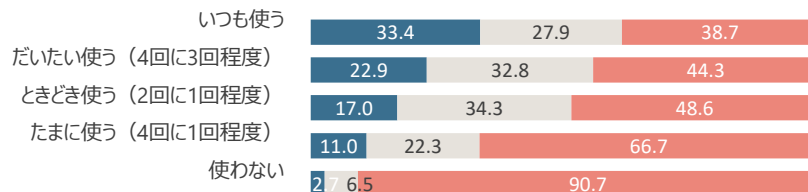
中高学年：n=15,785

中高学年

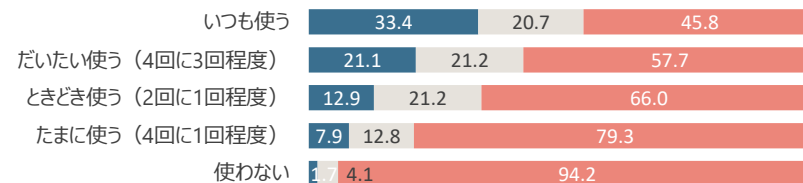
##### 学習したことを残して、別の時間に見たり、思い出したりするとき



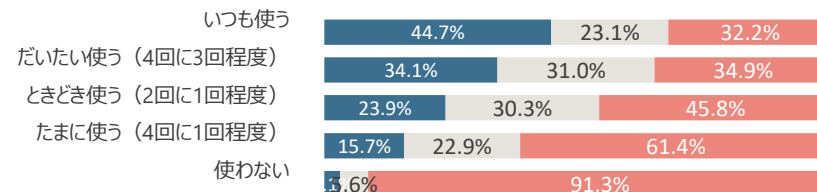
##### 教室以外の、図書館や特別教室などに教科書をもっていき、学習するとき



##### 教科書のページをめくって長い文を読むとき



##### 先生から指示されたページを開いたり、他のページの写真や絵、図や表をさがしたりするとき



■ デジタル教科書を使うことが多い

■ どちらも同じくらい

■ 紙の教科書を使うことが多い

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

中学生

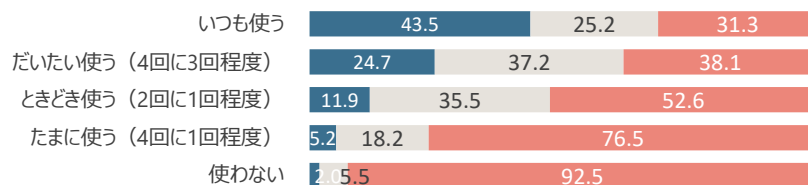
#### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係（4/7）

中高学年・中学生Q.14 使用頻度 × 中高学年・中学生Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

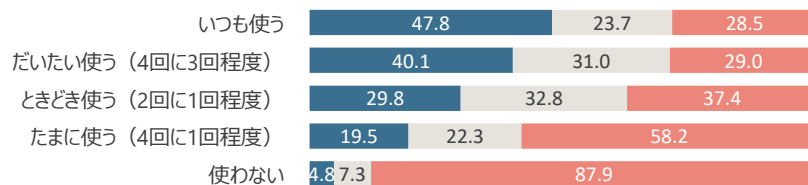
中学生：n = 26,439

中学生

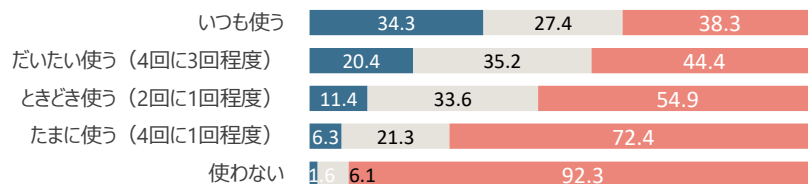
##### 教科書を見ながら、先生や友達の話や聞くとき



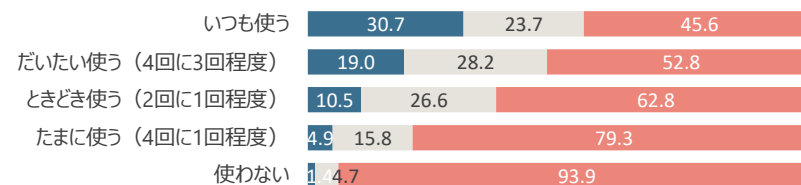
##### 図や写真、表やグラフをくわしく見て、自分なりの気づきや考えをもつとき



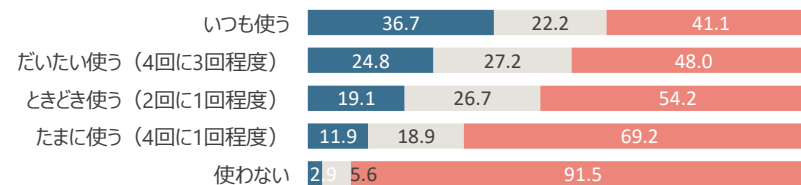
##### 友達同士で教え合うとき



##### 文字や文章を声に出して読んだり、一人でじっくり読んだりするとき



##### 文字や文章に線を引いたり、図や写真、表やグラフの中に印をつけたりするなど、教科書に書き込んだり、書き込んだものを消したりするとき



■ デジタル教科書を使うことが多い

■ どちらも同じくらい

■ 紙の教科書を使うことが多い

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

③ 紙の教科書との比較における効果

全教科書総計

中学生

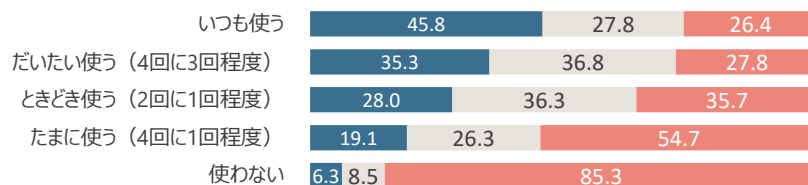
#### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係（5/7）

中高学年・中学生Q.14 使用頻度 × 中高学年・中学生Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

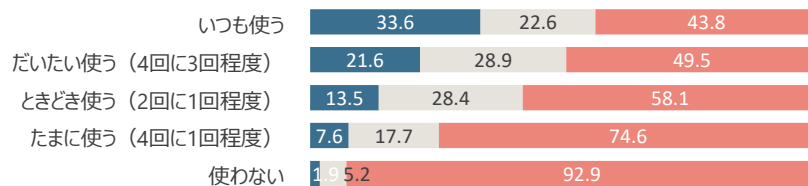
中学生：n = 26,439

中学生

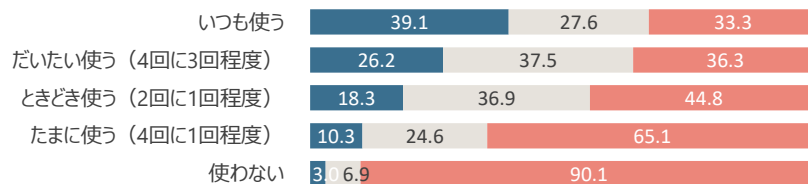
##### 自分の考えを、クラスのみんに説明するとき



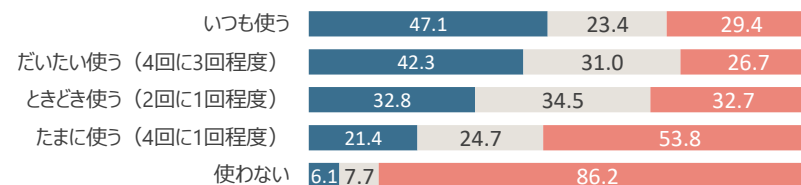
##### これまでに学習した教科書のページを開いて、学習内容を確認するとき



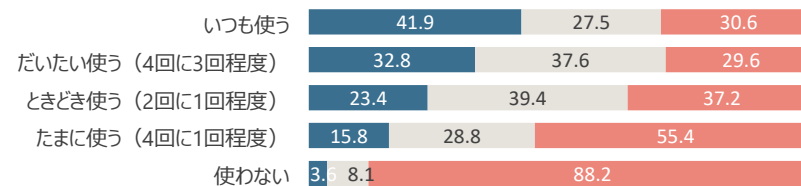
##### 思ったことや自分の考えを、教科書を使って説明するとき



##### 課題の解決に向けて、自分一人で考えたり、情報を集めたりするとき



##### 教科書と、教科書以外の資料を同時に使って学習するとき



■ デジタル教科書を使うことが多い

■ どちらも同じくらい

■ 紙の教科書を使うことが多い

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

中学生

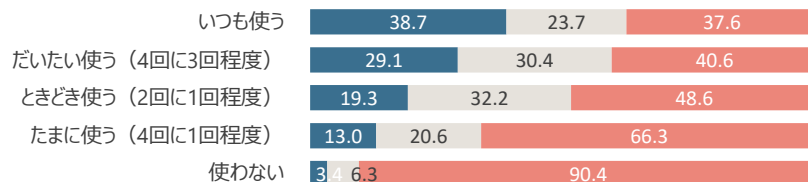
#### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係（6/7）

中高学年・中学生Q.14 使用頻度 × 中高学年・中学生Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

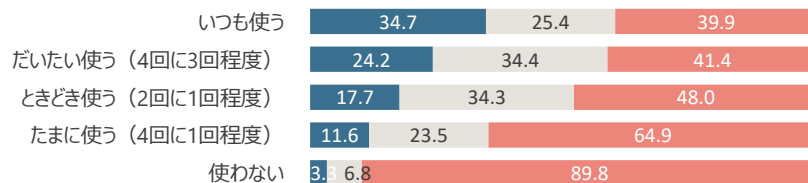
中学生：n = 26,439

中学生

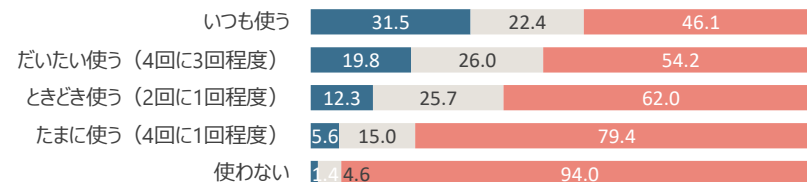
##### 学習したことを残して、別の時間に見たり、思い出したりするとき



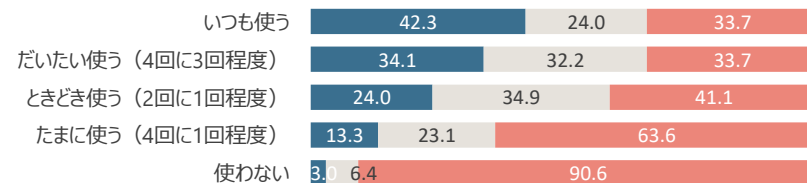
##### 教室以外の、図書館や特別教室などに教科書をもっていき、学習するとき



##### 教科書のページをめくって長い文を読むとき



##### 先生から指示されたページを開いたり、他のページの写真や絵、図や表をさがしたりするとき



■ デジタル教科書を使うことが多い

■ どちらも同じくらい

■ 紙の教科書を使うことが多い

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

③ 紙の教科書との比較における効果

全教科総計

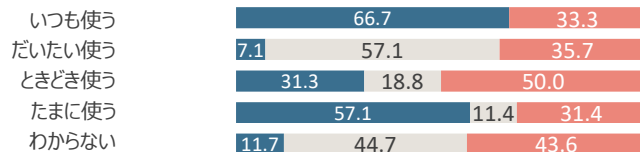
小学校  
低学年児童

#### 分析③-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書と紙の教科書の使用感の関係（7/7）

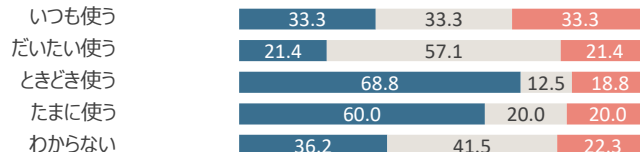
##### 低学年Q.5 使用頻度 × 低学年Q.4 デジタル教科書と紙の教科書を比べた使用感

低学年：n = 162

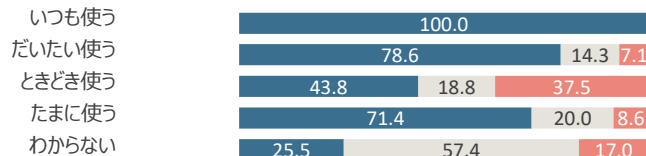
##### もちはこびやすい



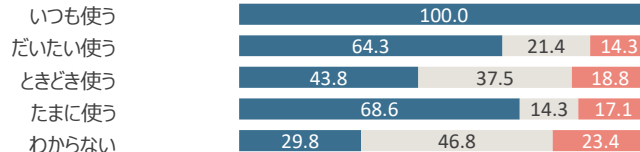
##### 見たいページをすぐにひらきやすい



##### ずやしやしんを見つけやすい



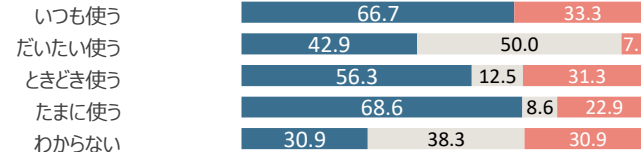
##### 文字が見やすい



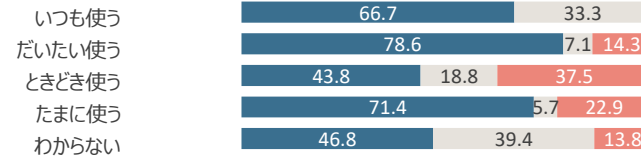
##### ずやしやしんが見やすい



##### かきこみやすい



##### かいたものをけしやすい



■ デジタル教科書の方がそう感じる
 ■ どちらも同じくらい
 ■ 紙の教科書の方がそう感じる

低学年

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連 (1/3)

低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 内容理解 (※1)

低学年：n=162 中高学年：n=15,785

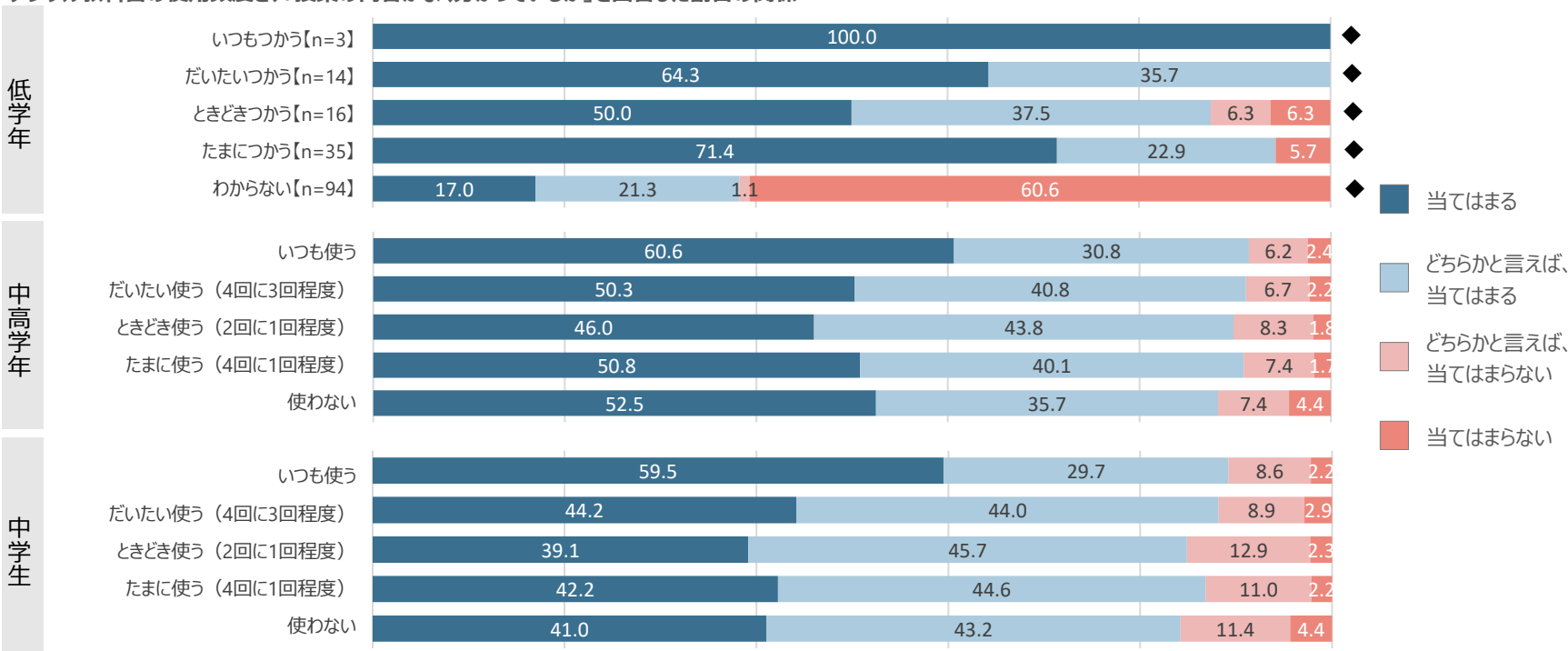
中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.6 内容理解 (※1)

中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**授業内容の理解について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。**(「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。)
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約8ポイント、中学生では約18ポイント高くなっている。  
※小学校低学年児童はサンプル数が97未満であり、標本誤差が大きい(10%超)ため、参考値としてのみ掲載。中高学年・中学生の各選択肢のサンプル数はp.109を参照。(以降、同じ)

#### デジタル教科書の使用頻度と、「授業の内容がよく分かっているか」を回答した割合の関係



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

#### 分析④-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連 (2/3)

主要5教科別

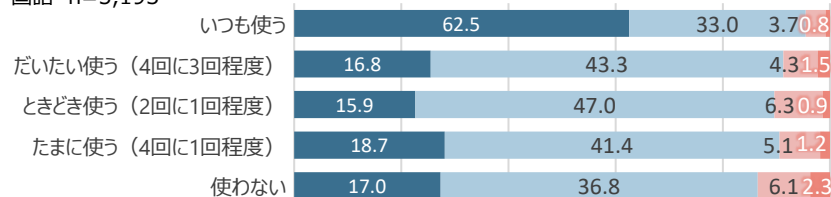
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.6 内容理解

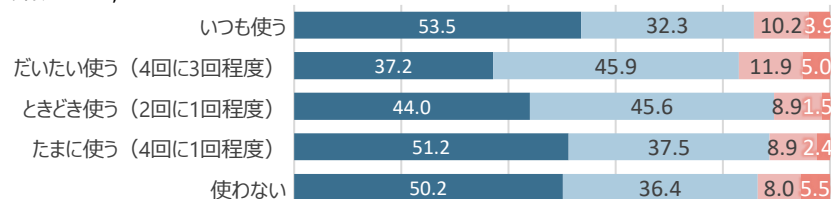
##### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、ほとんどの教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、内容理解で「当てはまる」と回答した割合が最も高い。  
特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約19ポイント高くなっている。

##### 国語 n=5,193



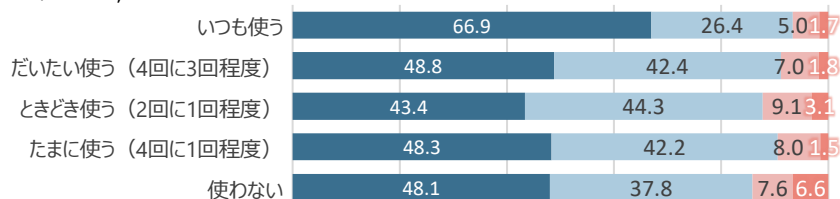
##### 算数 n=2,693



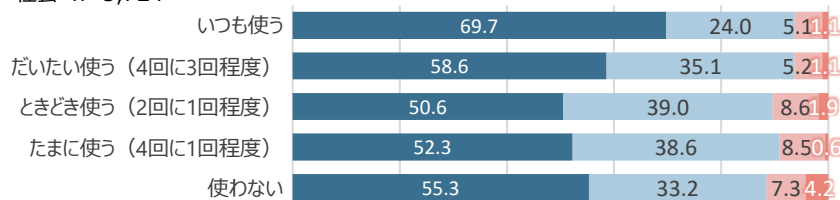
##### 英語 n=2,038



##### 理科 n=1,806



##### 社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-1 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「内容理解」の関連 (3/3)

主要5教科別

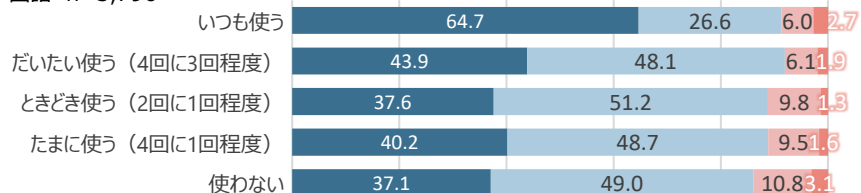
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.6 内容理解

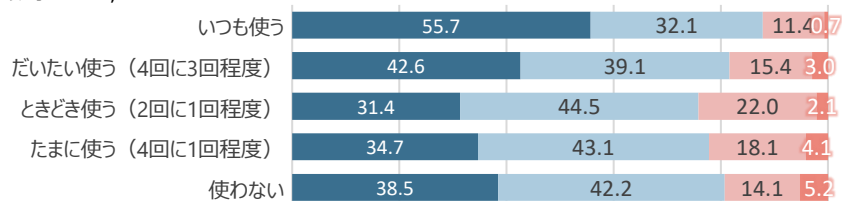
#### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、内容理解で「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約28ポイント高くなっている。

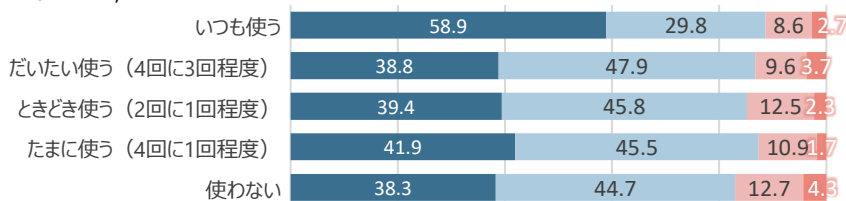
国語 n=3,796



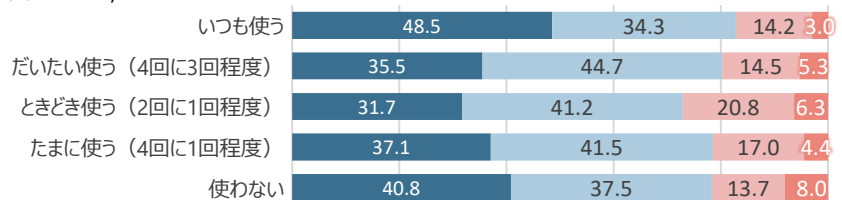
数学 n=2,277



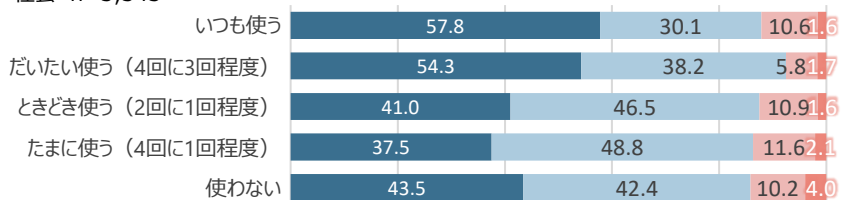
理科 n=9,957



英語 n=2,942



社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連 (1/3)

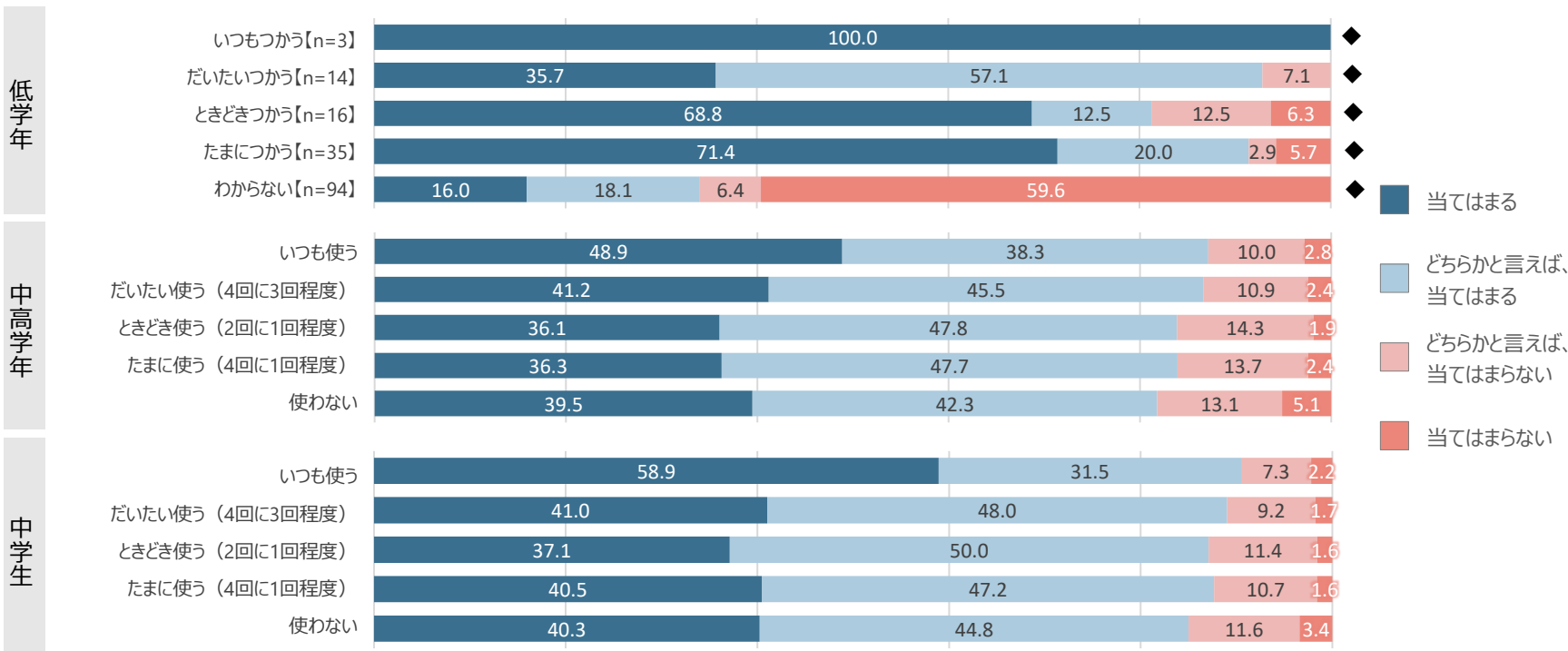
低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 主体的な学び  
中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.7 主体的な学び

低学年：n=162 中高学年：n=15,785  
中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い**。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約9ポイント、中学生では約19ポイント高くなっている。

#### デジタル教科書の使用頻度と、授業において「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

### 分析④-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連 (2/3)

主要5教科別

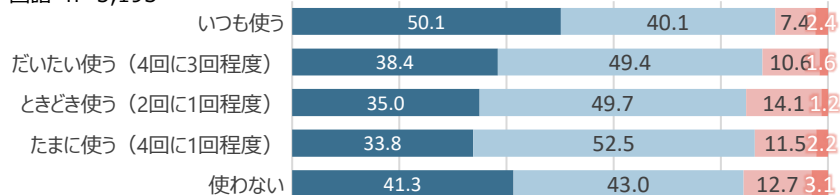
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.7 主体的な学び

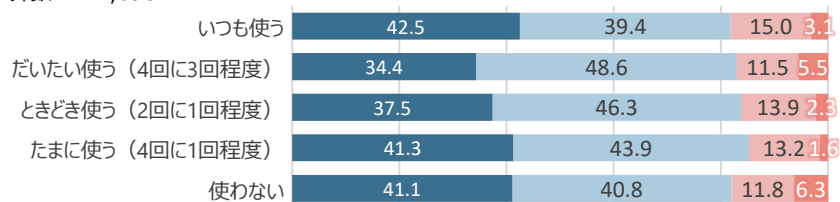
##### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、主体的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。  
特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約23ポイント高くなっている。

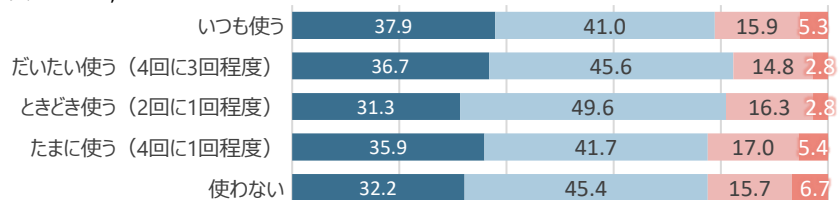
#### 国語 n=5,193



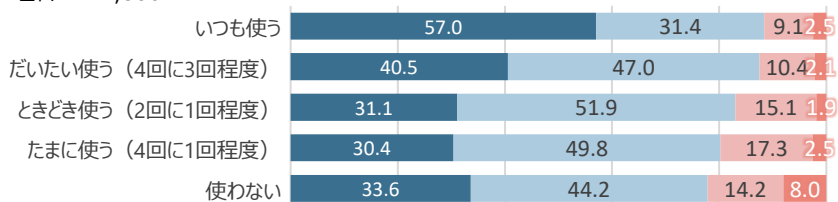
#### 算数 n=2,693



#### 英語 n=2,038



#### 理科 n=1,806



#### 社会 n=3,724



■ 当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまらない  
■ 当てはまらない

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-2 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連 (3/3)

主要5教科別

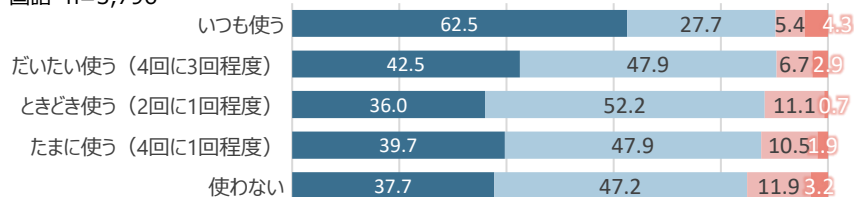
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.7 主体的な学び

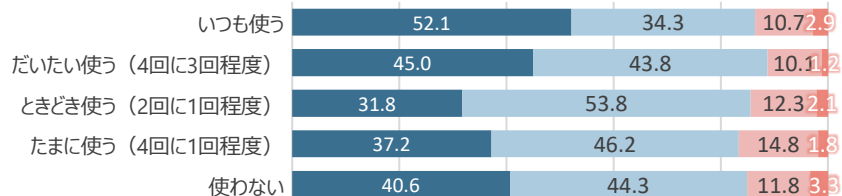
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、主体的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約25ポイント高くなっている。

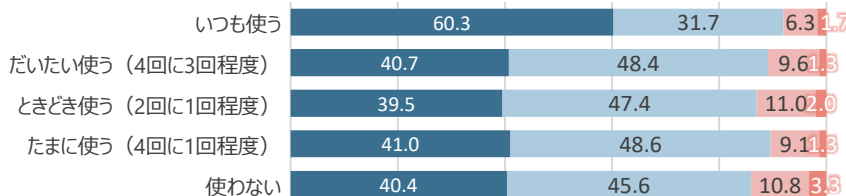
国語 n=3,796



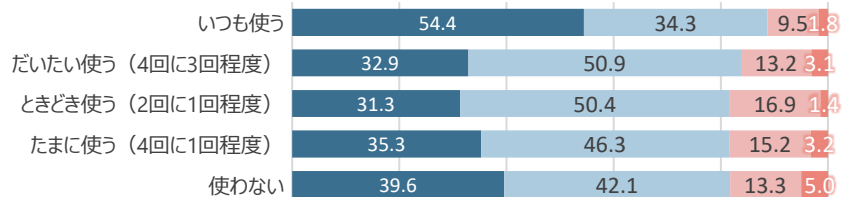
数学 n=2,277



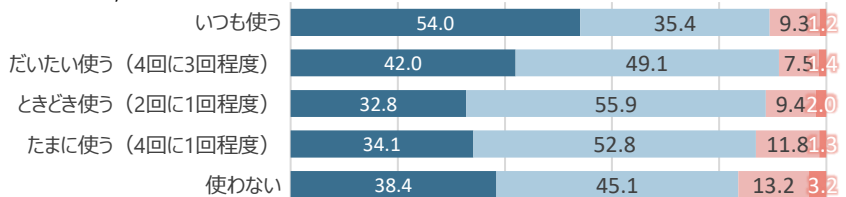
理科 n=9,957



英語 n=2,942



社会 n=3,343



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

#### 分析④-3 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連（1/3）

全教科総計

中高学年児童・  
中学校生徒

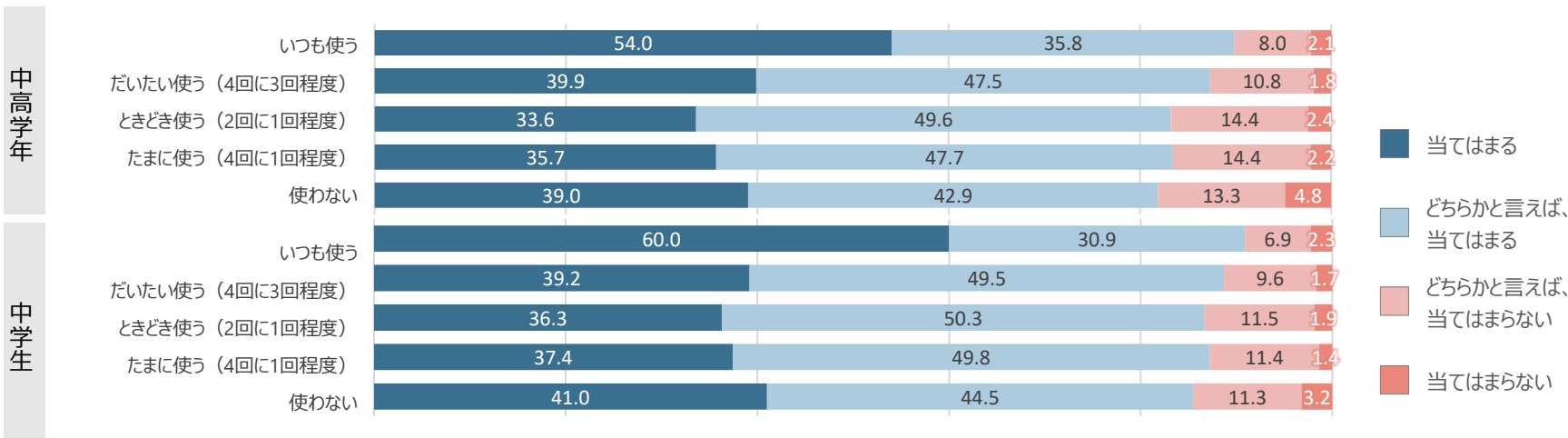
#### 中高学年・中学生Q.15 個別学習の場面での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.7 主体的な学び

中高学年：n=15,785 中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を個別学習の場面で「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、主体的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約15ポイント、中学生では約19ポイント高くなっている。

#### 個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と、授業において「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいるか」を回答した割合の関係



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

#### 分析④-3 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連 (2/3)

主要5教科別

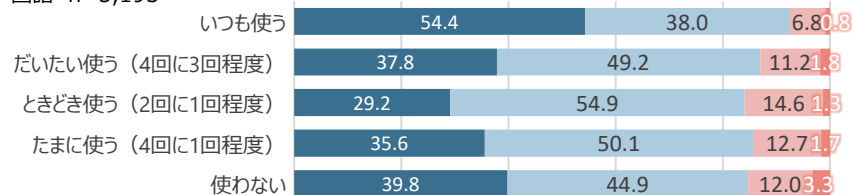
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.15 個別学習の場面での使用頻度 × 中高学年Q.7 主体的な学び

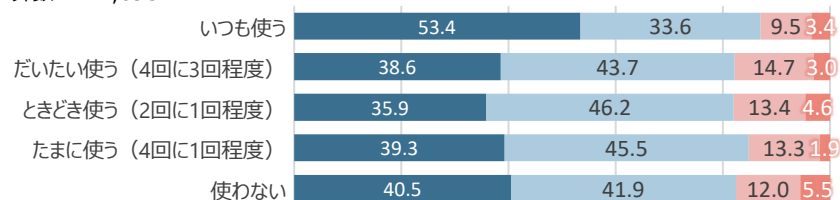
##### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループが、主体的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。  
特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約22ポイント高くなっている。

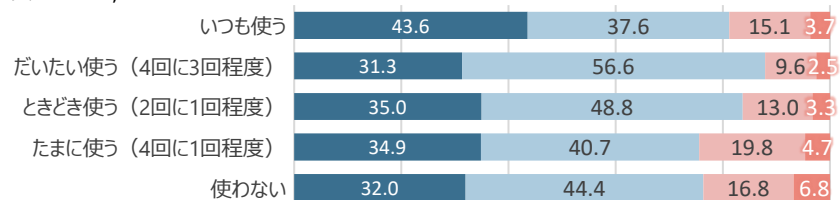
##### 国語 n=5,193



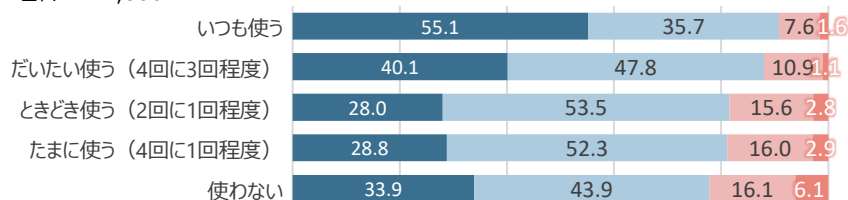
##### 算数 n=2,693



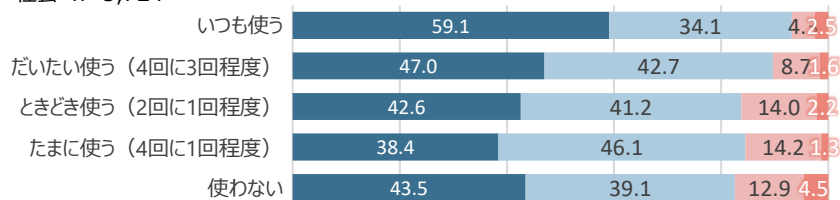
##### 英語 n=2,038



##### 理科 n=1,806



##### 社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-3 児童生徒の個別学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「主体的な学び」の関連 (3/3)

主要5教科別

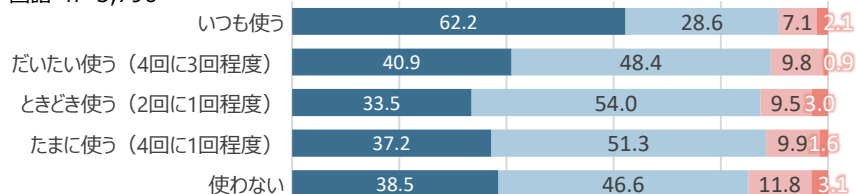
中学生

#### 中学生Q.15 個別学習の場面での使用頻度 × 中学生Q.7 主体的な学び

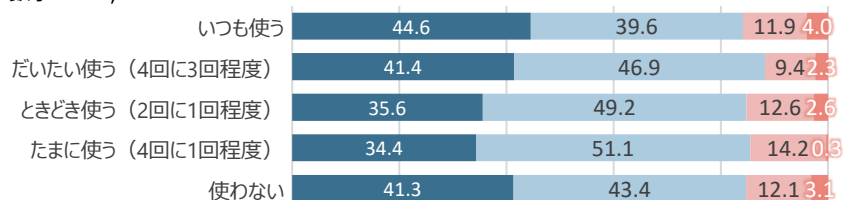
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、個別学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループが、主体的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。  
特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約24ポイント高くなっている。

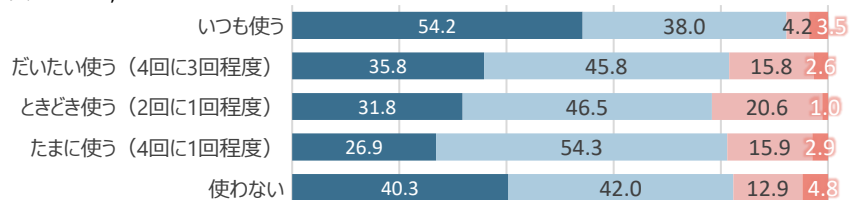
国語 n=3,796



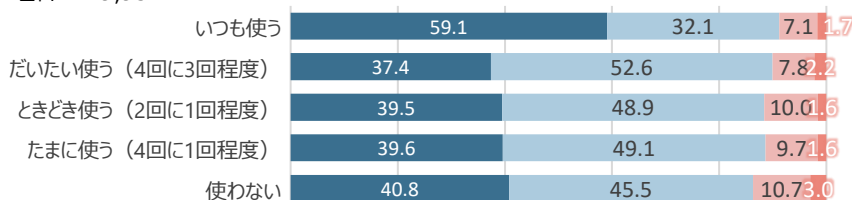
数学 n=2,277



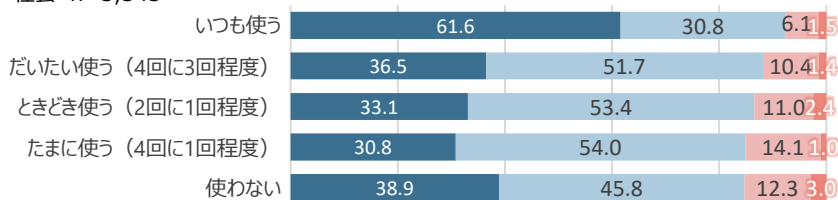
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-4 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連 (1/3)

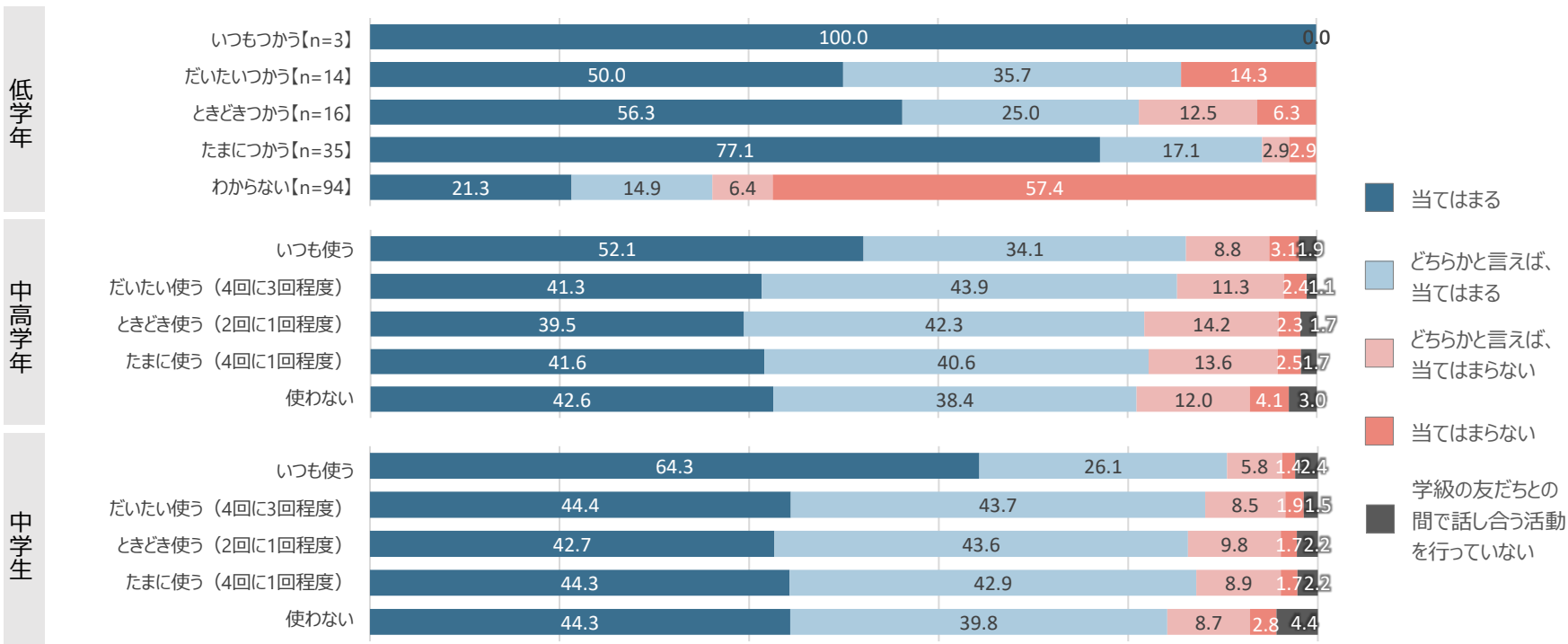
低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 協働的な学び  
中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.8 協働的な学び

低学年：n=162 中高学年：n=15,785  
中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**協働的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。**（「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約9ポイント、中学生では約20ポイント高くなっている。

デジタル教科書の使用頻度と、授業において「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

### 分析④-4 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連 (2/3)

主要5教科別

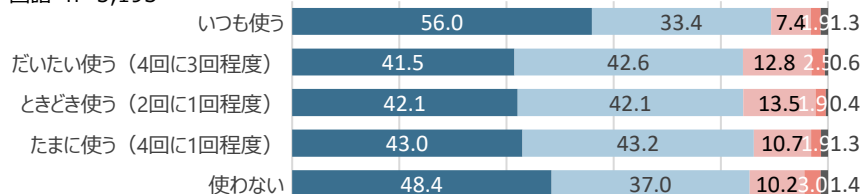
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.8 協働的な学び

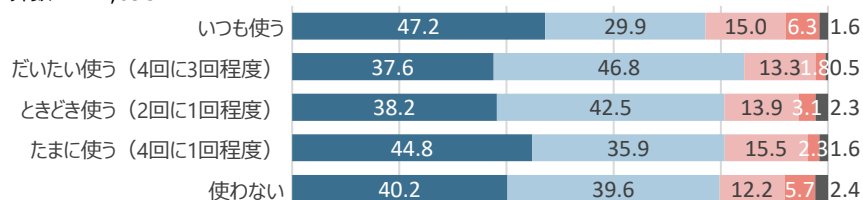
#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、協働的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。  
特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約26ポイント高くなっている。

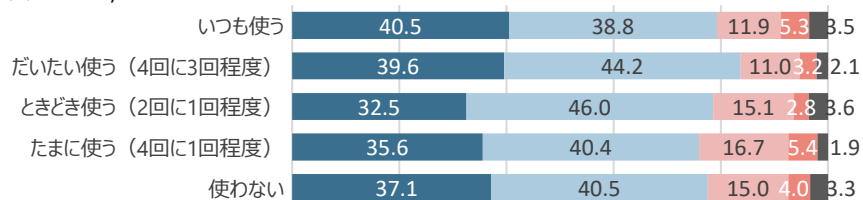
国語 n=5,193



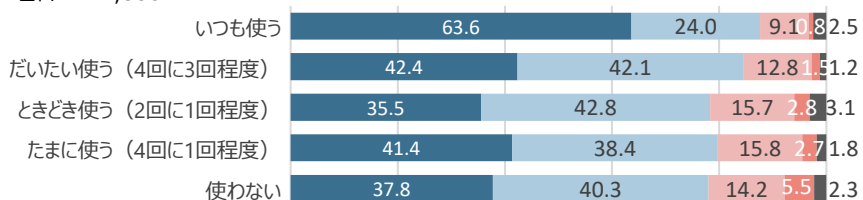
算数 n=2,693



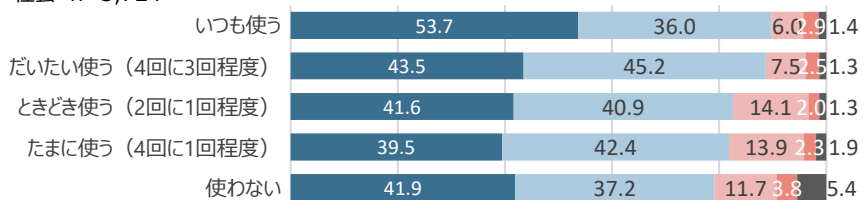
英語 n=2,038



理科 n=1,806



社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

主要5教科別

中学生

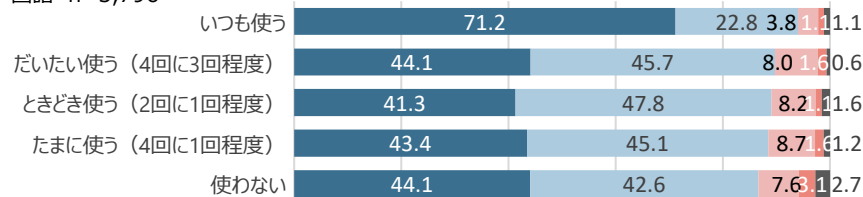
### 分析④-4 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連 (3/3)

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.8 協働的な学び

#### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、協働的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約27ポイント高くなっている。

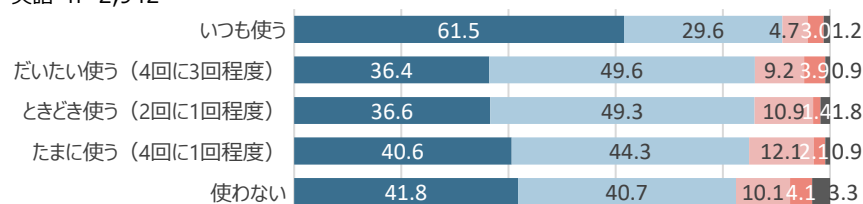
国語 n=3,796



数学 n=2,277



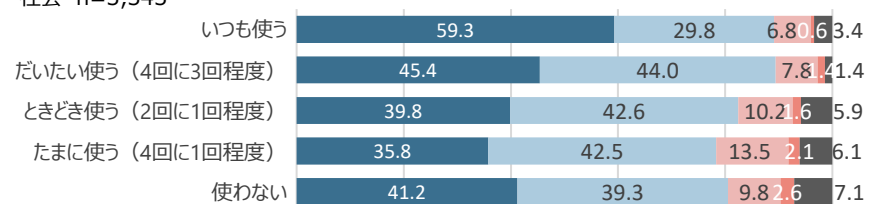
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



■ 当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまらない  
■ 当てはまらない  
■ 学級の友だちとの間で話し合う活動を行っていない

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

#### 分析④-5 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連 (1/3)

全教科総計

中高学年児童・  
中学校生徒

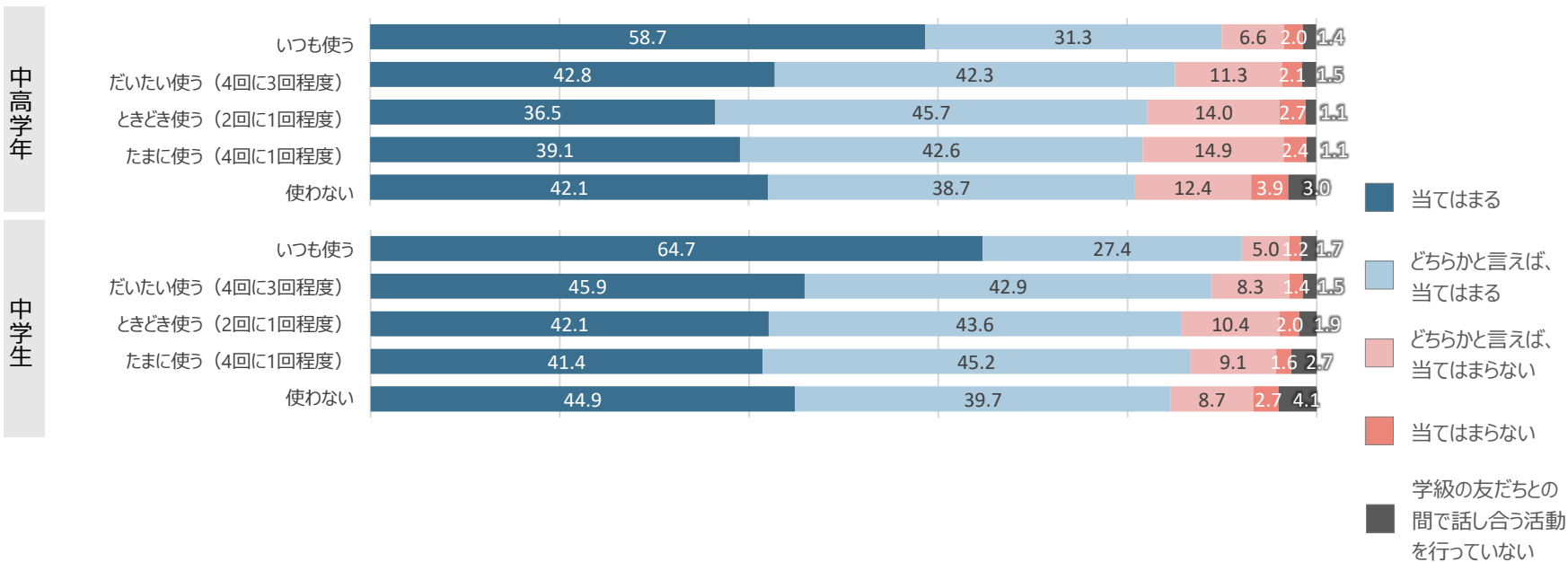
#### 中高学年・中学生Q.15 協働学習の場面での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.8 協働的な学び

中高学年：n=15,785 中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を協働学習の場面で「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、協働的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約17ポイント、中学生では約20ポイント高くなっている。

協働学習の場面でのデジタル教科書の使用頻度と、授業において「学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

### 分析④-5 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連 (2/3)

主要5教科別

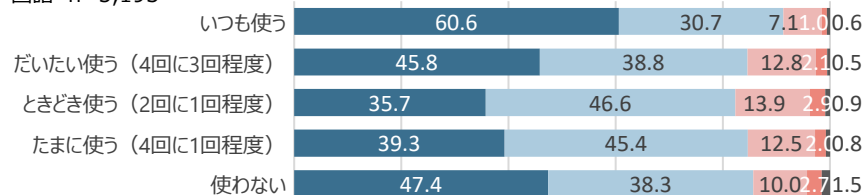
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.15 協働学習の場面での使用頻度 × 中高学年Q.8 協働的な学び

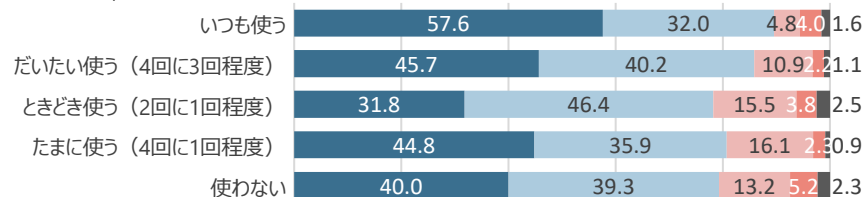
##### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループが、協働的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約27ポイント高くなっている。

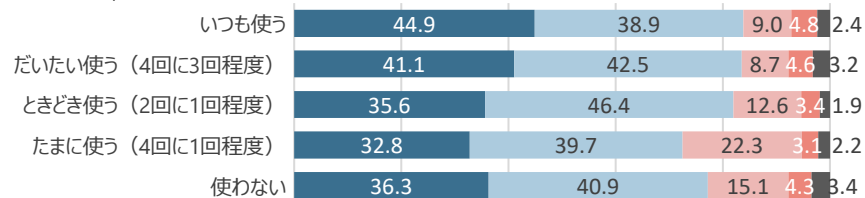
国語 n=5,193



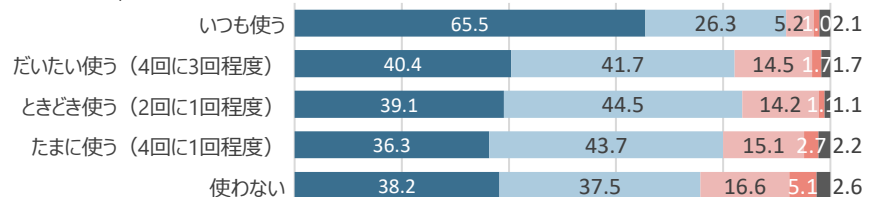
算数 n=2,693



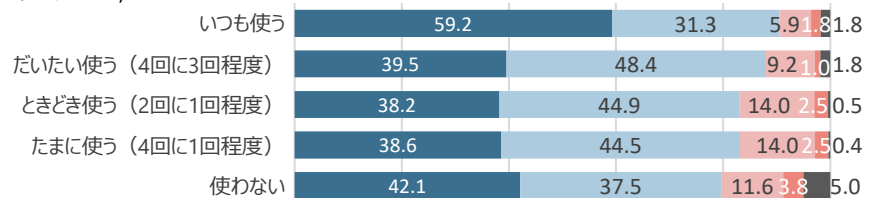
英語 n=2,038



理科 n=1,806



社会 n=3,724



■ 当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまらない  
■ 当てはまらない  
■ 学級の友だちとの間で話し合う活動を行っていない

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-5 児童生徒の協働学習の場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「協働的な学び」の関連 (3/3)

主要5教科別

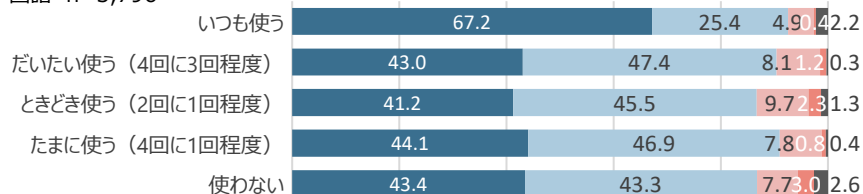
中学生

#### 中学生Q.15 協働学習の場面での使用頻度 × 中学生Q.8 協働的な学び

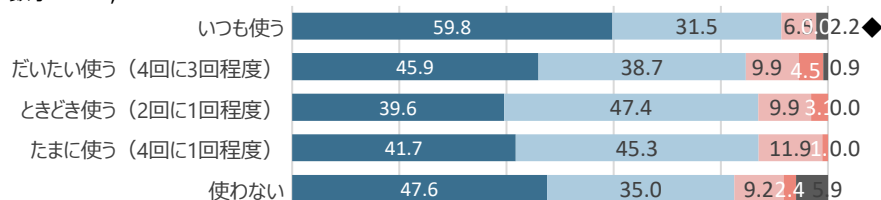
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、協働学習の場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループが、協働的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。

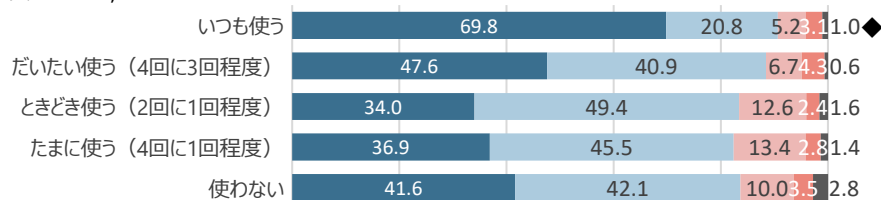
国語 n=3,796



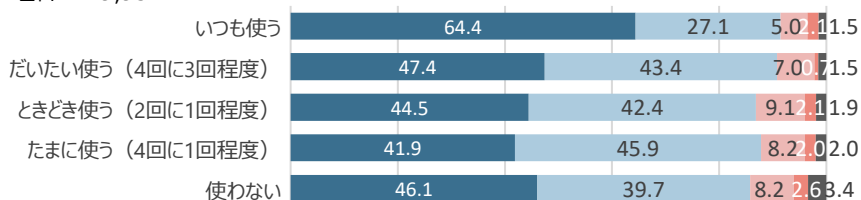
数学 n=2,277



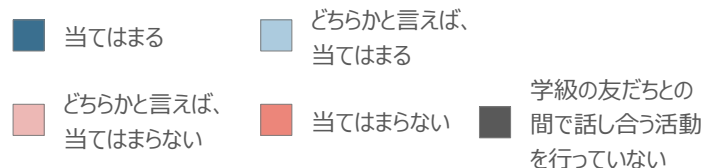
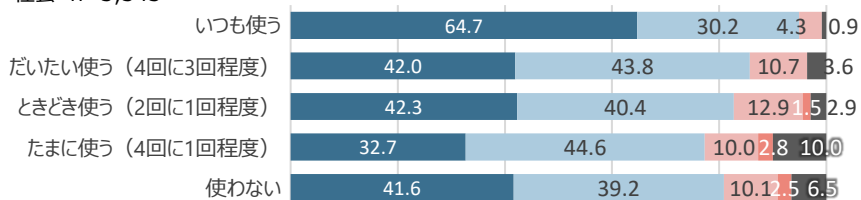
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-6 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連 (1/3)

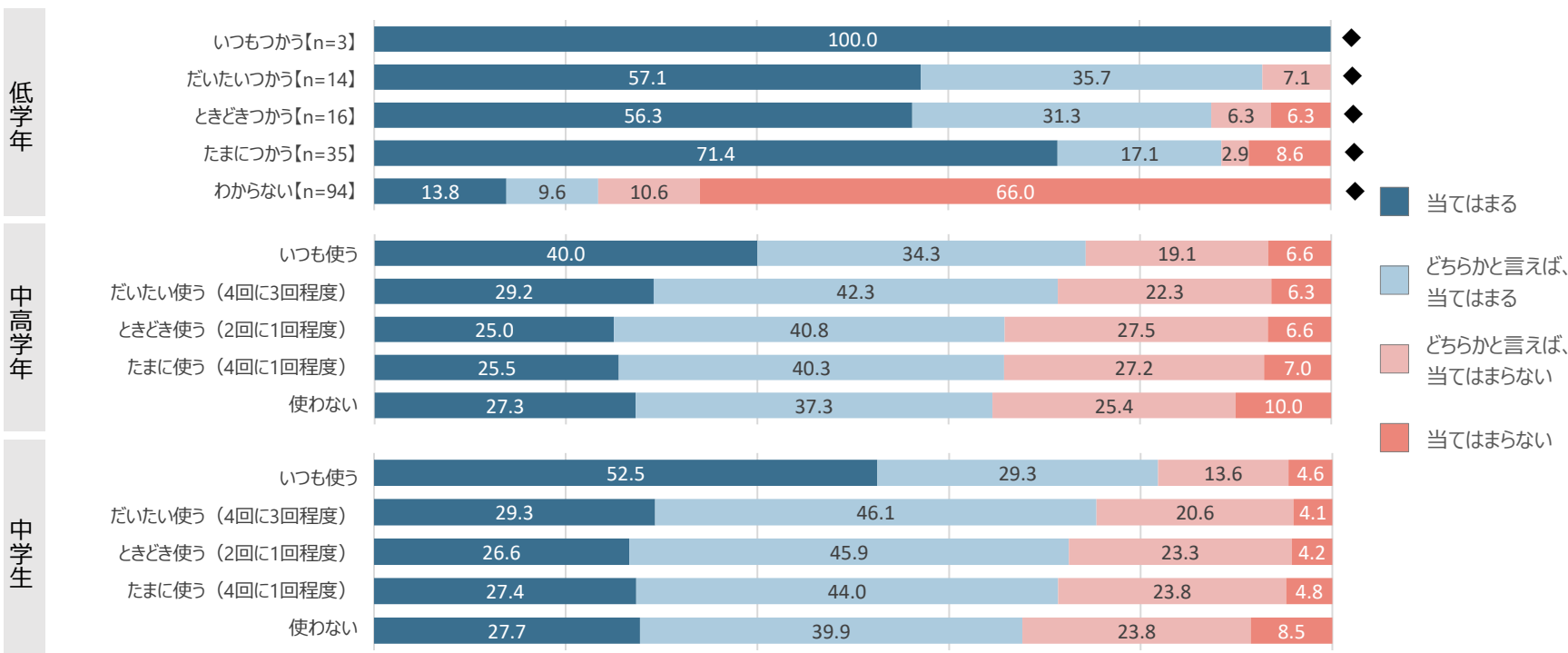
低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 探究的な学び  
中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.9 探究的な学び

低学年：n=162 中高学年：n=15,785  
中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**探究的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。**
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約13ポイント、中学生では約25ポイント高くなっている。

デジタル教科書の使用頻度と、授業において「自分で課題を立てて、考えをまとめる活動を行い、工夫して発表できているか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

主要5教科別

小学校  
中高学年児童

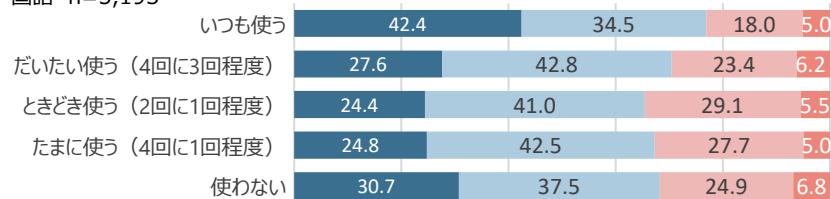
### 分析④-6 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連 (2/3)

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.9 探究的な学び

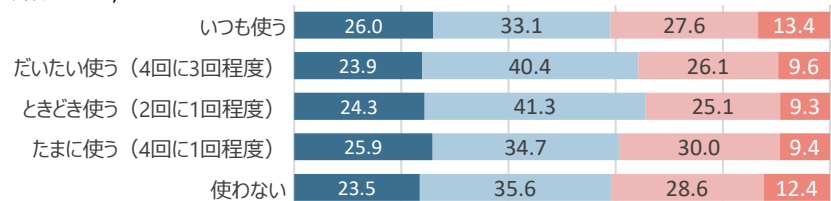
#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、算数を除き、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、探究的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。  
特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約27ポイント高くなっている。

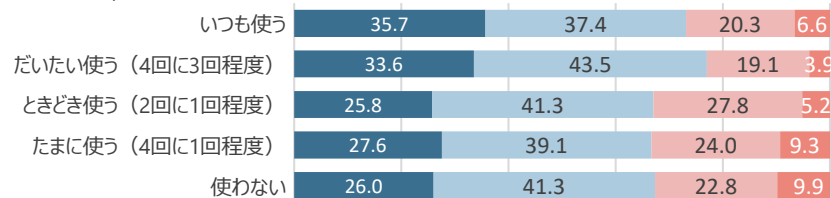
国語 n=5,193



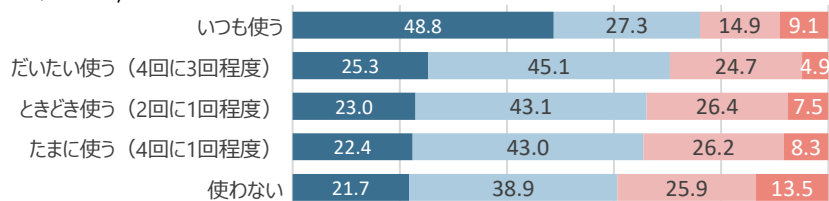
算数 n=2,693



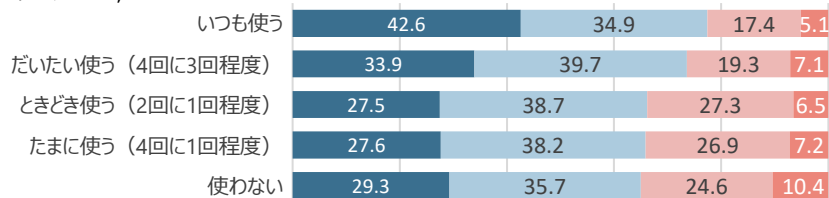
英語 n=2,038



理科 n=1,806



社会 n=3,724



■ 当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまらない  
■ 当てはまらない

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

主要5教科別

中学生

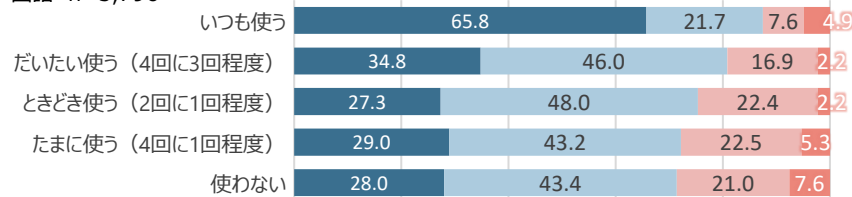
### 分析④-6 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連 (3/3)

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.9 探究的な学び

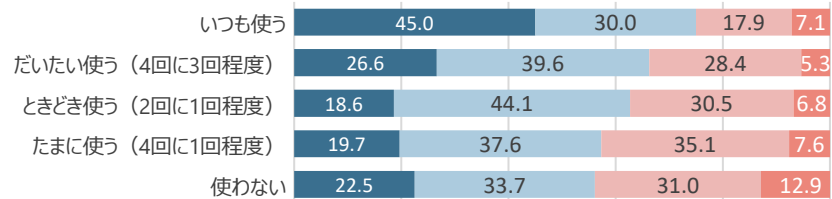
#### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、探究的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約38ポイント高くなっている。
- 小学校中高学年と比較すると、探究的な学びで「当てはまる」と回答した割合が、社会を除いて高くなっている。

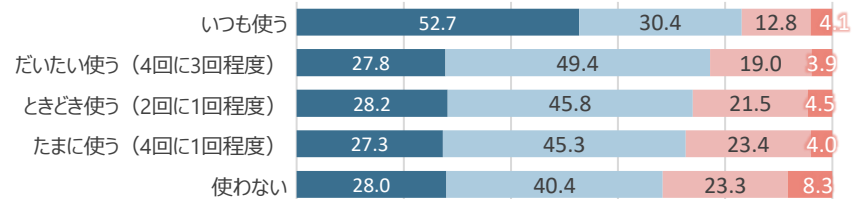
国語 n=3,796



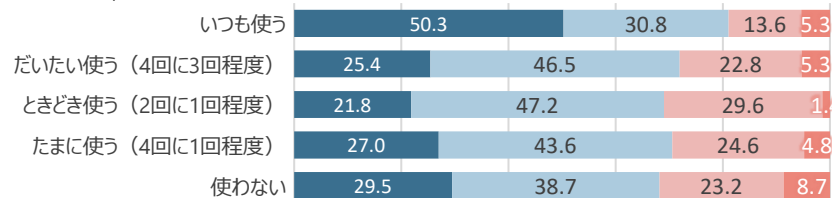
数学 n=2,277



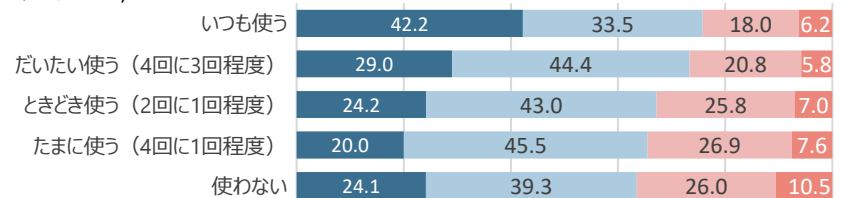
理科 n=9,957



英語 n=2,942



社会 n=3,343



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

全教科総計

中高学年児童・  
中学校生徒

#### 分析④-7 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連（1/3）

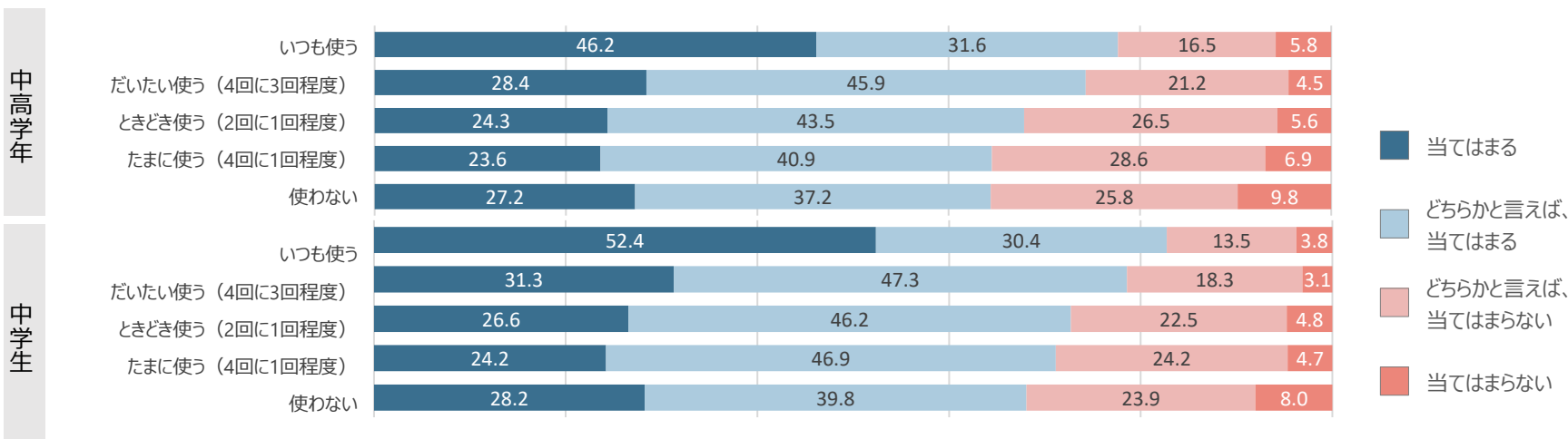
中高学年・中学生Q.15 振り返りの場面での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.9 探究的な学び

中高学年：n=15,785 中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を振り返りの場面で「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、探究的な学びについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約19ポイント、中学生では約24ポイント高くなっている。

振り返りの場面でのデジタル教科書の使用頻度と、授業において「自分で課題を立てて、考えをまとめる活動を行い、工夫して発表できているか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-7 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連 (2/3)

主要5教科別

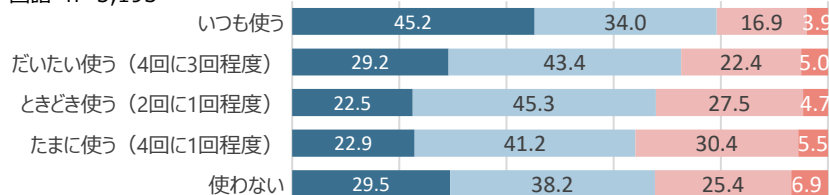
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.15 振り返りの場面での使用頻度 × 中高学年Q.9 探究的な学び

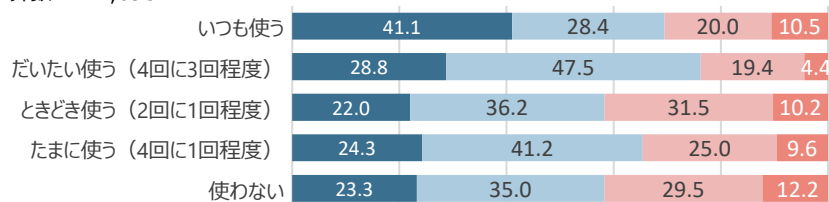
#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループが、探究的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約30ポイント高くなっている。

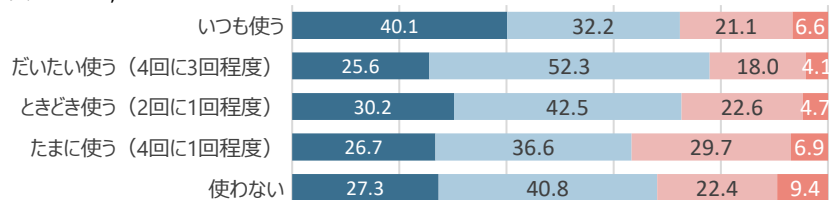
国語 n=5,193



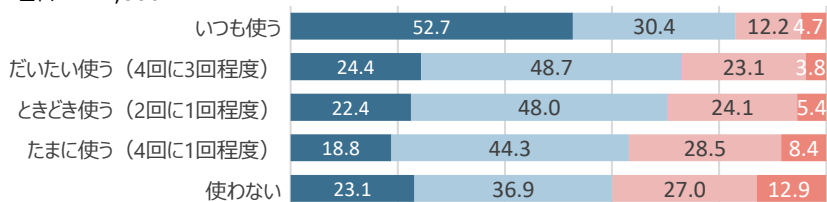
算数 n=2,693



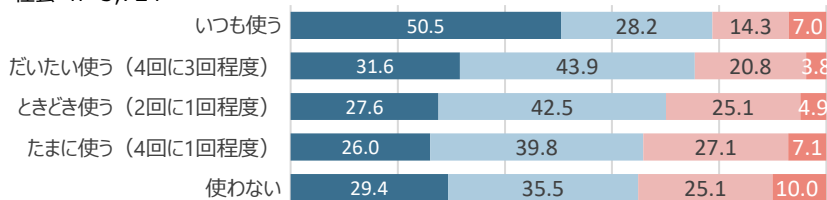
英語 n=2,038



理科 n=1,806



社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-7 児童生徒の振り返りの場面におけるデジタル教科書の使用頻度と「探究的な学び」の関連 (3/3)

主要5教科別

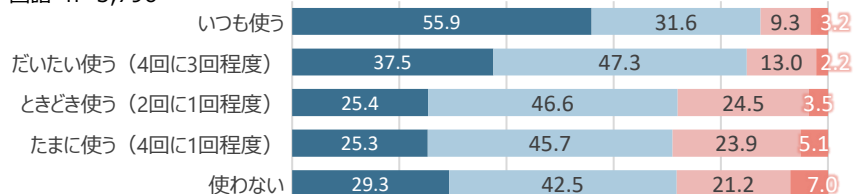
中学生

#### 中学生Q.15 振り返りの場面での使用頻度 × 中学生Q.9 探究的な学び

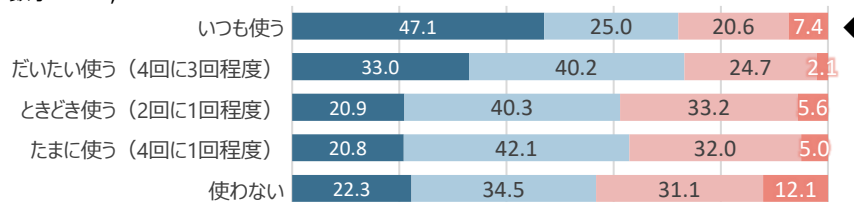
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、振り返りの場面でデジタル教科書を「いつも使う」グループが、探究的な学びで「当てはまる」と回答した割合が最も高い。

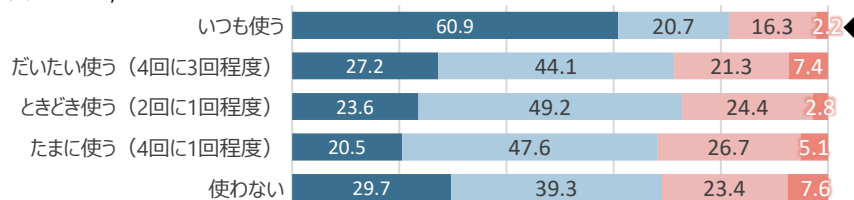
国語 n=3,796



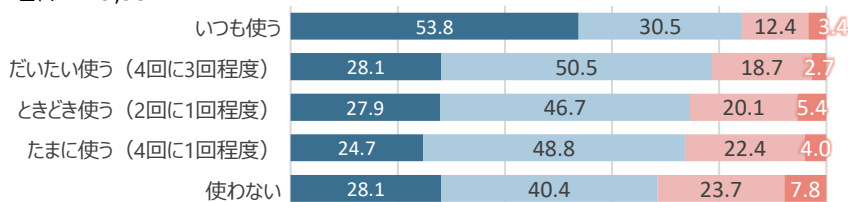
数学 n=2,277



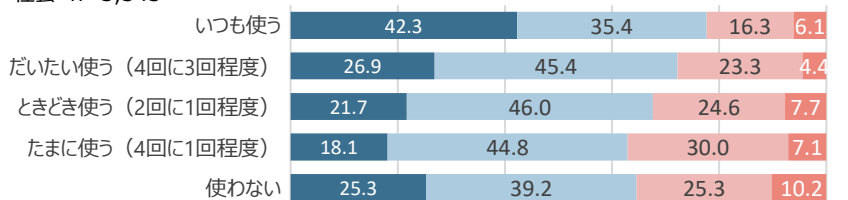
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-8 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連 (1/3)

低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.6 教科が好きか

中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.10 教科が好きか

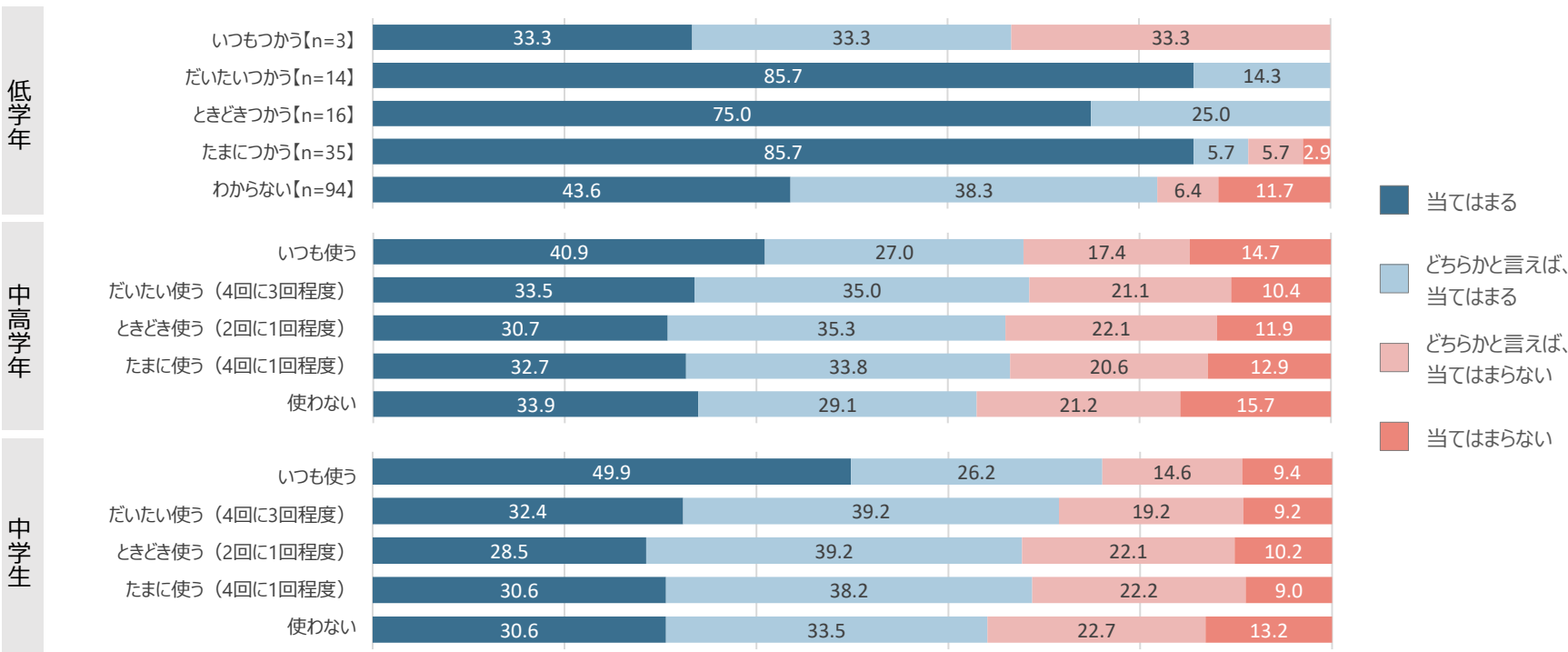
低学年：n=162 中高学年：n=15,785

中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**回答教科が好きかについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い**。（中高学年は「どちらかと言えば、当てはまる」まで含めると、グループ間で顕著な差は見られない点に留意。）
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約7ポイント、中学生では約19ポイント高くなっている。

#### デジタル教科書の使用頻度と、「教科が好きか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-8 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連 (2/3)

主要5教科別

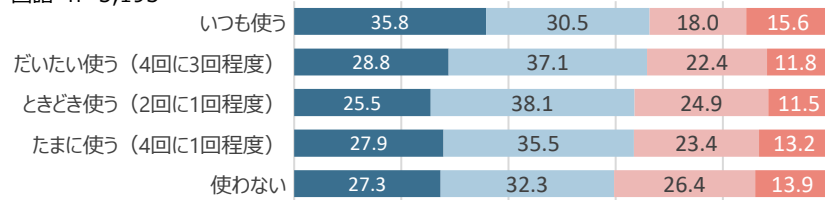
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.10 教科が好きか

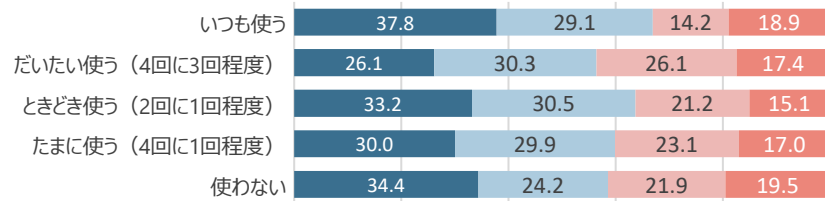
#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、回答教科が好きかについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約19ポイント高くなっている。

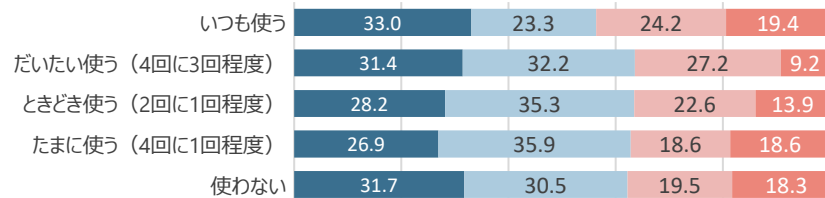
国語 n=5,193



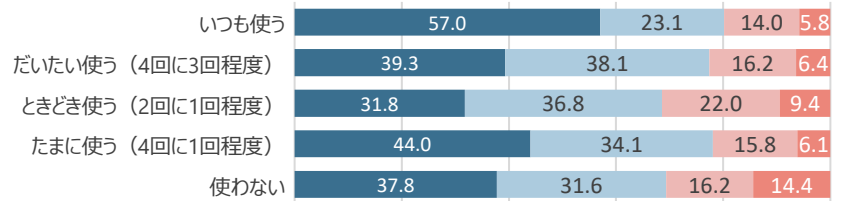
算数 n=2,693



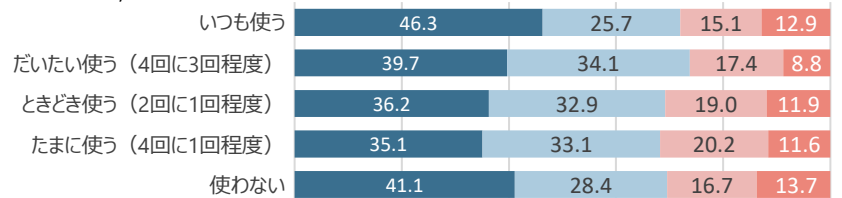
英語 n=2,038



理科 n=1,806



社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-8 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きか」の関連 (3/3)

主要5教科別

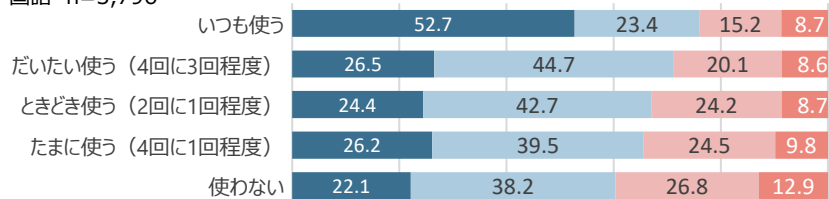
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.10 教科が好きか

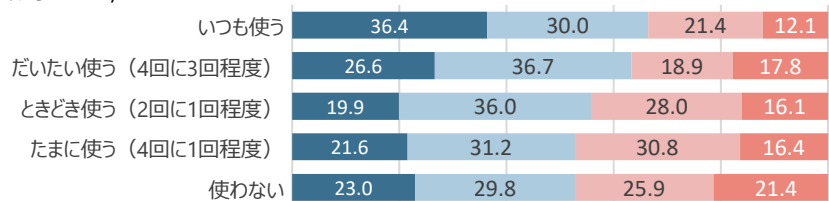
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、回答教科が好きかについて「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約31ポイント高くなっている。

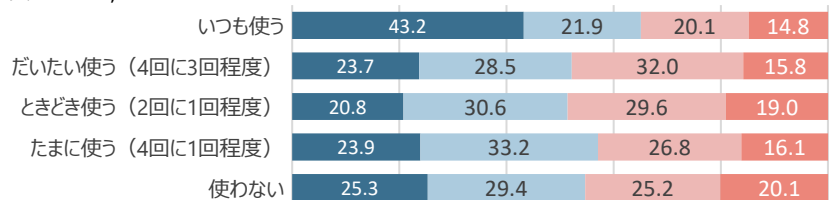
#### 国語 n=3,796



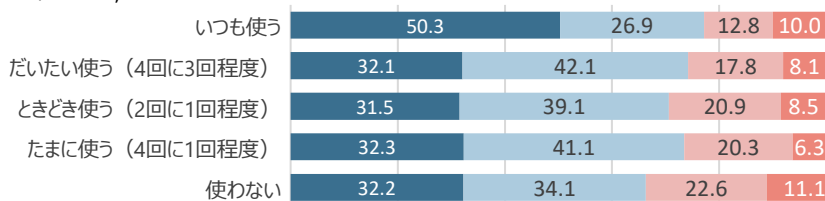
#### 数学 n=2,277



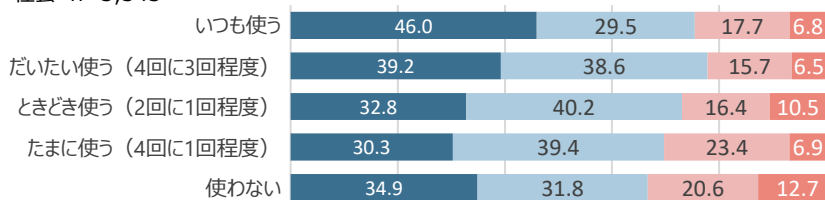
#### 英語 n=2,942



#### 理科 n=9,957



#### 社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-9 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きになった時期」の関連 (1/3)

低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.7 教科が好きになった時期

中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.11 教科が好きになった時期

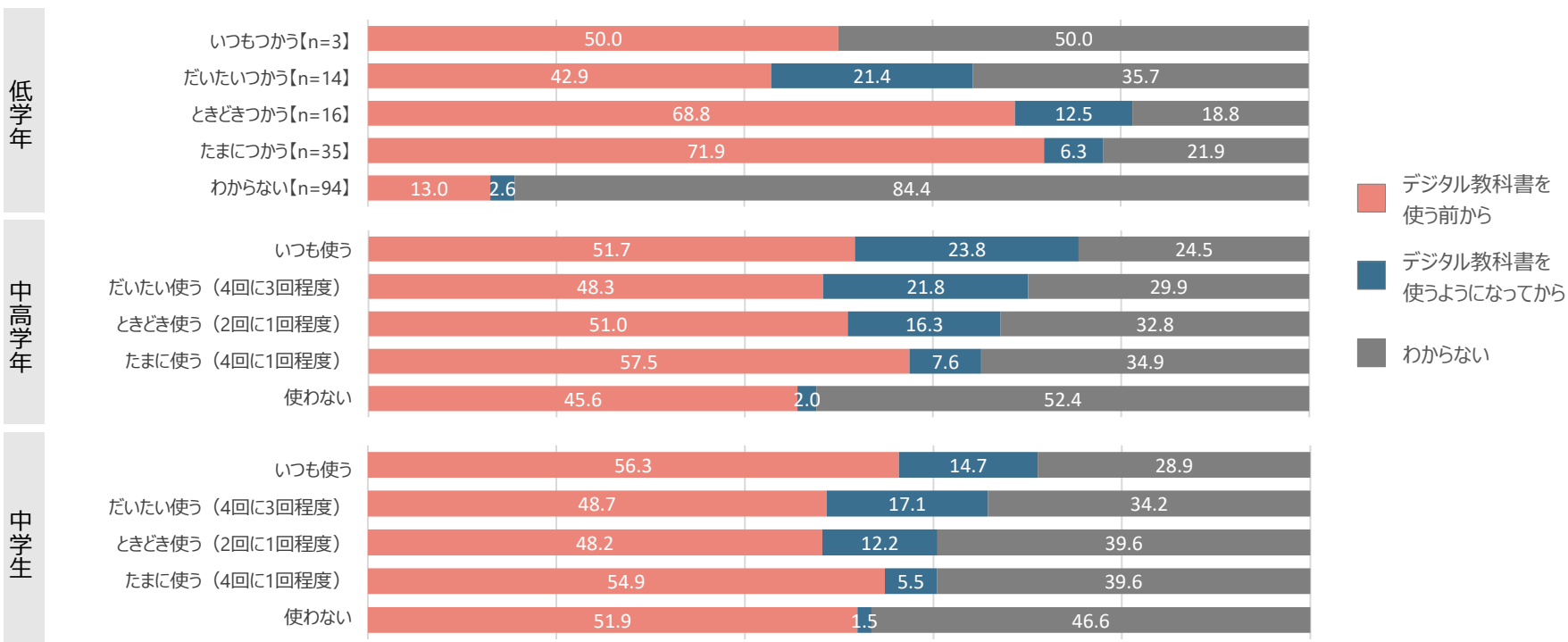
低学年：n=141 中高学年：n=10,275

中学生：n=17,550

#### 傾向/示唆

- 「ときどき使う」以上のグループで見ると、小学校中高学年では20%前後、中学生では15%前後の児童生徒が、**デジタル教科書を使うようになってからその教科が好きになった**と回答している。

#### デジタル教科書の使用頻度と、「教科が好きになった時期」の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-9 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きになった時期」の関連 (2/3)

主要5教科別

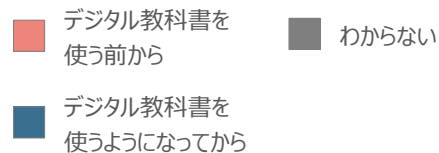
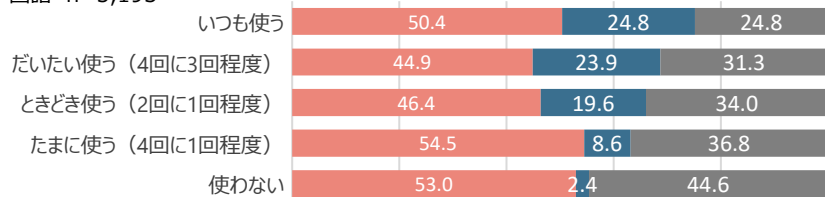
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.11 教科が好きになった時期

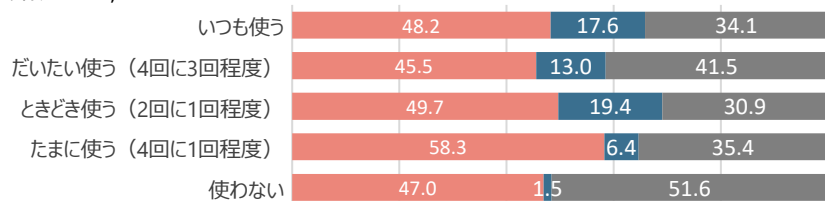
#### 傾向/示唆

- 教科別に見ても、「ときどき使う」以上のグループは、「たまに使う」以下のグループよりも、デジタル教科書を使うようになってからその教科が好きになったと回答している割合が高い傾向にある。一部の児童生徒については、デジタル教科書の活用が教科を好きになる一因になっていると推察できる。

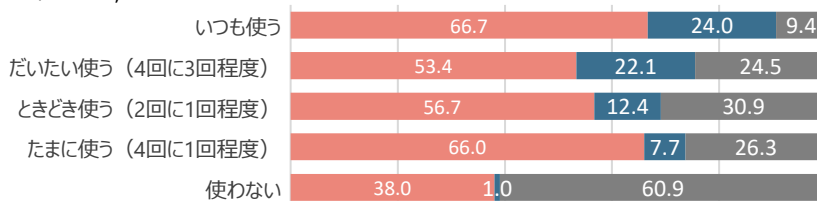
国語 n=5,193



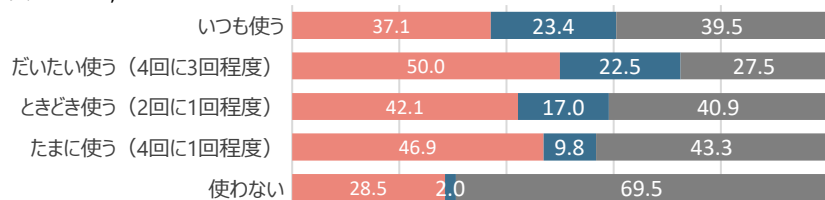
算数 n=2,693



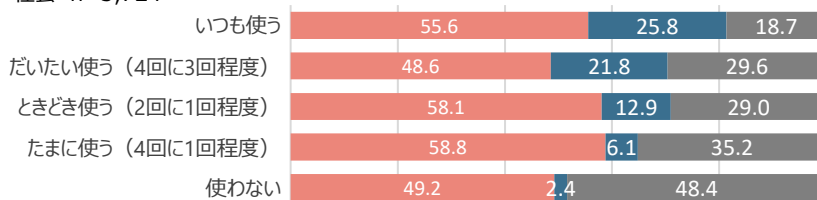
理科 n=1,806



英語 n=2,038



社会 n=3,724



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

#### 分析④-9 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「教科が好きになった時期」の関連 (3/3)

主要5教科別

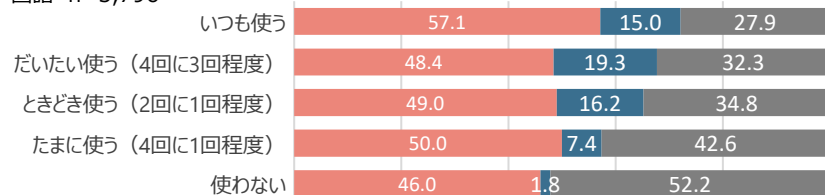
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.11 教科が好きになった時期

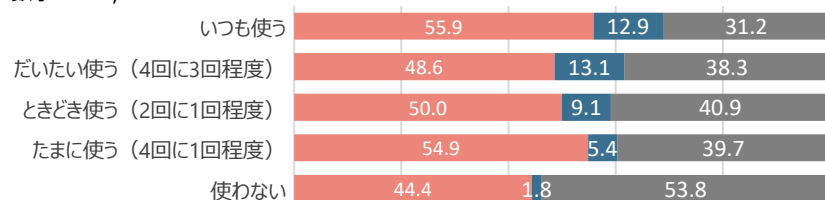
##### 傾向/示唆

- 教科別に見ても、「ときどき使う」以上のグループは、「たまに使う」以下のグループよりも、デジタル教科書を使うようになってからその教科が好きになったと回答している割合が高い傾向にある。一部の児童生徒については、デジタル教科書の活用が教科を好きになる一因になっていると推察できる。

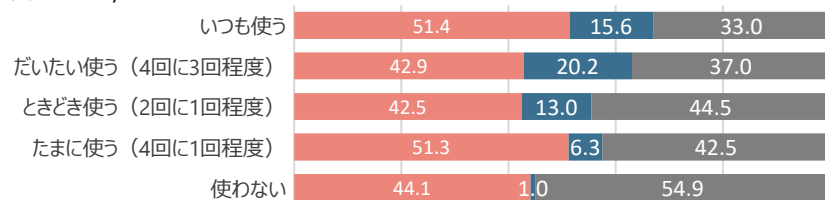
国語 n=3,796



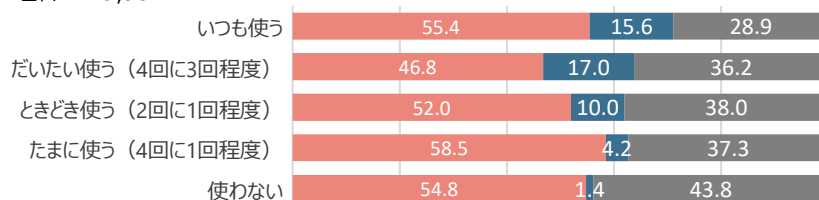
数学 n=2,277



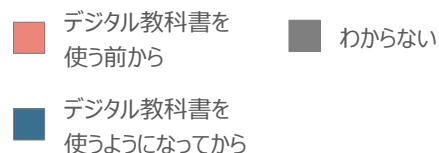
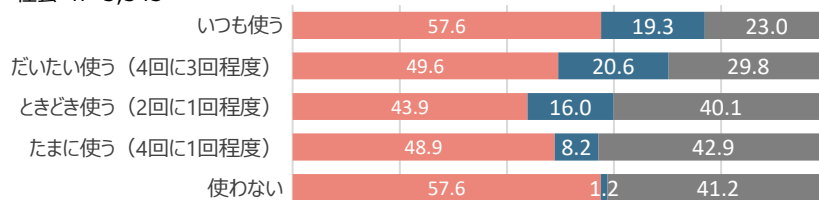
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-10 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「自己効力感」の関連（1/3）

低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 自己効力感

中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.12 自己効力感

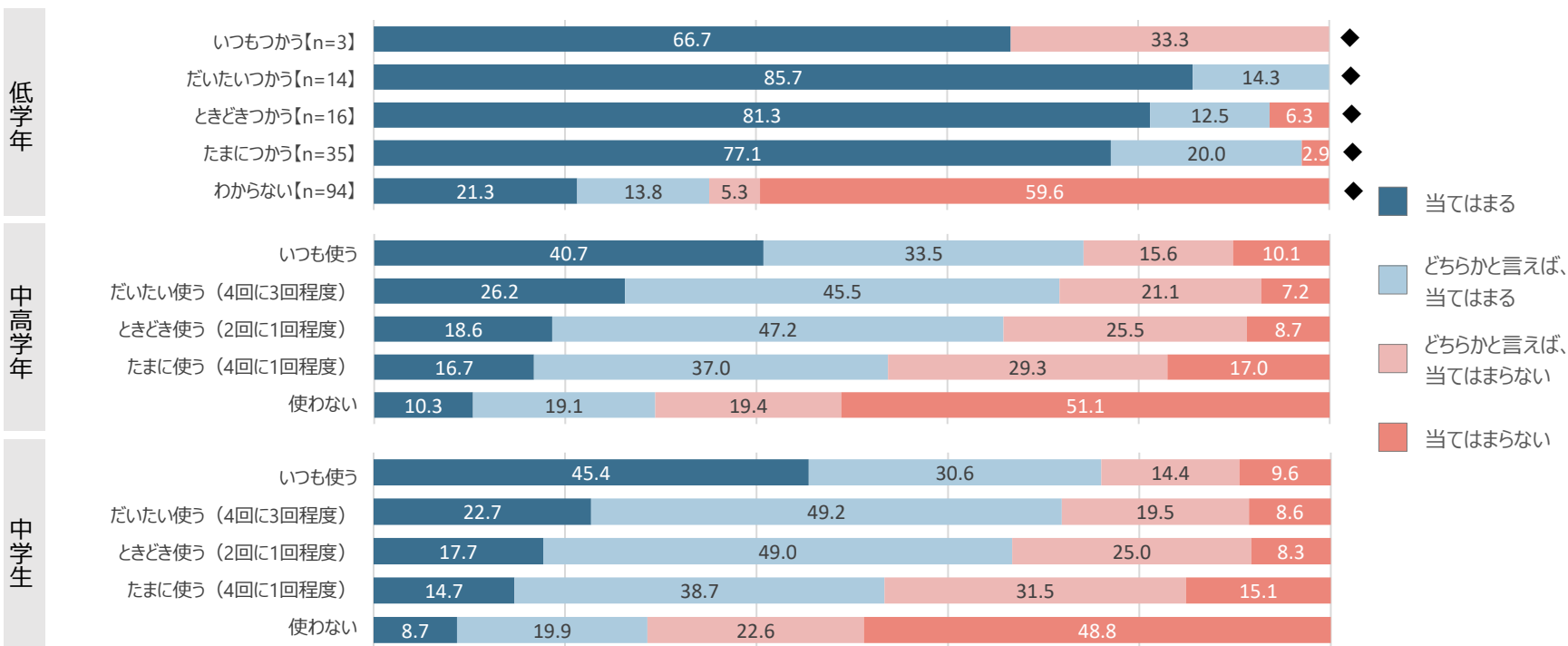
低学年：n=162 中高学年：n=15,785

中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、自己効力感について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約30ポイント、中学生では約37ポイント高くなっている。

デジタル教科書の使用頻度と、授業において「デジタル教科書を使うことで、分からないことが分かるようになって自信を持つことができたか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

主要5教科別

小学校  
中高学年児童

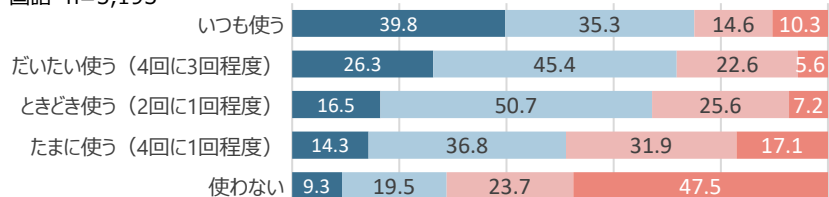
### 分析④-10 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「自己効力感」の関連 (2/3)

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.12 自己効力感

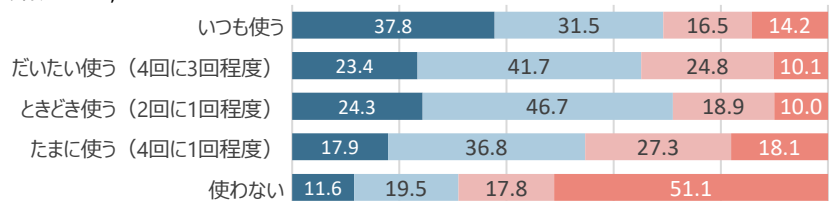
#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、自己効力感について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約37ポイント高くなっている。

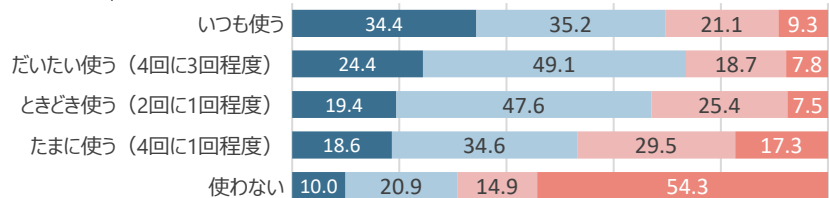
国語 n=5,193



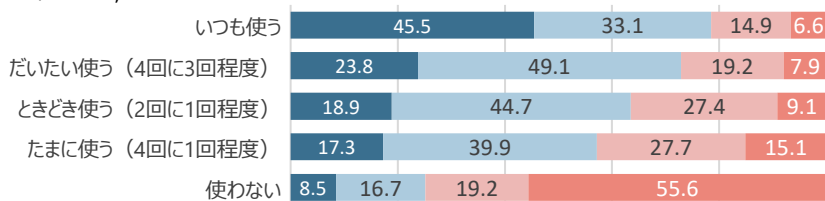
算数 n=2,693



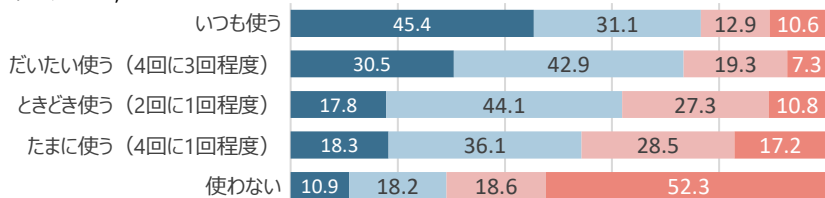
英語 n=2,038



理科 n=1,806



社会 n=3,724



■ 当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまる  
■ どちらかと言えば、当てはまらない  
■ 当てはまらない

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-10 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「自己効力感」の関連 (3/3)

主要5教科別

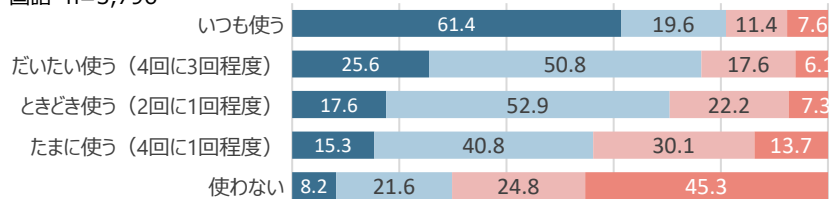
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.12 自己効力感

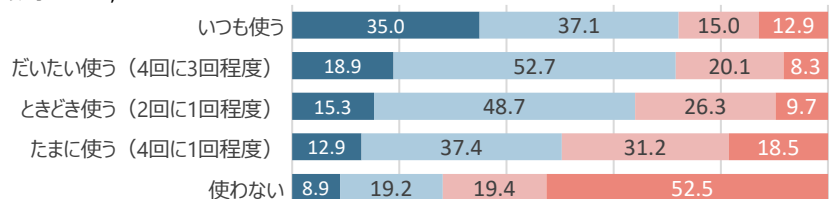
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、自己効力感について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約53ポイント高くなっている。

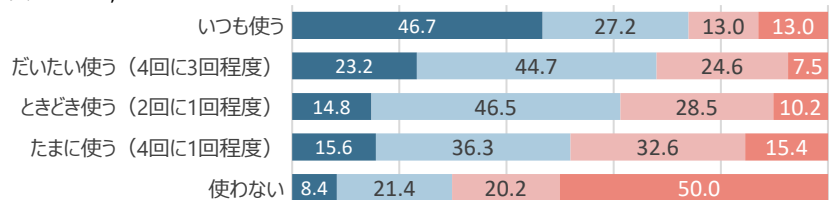
国語 n=3,796



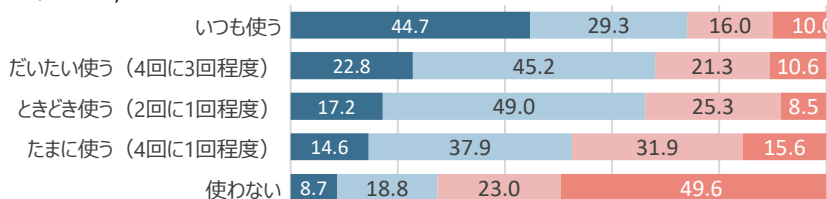
数学 n=2,277



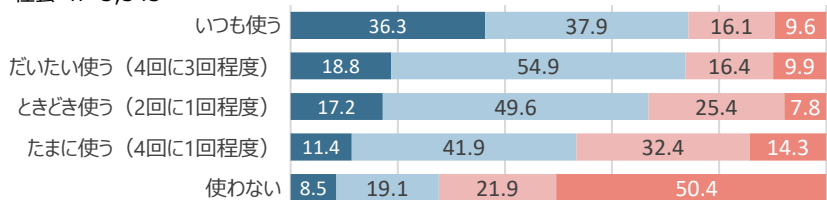
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

全教科総計

児童生徒全員

### 分析④-11 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「情報活用能力」の関連（1/3）

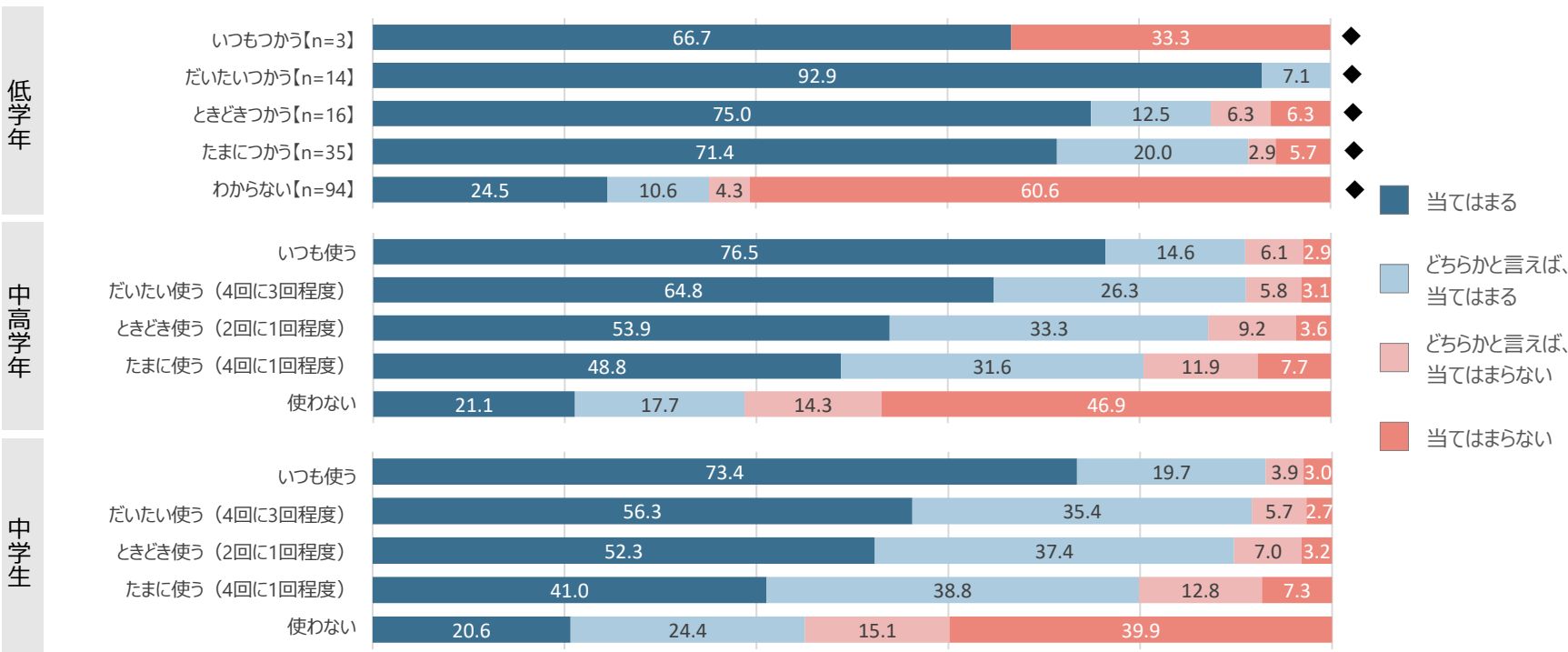
低学年Q.5 授業での使用頻度 × 低学年Q.8 情報活用能力  
中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.13 情報活用能力

低学年：n=162 中高学年：n=15,785  
中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**情報活用能力について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。**
- デジタル教科書を「いつも使う」グループは、「使わない」グループと比べて、「当てはまる」と回答した割合が中高学年では約55ポイント、中学生では約53ポイント高くなっている。
- 分析テーマ④の中でも、特に「いつも使う」グループと「使わない」グループの差が大きい。

デジタル教科書の使用頻度と、授業において「デジタル教科書を使うことで、PC・タブレットなどを授業で使うことにも慣れたか」を回答した割合の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

### 分析④-11 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「情報活用能力」の関連 (2/3)

主要5教科別

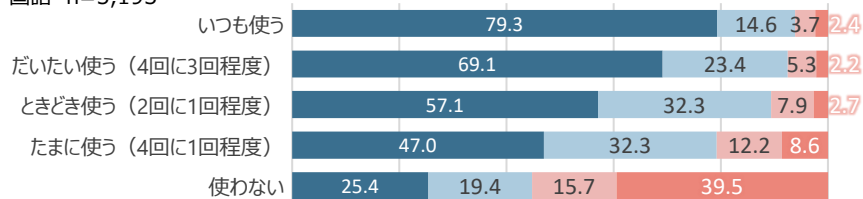
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.13 情報活用能力

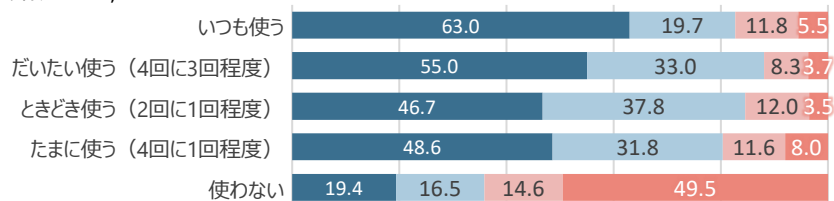
##### 傾向/示唆

- 小学校中高学年の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、情報活用能力について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に理科はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約69ポイント高くなっている。

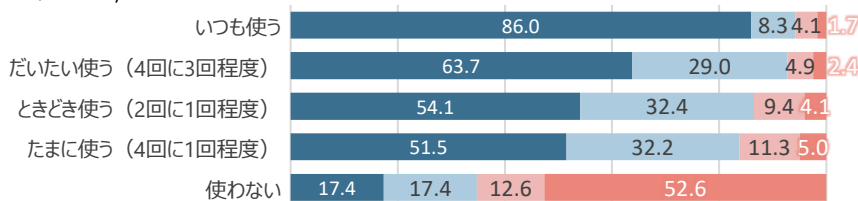
#### 国語 n=5,193



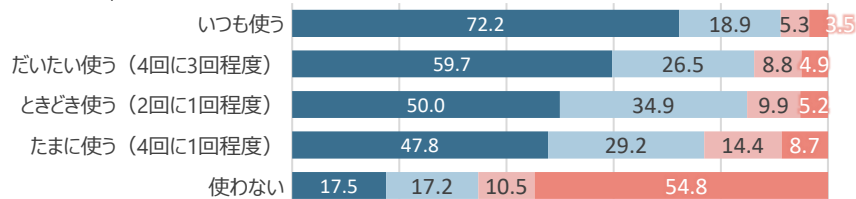
#### 算数 n=2,693



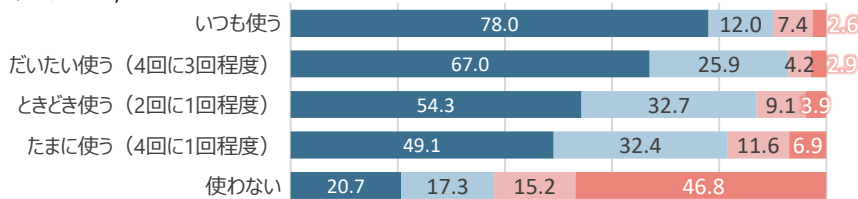
#### 理科 n=1,806



#### 英語 n=2,038



#### 社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-11 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と「情報活用能力」の関連 (3/3)

主要5教科別

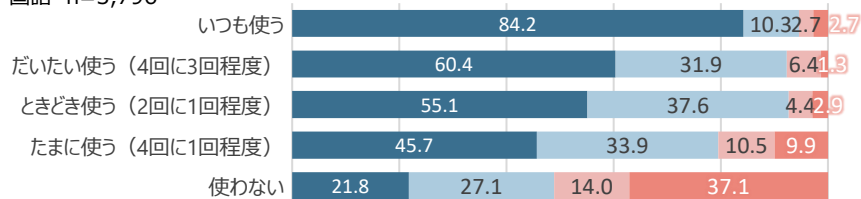
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.13 情報活用能力

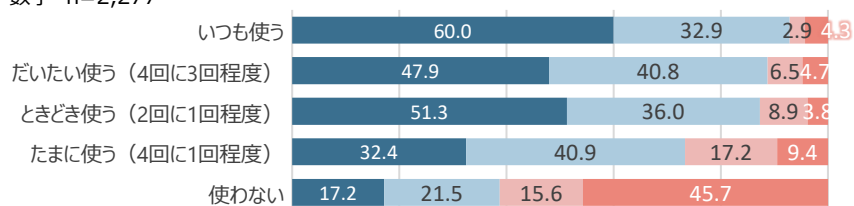
##### 傾向/示唆

- 中学生の教科別では、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、情報活用能力について「当てはまる」と回答した割合が最も高い。特に国語はその傾向が顕著であり、「使わない」グループと比べて「いつも使う」グループでは、「当てはまる」と回答した割合が約62ポイント高くなっている。

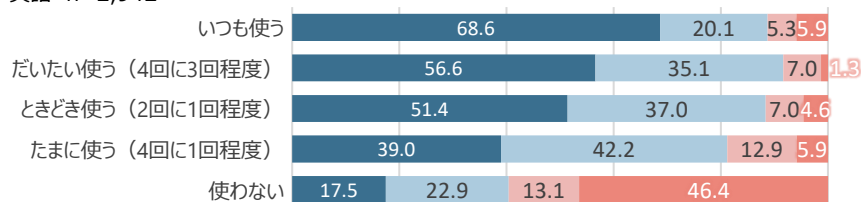
国語 n=3,796



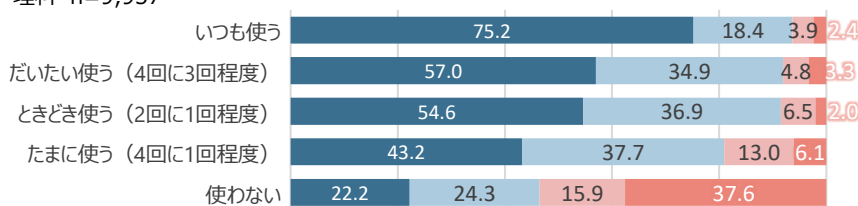
数学 n=2,277



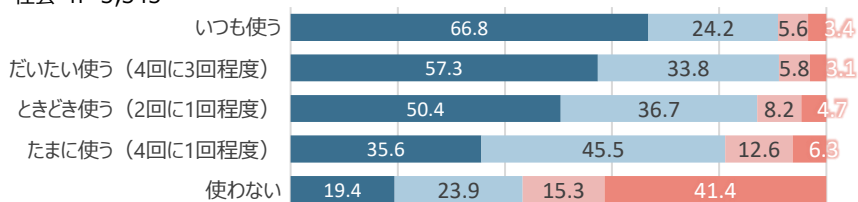
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

全教科総計

児童生徒全員

#### 分析④-12 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と授業外の学習時間の関連（1/3）

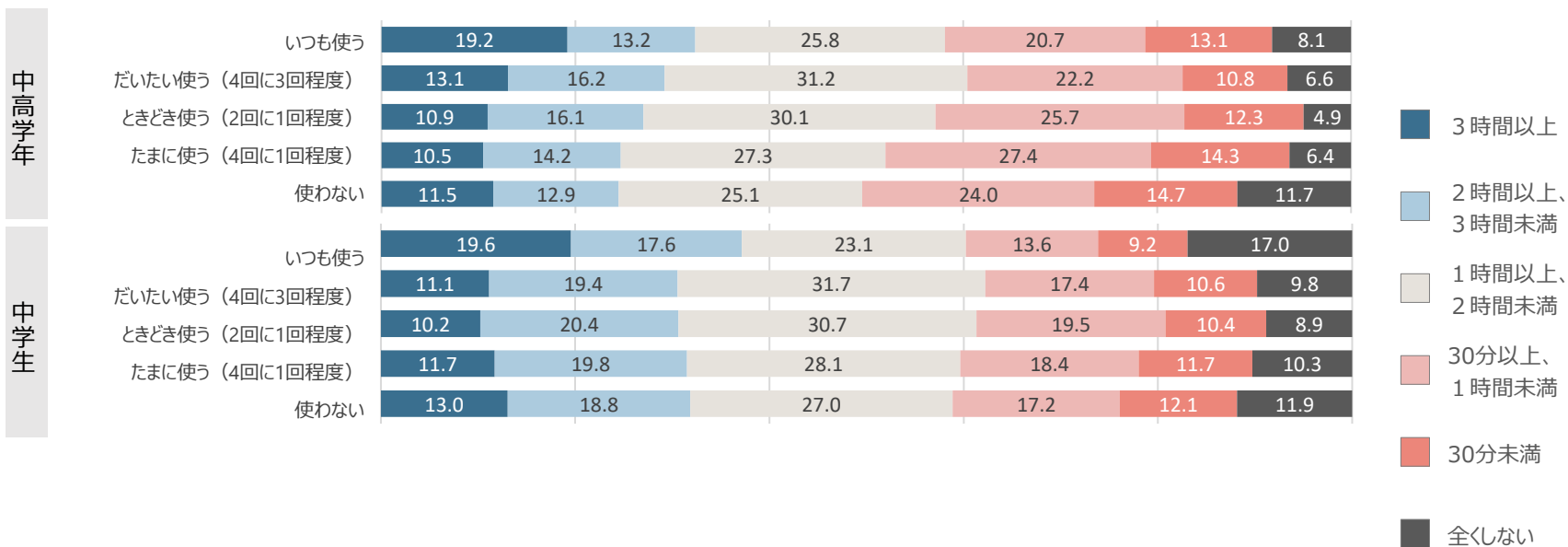
中高学年・中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年・中学生Q.16 授業外の学習時間

中高学年：n=15,785 中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

- 小学校中高学年、中学生いずれについても、デジタル教科書を「いつも使う」グループは、他のグループに比べて、**授業外の勉強時間が3時間以上と回答した割合が最も高い。**

#### デジタル教科書の使用頻度と、授業外の学習時間の関係



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
④ デジタル教科書の使用が  
児童生徒の学びにもたらす影響

### 分析④-12 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と授業外の学習時間の関連 (2/3)

主要5教科別

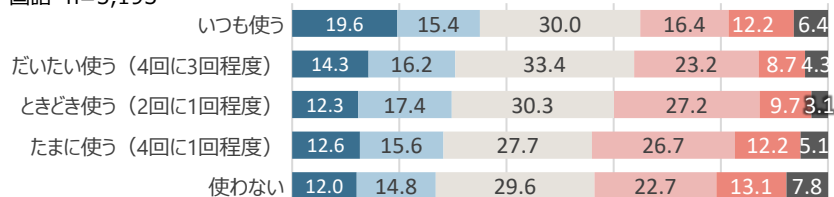
小学校  
中高学年児童

#### 中高学年Q.14 授業での使用頻度 × 中高学年Q.16 授業外の学習時間

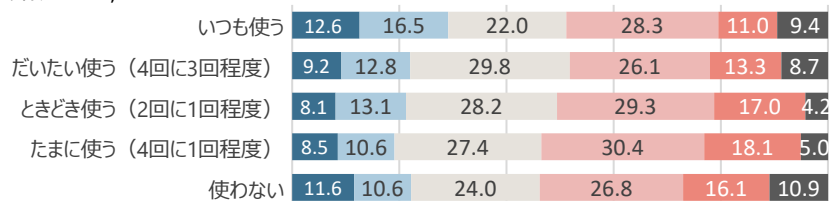
#### 傾向/示唆

- 教科別に見ても、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、授業外の勉強時間が3時間以上と回答した割合が最も高い。

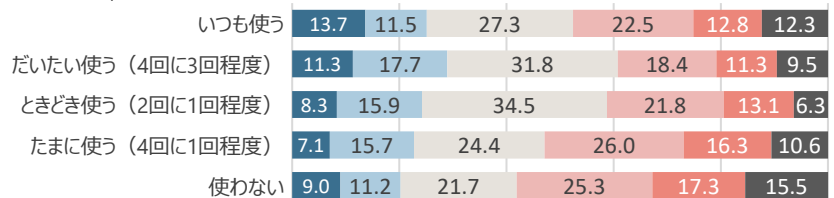
#### 国語 n=5,193



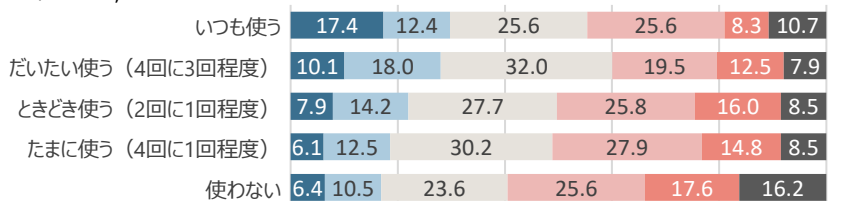
#### 算数 n=2,693



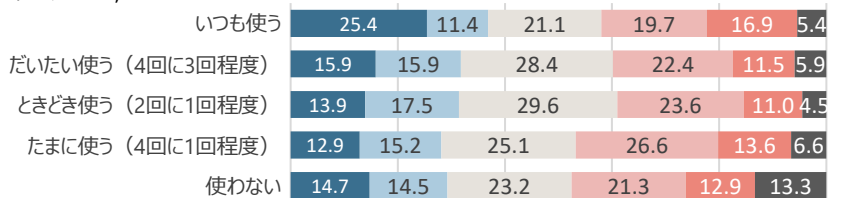
#### 英語 n=2,038



#### 理科 n=1,806



#### 社会 n=3,724



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

### 分析④-12 児童生徒のデジタル教科書の使用頻度と授業外の学習時間の関連 (3/3)

主要5教科別

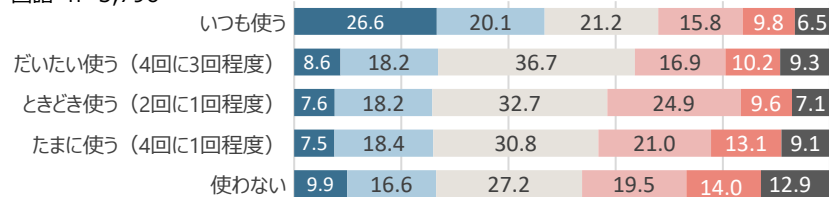
中学生

#### 中学生Q.14 授業での使用頻度 × 中学生Q.16 授業外の学習時間

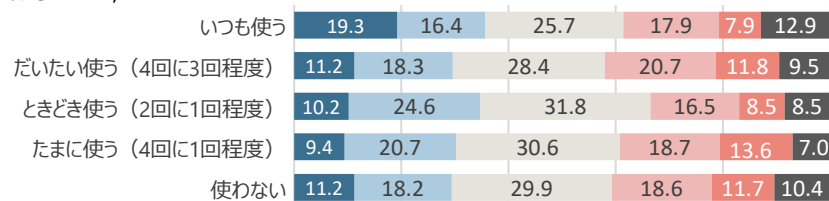
#### 傾向/示唆

- 教科別に見ても、全教科で、デジタル教科書を「いつも使う」グループが、授業外の勉強時間が3時間以上と回答した割合が最も高い。

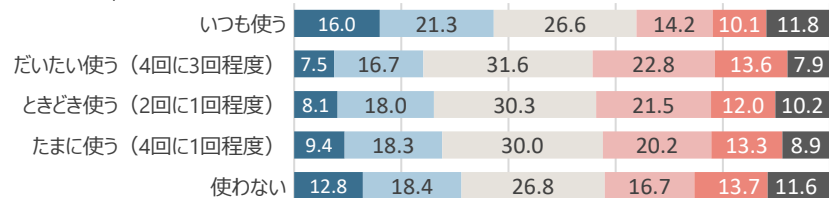
国語 n=3,796



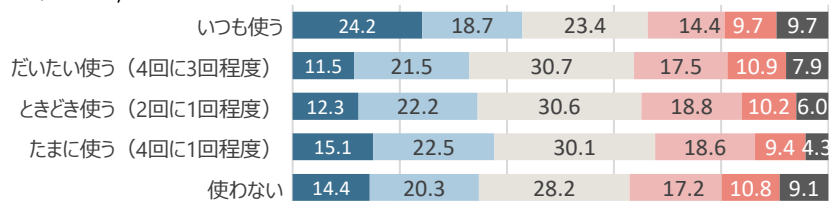
数学 n=2,277



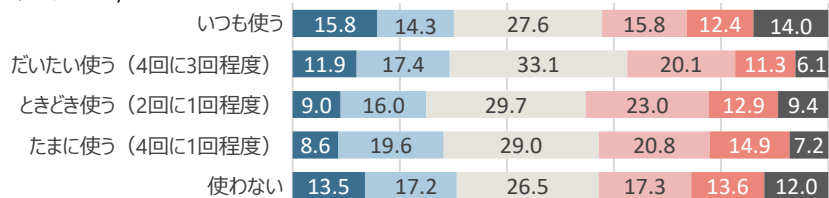
英語 n=2,942



理科 n=9,957



社会 n=3,343



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

小中学校  
教師

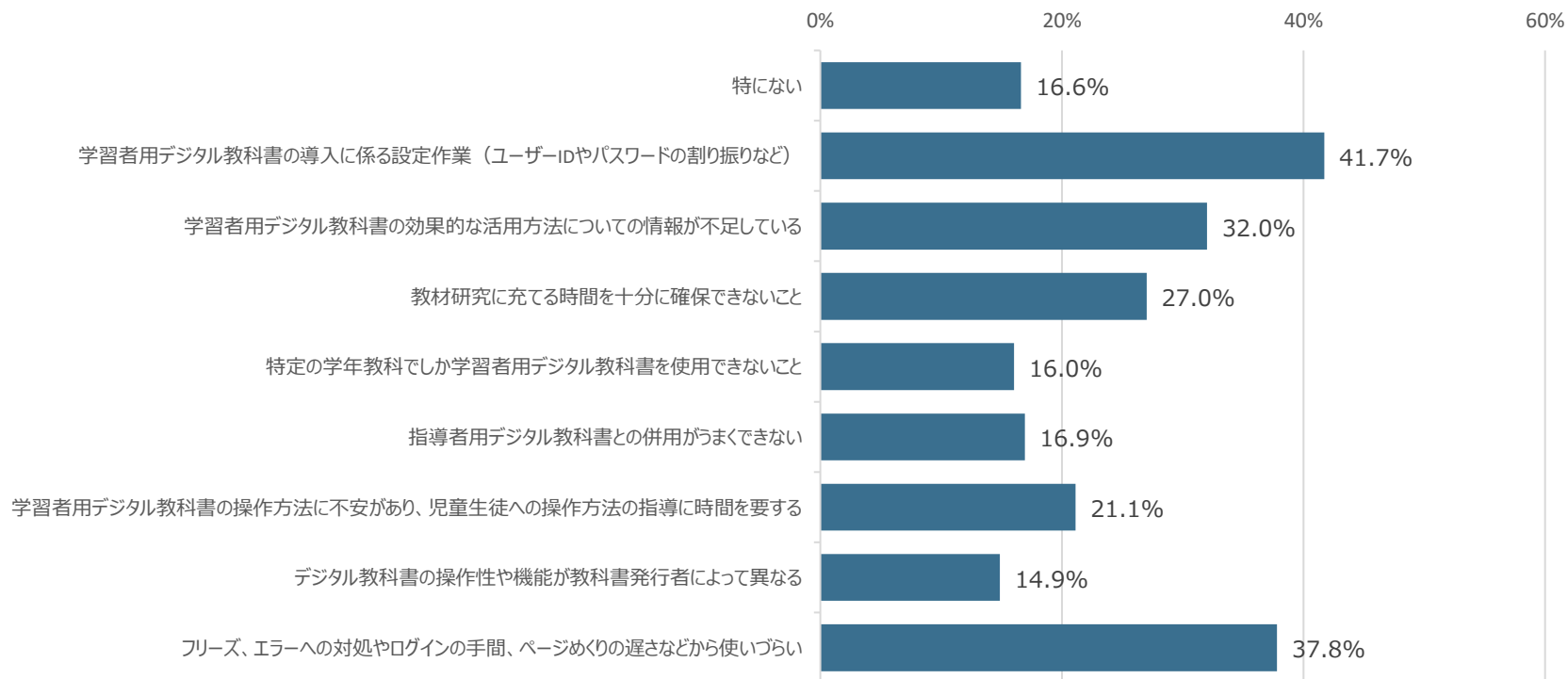
#### 分析⑤-1 デジタル教科書を使用するにあたっての教師の課題感

##### 教師Q.17 使用における課題（複数選択可）

n=9,037

#### 傾向/示唆

- 「学習者用デジタル教科書の導入に係る設定作業（ユーザーID やパスワードの割り振りなど）」、「フリーズ、エラーへの対処やログインの手間、ページめくりの遅さなどから使いづらい」といった、デジタル教科書のシステム面での課題を感じている教師が多く、約4割の教師が課題感を持っている。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

小中学校  
教師

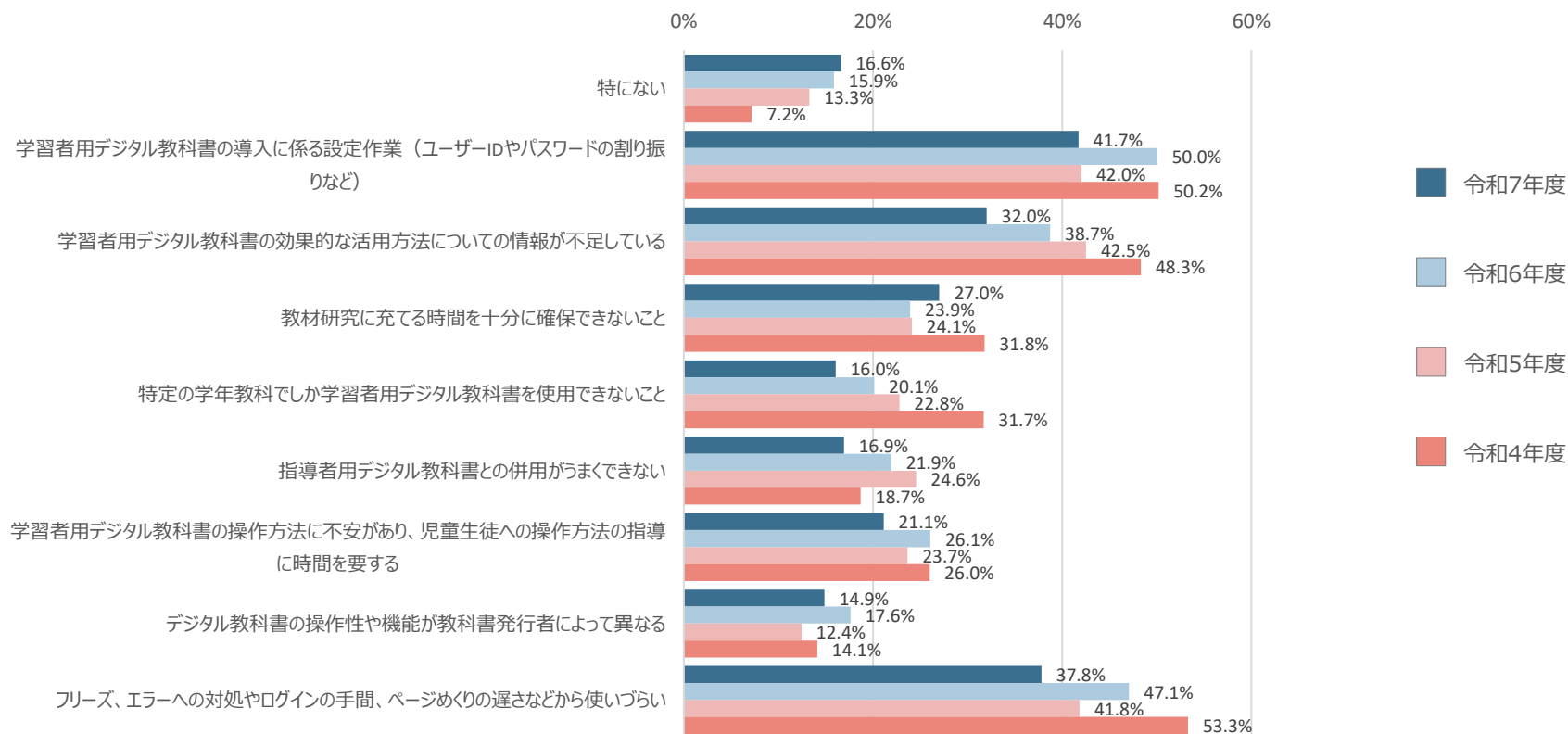
#### 分析⑤-2 デジタル教科書を使用するにあたっての教師の課題感の経年変化

##### 教師Q.17 使用における課題（複数選択可）

n=9,037

#### 傾向/示唆

- 過年度調査と比較して、デジタル教科書の課題が「特にない」と回答した教師の割合は、年々増加している。令和4年度よりもデジタル教科書の定着が進み、全体的に教師の使用歴が伸びてデジタル教科書の習熟度が高まったことが、課題感の減少に寄与していると推察される。
- 特に、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」と回答した教師の割合は減少し続けている。



# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

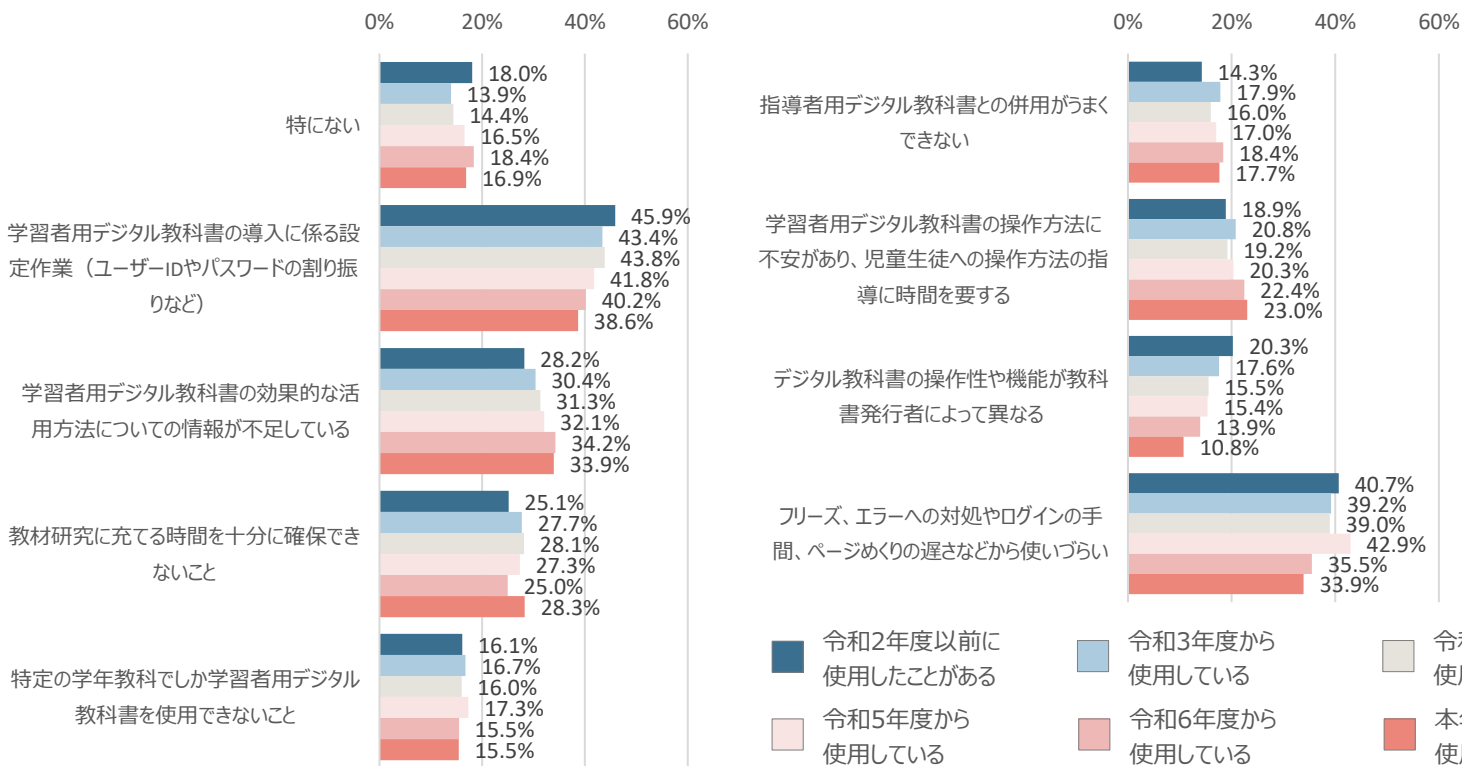
小中学校  
教師

### 分析⑤-3 デジタル教科書の授業内での使用歴と、デジタル教科書の課題感の関連

教師Q.3 使用感 × 教師Q.17 使用における課題（複数選択可） n=9,037

#### 傾向/示唆

- 「本年度に初めて使用する」教師に比べ、「令和2年度以前に使用したことがある」教師は、「学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法についての情報が不足している」ことを課題に感じている割合が約6ポイント低い。**デジタル教科書の習熟度に応じて、効果的な活用方法を習得できていることが一因として考えられる。**
- デジタル教科書の導入に係る設定作業を課題と感じている割合は、いずれの使用歴でも4割前後を占めており、習熟度に依らない共通的な課題になっていると推察される。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

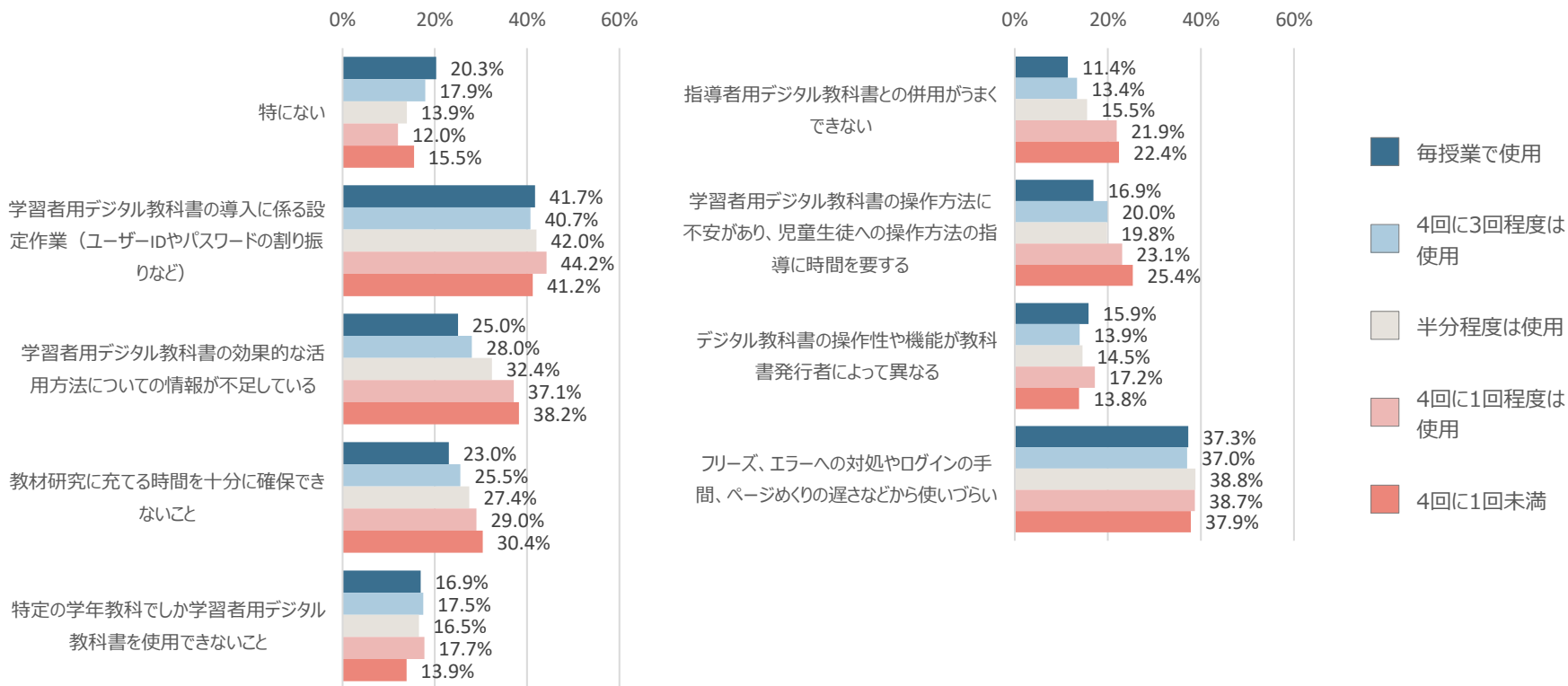
小中学校  
教師

#### 分析⑤-4 デジタル教科書の授業内での使用頻度と、デジタル教科書の課題感の関連

教師Q.4 使用頻度 × 教師Q.17 使用における課題（複数選択可） n=9,037

#### 傾向/示唆

- デジタル教科書の使用頻度が高い方が、デジタル教科書の課題感を感じている割合が少ない傾向にある。（4回に1回未満の場合は、そもそもデジタル教科書をほとんど使っていないグループも含まれており、課題も感じない傾向にある。）



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての  
課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

小中学校  
教師

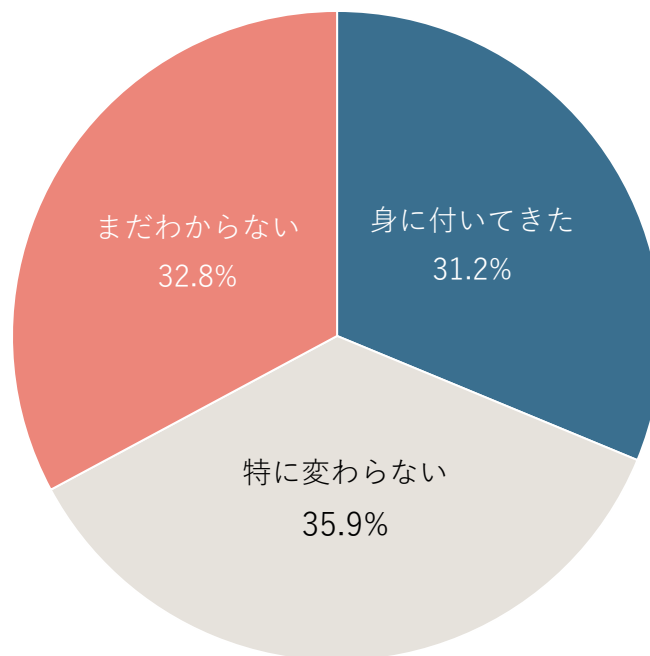
#### 分析⑤-5 デジタル教科書の活用と情報モラルとの関係

教師Q.16 情報モラルとの関係 (※1)

n=9,037

#### 傾向/示唆

- 一定割合の教師は、デジタル教科書の活用と情報モラル（ID・PW等の自身に関する情報を適切に管理できる、調べもの学習の際にインターネット上のWebページの安全性・信頼性を考慮できる、インターネット上のコンテンツの権利関係を意識しながら利用できるなど）の習得に関連性を見出していることが分かる。



(※1) 児童生徒が学習者用デジタル教科書を活用することで、情報モラルを守る態度が身に付いてきたと感じているか回答。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての  
課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

小中学校  
教師

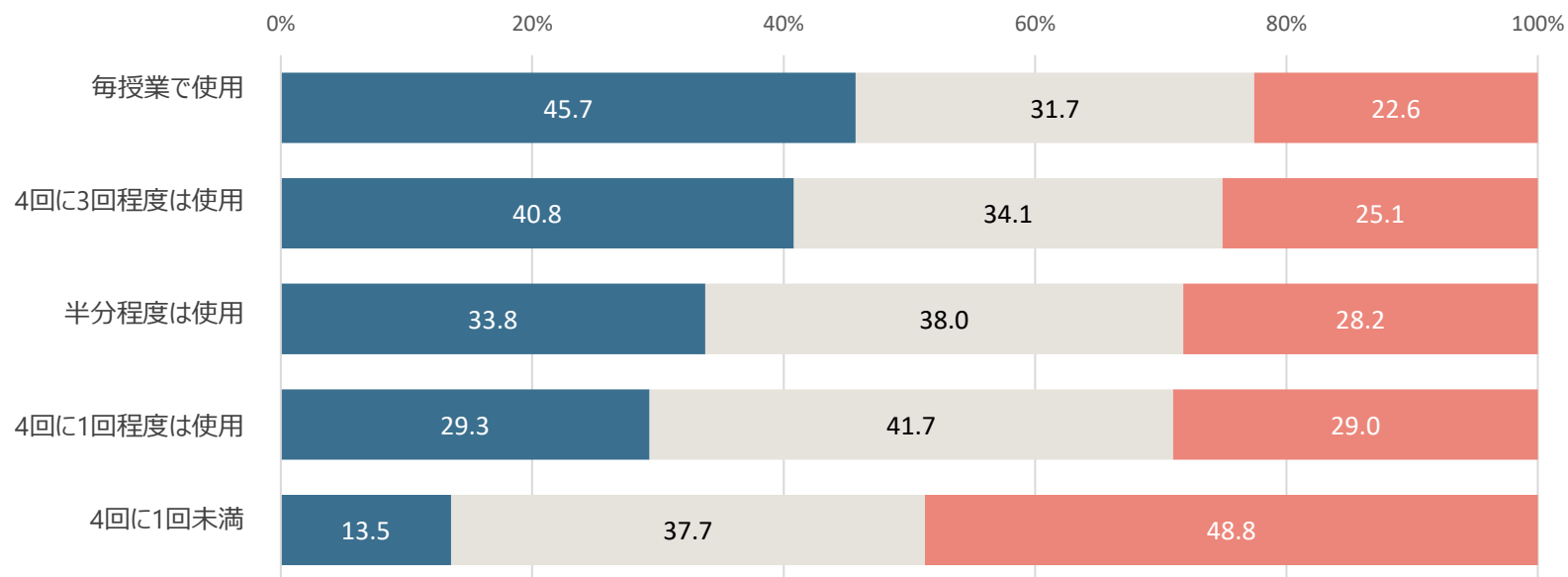
#### 分析⑤-6 デジタル教科書の授業内での使用頻度と情報モラルの関連

教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.16 情報モラルとの関係

n=9,037

#### 傾向/示唆

- デジタル教科書を「毎授業で使用」している教師は、児童生徒に情報モラルが身についてきたと回答した割合が大きい傾向にある。



■ 身についてきた ■ 特に変わらない ■ まだわからない

# 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

## 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑤ デジタル教科書を使用するにあたっての  
課題感や情報モラル・健康面への影響

全教科総計

中高学年児童・  
中学校生徒

### 分析⑤-7 児童生徒の健康面への影響の経年変化

#### 中高学年・中学生Q.5 健康面への影響

中高学年：n=15,785 中学生：n=26,439

#### 傾向/示唆

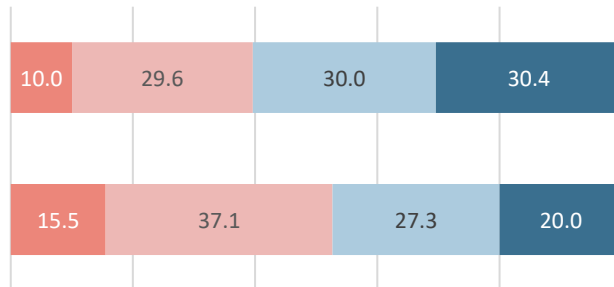
- 小学校中高学年と中学生ともに、令和6年度と比較して、「授業中の姿勢」と「目と教科書の距離」に注意できていた児童生徒の割合が増えている。

授業中に姿勢が悪かった

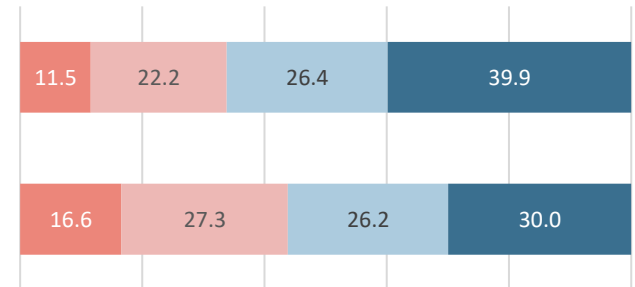
授業中に、目と教科書の距離を30cm以上離せなかった

中高学年

令和7年度  
n=15,785



令和7年度  
n=15,785

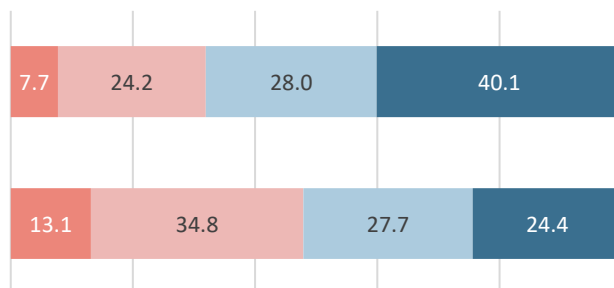


令和6年度  
n=12,556

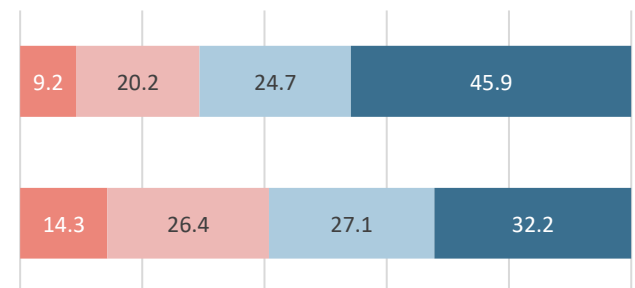
令和6年度  
n=12,556

中学生

令和7年度  
n=26,439



令和7年度  
n=26,439



令和6年度  
n=17,899

令和6年度  
n=17,899

■ 当てはまる   
 ■ どちらかと言えば、当てはまる   
 ■ どちらかと言えば、当てはまらない   
 ■ 当てはまらない

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

全教科総計

小中学校  
教師

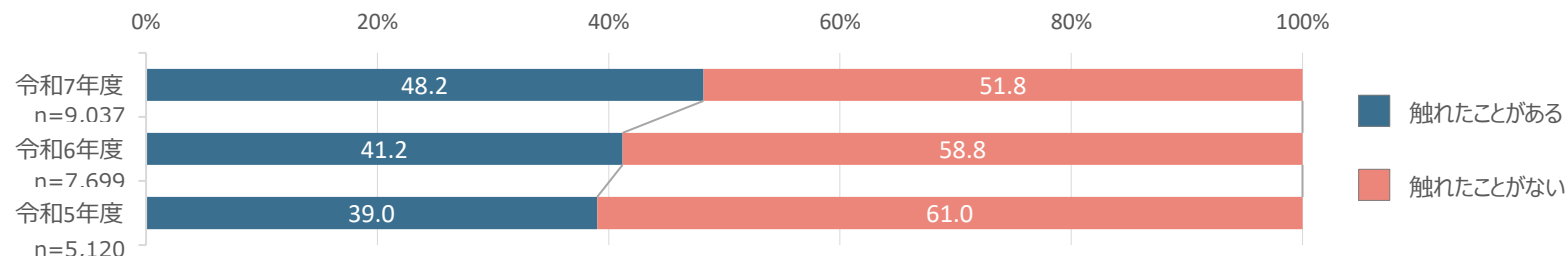
#### 分析⑥-1 デジタル教科書に関する情報に触れた経験の経年変化

教師Q.18 活用方法に関する情報に触れる機会、教師Q.19 活用方法に関する情報にどのように触れたか（複数選択可）

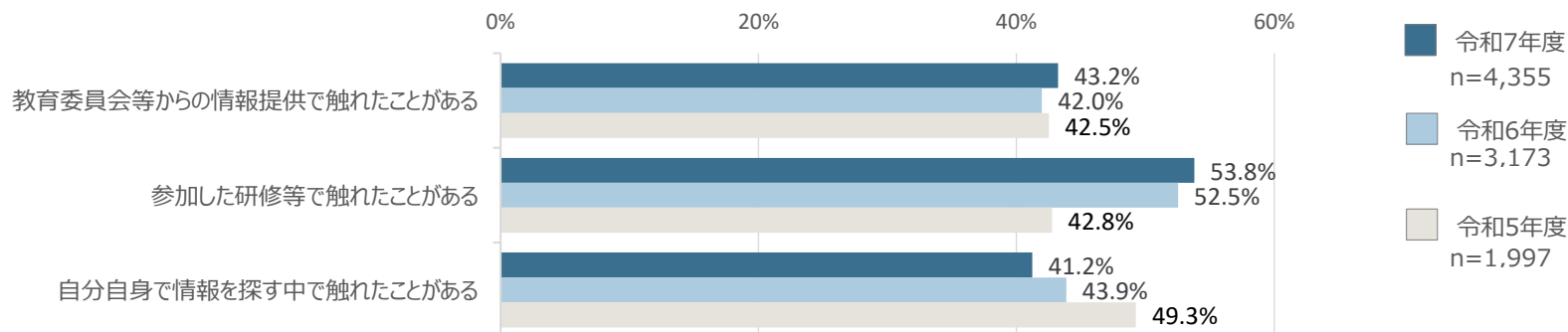
#### 傾向/示唆

- 令和5年度から令和7年度にかけ、デジタル教科書に関する情報に「触れたことがある」人の割合が増加している。
- 情報に触れた経緯は「参加した研修等で触れたことがある」と回答した人が増加傾向にある。

#### デジタル教科書の活用方法に関する情報に触れる機会



#### デジタル教科書の活用方法に関する情報にどのように触れたか



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

全教科総計

小中学校  
教師

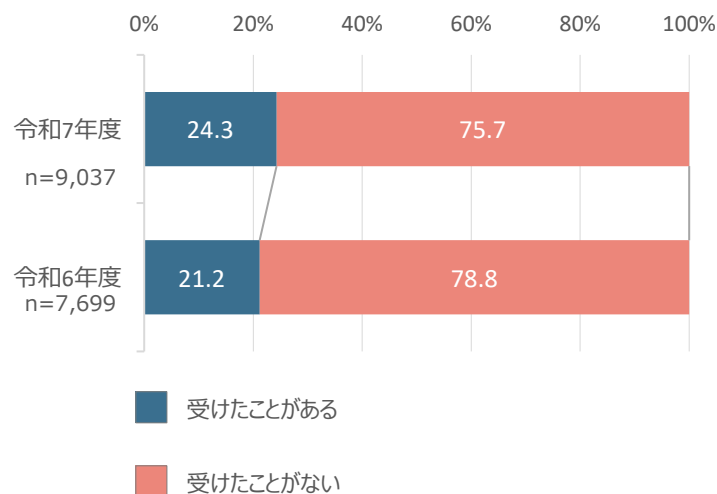
#### 分析⑥-2 デジタル教科書に関する研修を受けた経験の経年変化

##### 教師Q.20 研修を受けた経験、教師Q.21 受けた研修の内容（複数選択可）

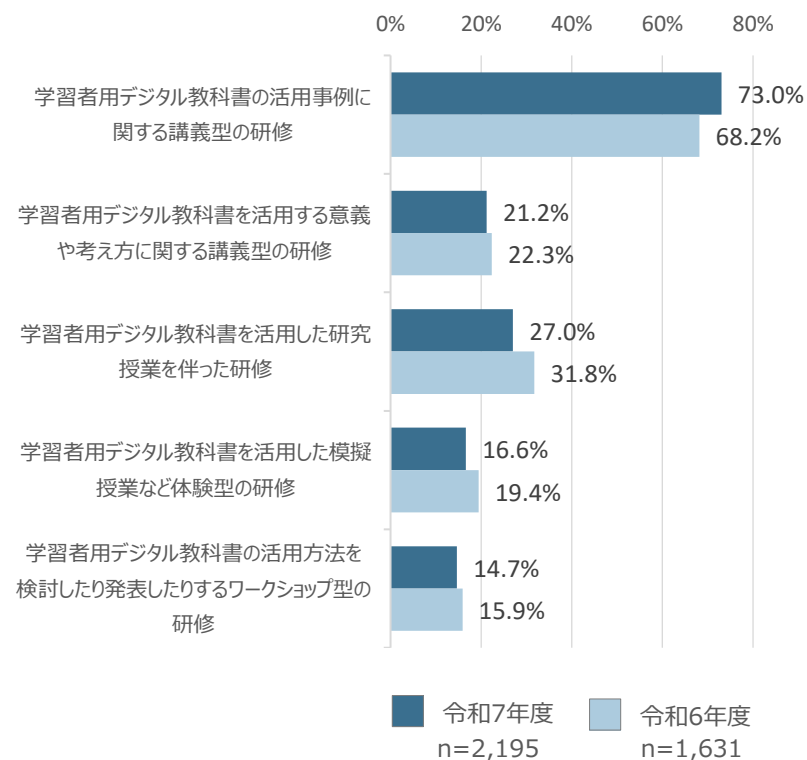
#### 傾向/示唆

- 令和6年度から令和7年度にかけ、デジタル教科書に関する研修を「受けたことがある」人の割合が増えた。
- デジタル教科書に関する研修を「受けたことがある」人のうち、「学習者用デジタル教科書の活用事例に関する講義型の研修」を受けた人の割合が増えた。

#### 学習者用デジタル教科書に関する研修を受けたことがあるか



#### どのような研修を受けたことがあるか



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

全教科総計

小中学校  
教師

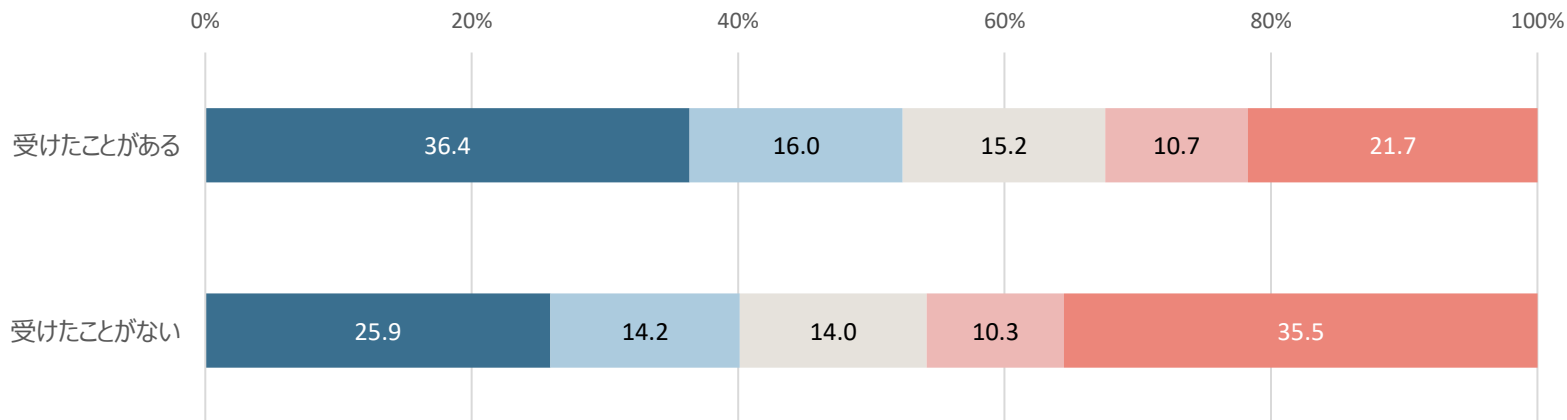
#### 分析⑥-3 デジタル教科書の使用頻度と、デジタル教科書に関する研修を受けた経験の関連

教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.20 研修を受けた経験

n=9,037

#### 傾向/示唆

- デジタル教科書に関する研修を受けた経験があると回答した教師は、研修を受けたことがないと回答した教師に比べ、授業中の使用頻度が高い。



■ 毎授業で使用 ■ 4回に3回程度は使用 ■ 半分程度は使用 ■ 4回に1回程度は使用 ■ 4回に1回未満

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

全教科総計

小中学校  
教師

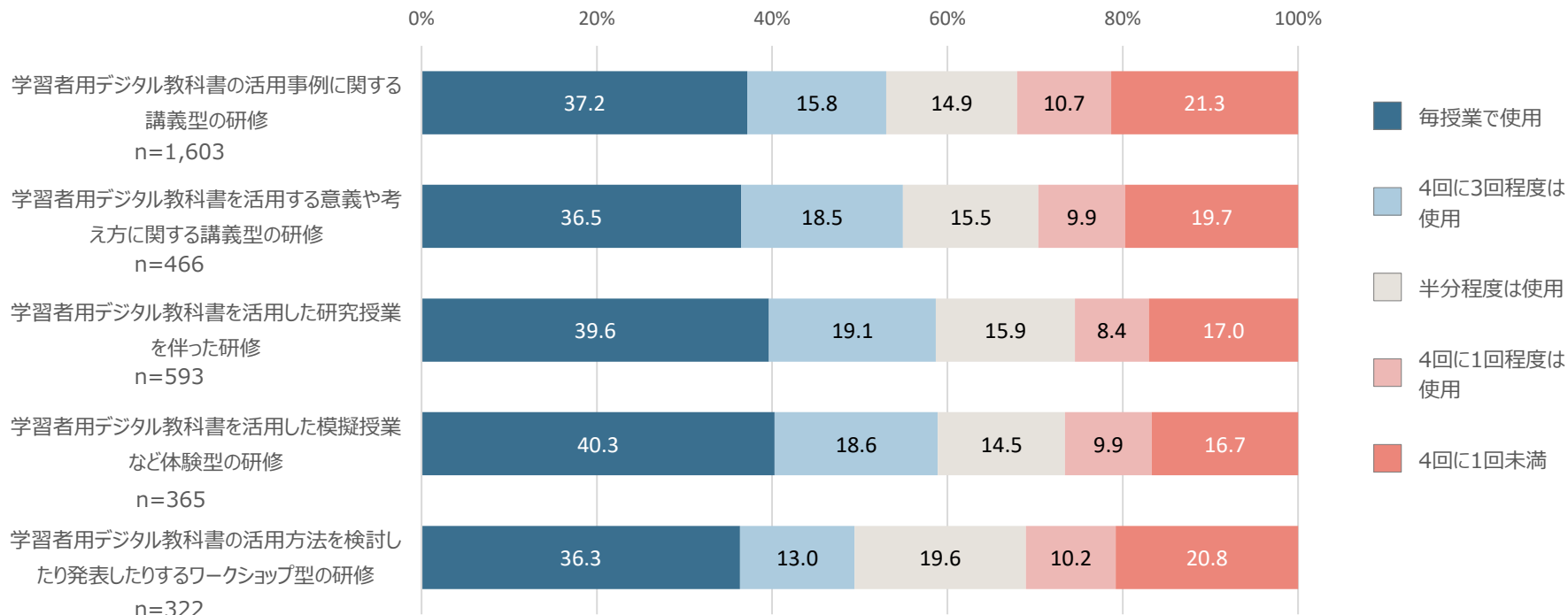
#### 分析⑥-4 デジタル教科書の使用頻度と、受けたことのある研修の内容の関連

##### 教師Q.5 使用頻度 × 教師Q.21 受けた研修の内容（複数選択可）

n=2,195

#### 傾向/示唆

- 「学習者用デジタル教科書を活用した模擬授業など体験型の研修」を受けたことがある教師の約40%が、デジタル教科書を毎授業で使用しており、講義型の研修やワークショップ型の研修を受けたことのある教師よりも、デジタル教科書の活用頻度がやや高い。



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ  
⑥ デジタル教科書に関する情報に触れた経験

#### 分析⑥-5 デジタル教科書に関する研修を受けた経験と、デジタル教科書の導入で可能になった授業展開の関連

全教科総計

小中学校  
教師

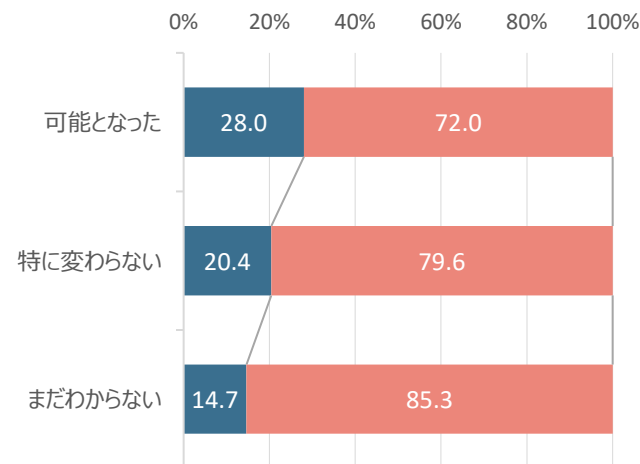
##### 教師Q.20 研修を受けた経験

##### ×教師Q.11 デジタル教科書で新たな授業展開が可能になったか、教師Q.13 デジタル教科書で可能になった授業展開（複数選択可）

##### 傾向/示唆

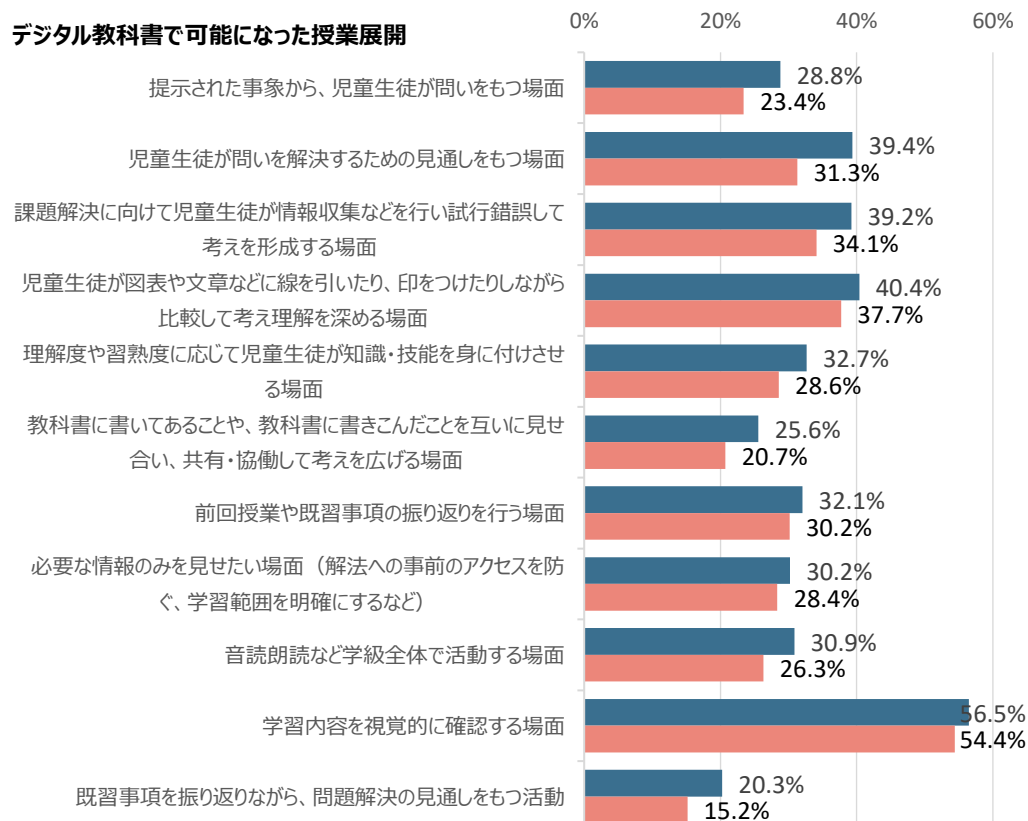
- デジタル教科書に関する研修を受けた人のほうが、デジタル教科書の導入によって新たな授業展開が「可能になった」と感じる人の割合が多い。
- いずれの授業場面でも、デジタル教科書に関する研修を受けた人のほうが、デジタル教科書の導入によって可能になったと回答した割合が高い。特に、「児童生徒が問いを解決するための見通しをもつ場面」は、研修を受けたことがない人よりも約8ポイント高い。
- また、「デジタル教科書で可能になった授業展開」として、研修を受けた人は平均で約2.9場面、受けたことがない人は約2.1場面回答しており、研修を受けた人はより授業展開のバリエーションが広がっていることが推察される。

##### デジタル教科書で新たな授業展開が可能になったか



■ 受けたことがある  
■ 受けたことがない

##### デジタル教科書で可能になった授業展開



## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.2. テーマ別分析結果

分析テーマ

⑦ 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導におけるデジタル教科書の活用

全教科総計

小中学校  
教師

#### 分析⑦-1 特別な配慮が必要な児童生徒の教科指導において、デジタル教科書を活用している観点

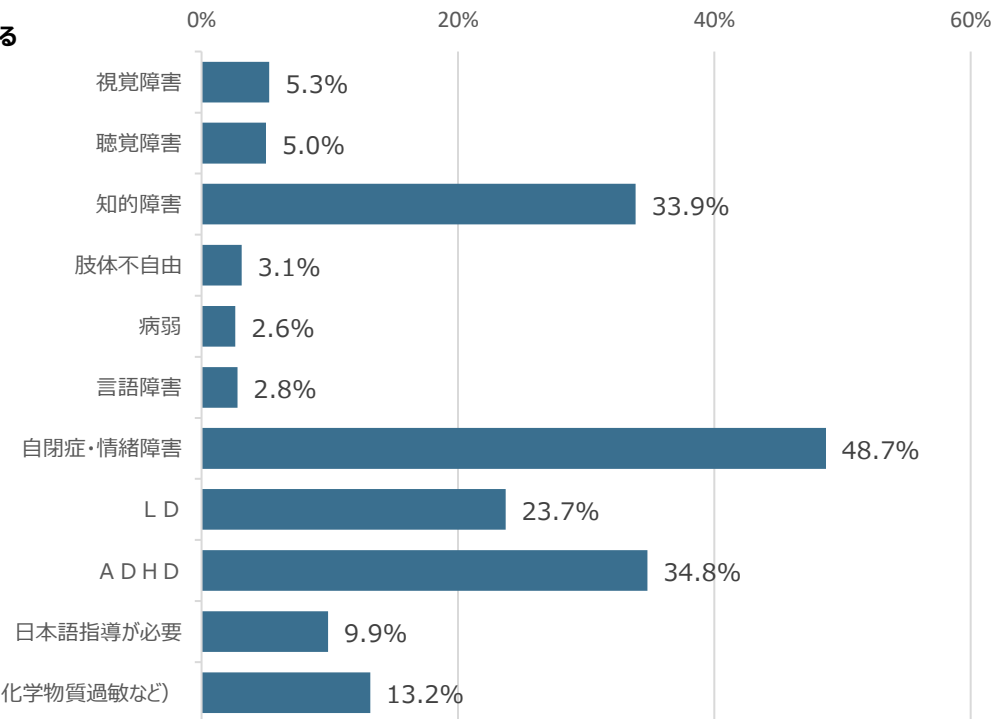
##### 教師Q.9 必要な配慮の内容

n=9,037

##### 傾向/示唆

- 特別な配慮が必要な児童生徒のうち、自閉症・情緒障害、ADHD、知的障害、LDの順に、デジタル教科書を活用して指導している教師の割合が多い。ただし、元々の特別な配慮が必要な児童生徒の割合に比例している点に留意する必要がある。
- これらの児童生徒への教科指導の詳細については、次頁以降の「追加ヒアリング調査結果」も参照。

##### デジタル教科書を活用して教科指導を行っている教師が担当している 特別な配慮が必要な児童生徒の特性



上記に該当しないが配慮が必要 (例：困難な点が複数ある場合や色覚特性、化学物質過敏など)

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.3. 追加ヒアリング調査結果

分析テーマ

⑦ 特別な配慮が必要な児童生徒の  
教科指導におけるデジタル教科書の活用

- アンケート調査では十分な把握が困難な、要配慮児童生徒へのデジタル教科書の効果を分析するため、過年度調査では対象としていなかった国語・理科・社会について、当該教科を担当する教員を対象にヒアリング調査を行いました。

#### ① 鳥取市立若葉台小学校

国語

LD、ADHD

#### デジタル教科書等の利用状況

- ・ 教科書発行者：光村図書出版
- ・ デジタル教科書の利用開始時期：令和5年度
- ・ デジタル教科書の使用頻度：毎時間／児童が自由選択
- ・ デジタル教科書の主な利用機能：拡大、シミュレーション
- ・ 教室で利用しているICT機器等：コラボレーションツール

#### 学習上の困難

- ・ 文字を読むことが苦手で、情報を一気に与えられると捉えきれない。
- ・ 漢字を中心に書字が苦手な傾向にある。
- ・ 話の聞き逃しや言葉の捉え違いをすることが多い。

#### デジタル教科書の活用場面

##### ■ デジタル教科書等ICT機器を活用した場面・活用方法

- ・ 授業前に教科書本文の音声を聞かせておき、授業での範読の時間を短縮。
- ・ 教科書本文を読んで、気付きがあった箇所は赤、わからない箇所は青で色を付け、教科書紙面のスクリーンショットを授業前にコラボレーションツールで提出させる。
- ・ 拡大機能やルビ機能を活用して本文を読みやすくする。

##### ■ 活用による児童の変化

- ・ 紙より端末で文章を読むことに慣れていく児童が多く、デジタル教科書の導入で、より集中して本文を読めるようになった。
- ・ 本文を読む際にスクロール機能を使用することで、紙でめくりながら読む場合と比べ、児童が文章間のつながりを捉えやすくなった。

#### 考察／示唆

##### ■ 書き込み機能の効果

- ・ さまざまな情報を同時に捉えることが苦手な児童も、教科書本文に色分けして線を引くことで、**必要な情報を視覚的に捉えやすくなる**と考えられる。

##### ■ 拡大機能の効果

- ・ 小さな文字に拒否感のある児童は、デジタル教科書の拡大機能により、見たい箇所のみを確認でき、**授業に集中しやすくなる**と考えられる。

##### ■ 指導負担の軽減に関する効果

- ・ 家庭学習で教科書本文の音声を聞かせておくことで、文字を読むことが苦手な児童のフォローや児童同士の意見交換に時間を割けるようになる。
- ・ 児童の疑問点がコラボレーションツールに共有され、授業前に把握できるので、児童の問いやわからなさに合わせて授業準備ができる。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.3. 追加ヒアリング調査結果

- (前頁の続き)

分析テーマ

⑦ 特別な配慮が必要な児童生徒の  
教科指導におけるデジタル教科書の活用

#### ② 枚方市立渚西中学校

理科

自閉症・情緒障害、ADHD

##### デジタル教科書等の利用状況

- ・ 教科書発行者：啓林館
- ・ デジタル教科書の利用開始時期：令和3年度
- ・ デジタル教科書の使用頻度：ほぼ毎時間
- ・ デジタル教科書の主な利用機能：シミュレーション、動画
- ・ 教室で利用しているICT機器等：コラボレーションツール

##### 学習上の困難

- ・ 落ち着きがなく、色々な生徒に話しかけに行く傾向にある。
- ・ 書字に課題のある生徒がみられる。
- ・ 一斉の指示や配布された資料だけでは、1人で課題に取り組めないことが多い。

##### デジタル教科書の活用場面

###### ■ デジタル教科書等ICT機器を活用した場面・活用方法

- ・ 生徒は手元の端末で、デジタル教科書の動画やシミュレーション機能を自由なタイミングで繰り返し活用している。
- ・ 授業内容をコラボレーションツールにまとめることを単元ごとの課題としている。生徒は、タイピングやかな入力（五十音キーボード）を用いた入力、デジタル教科書中の資料のキャプチャ・貼り付けなどにより、まとめを作成。

###### ■ 活用による生徒の変化

- ・ デジタル教科書を導入し、生徒が自分なりの方法で課題に取り組むことができるようになった。また、コラボレーションツールと組み合わせることで、他の生徒の課題への取組状況を参照できる環境も整った。その結果、生徒は課題であるまとめ作成を丁寧に取り組むようになった。

##### 考察／示唆

###### ■ 動画・シミュレーション機能の効果

- ・ 落ち着きのない生徒でも、手元のデジタル教科書で好きなタイミングで動画を視聴できることで、**集中して課題に取り組めるようになる**と考えられる。

###### ■ 単元のまとめを作成する課題をデジタル化したことの効果

- ・ 書字に課題のある生徒は、タイピングで課題に取り組み、仕上がりが丁寧になった。**課題に取り組む負担が減少した**と考えられる。
- ・ 1人では課題に取り組みづらい生徒も、課題や資料等の情報が端末内に集まることで、**課題を理解し情報を整理しやすくなる**と考えられる。

###### ■ 指導負担の軽減に関する効果

- ・ 一斉指導より、生徒への個別のフォローに時間を割けるようになった。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### 4.3. 追加ヒアリング調査結果

- (前頁の続き)

分析テーマ

⑦ 特別な配慮が必要な児童生徒の  
教科指導におけるデジタル教科書の活用

#### ③ 那珂川市立安徳南小学校

社会

知的障害、自閉症・情緒障害

##### デジタル教科書等の利用状況

- ・ 教科書発行者：教育出版
- ・ デジタル教科書の利用開始時期：令和6年度
- ・ デジタル教科書の使用頻度：毎時間使用
- ・ デジタル教科書の主な利用機能：動画、書き込み
- ・ 教室で利用しているICT機器等：コラボレーションツール

##### 学習上の困難

- ・ 紙の教科書の文字を読んでも、具体的なイメージを持つことができず、そこから自分の考えを言語化することが難しい。
- ・ 自分の分からないことがあると混乱してしまう傾向にある。

##### デジタル教科書の活用場面

##### 考察／示唆

##### ■ デジタル教科書等ICT機器を活用した場面・活用方法

- ・ デジタル教科書から視聴できる動画を活用している。児童の生活との関連が薄い水産業の単元では、動画により漁業への理解を促進した。
- ・ デジタル教科書中の資料をキャプチャし、学習支援ソフト上のノートに貼り付けさせ、資料を見て気付いたことを、デジタル教科書に直接書き込ませている。
- ・ 児童が考えを説明する際、提示したい資料だけを拡大表示している。

##### ■ 活用による児童の変化

- ・ 動画や資料を用いると、学習内容を視覚的に理解しやすくなり、児童の学習意欲が向上している。

##### ■ 書き込み機能の効果

- ・ 紙のノートに考えをまとめることが難しい児童も、教科書から資料を探す活動や、学習支援ソフト上のノートにデジタル教科書の資料を切り貼りする活動には取り組みやすい。自分1人でノートをまとめ、複数の資料を比較参照することができ、**授業への参加意欲が向上した**と考えられる。
- ・ 資料からの情報の整理が難しい児童でも、デジタル教科書の資料に丸や矢印を書き込み「ここがこうなっている」と言えば、他の児童が「〇〇が増えていると思っただね」など言葉を補うことができ、児童の考えを解釈してもらいやすい。児童が**自分の考えを伝える機会を増やすことに繋がる**と考えられる。

##### ■ 指導負担の軽減に関する効果

- ・ 授業準備での資料探しや、児童への説明の時間が短縮され、児童が考える時間や考えを深掘りする時間が増えた。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果 (参考1) 授業全体の使用頻度別の教科ごとのサンプル数

- 主なクロス集計の対象となっている、授業でのデジタル教科書の使用頻度について、教科別のサンプル数を参考として示します。
- 赤色セルの区分では、標本誤差が大きく（10%超）、分析結果では該当するグラフに◆を記載しています。

各教科におけるデジタル教科書の使用頻度の回答数

教師の使用頻度	全教科
100%（毎授業で使用）	2,571
75%（4回に3回程度は使用）	1,323
50%（半分程度は使用）	1,294
25%（4回に1回程度は使用）	941
25%未満（4回に1回未満）	2,908

小学生（中高学年）の使用頻度	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	377	127	227	121	350	1,215
だいたい使う（4回に3回程度）	680	218	283	328	522	2,061
ときどき使う（2回に1回程度）	746	259	252	318	538	2,147
たまに使う（4回に1回程度）	1,331	576	312	602	821	3,725
使わない	2,059	1,513	964	437	1,493	6,617

小学生（低学年）の使用頻度	全教科
いつも つかう	3
だいたい つかう	14
ときどき つかう	16
たまに つかう	35
わからない	94

中学生の使用頻度	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	184	140	169	662	322	1,753
だいたい使う（4回に3回程度）	313	169	228	670	293	1,950
ときどき使う（2回に1回程度）	450	236	284	837	256	2,430
たまに使う（4回に1回程度）	1,036	487	564	1,896	525	5,279
使わない	1,813	1,245	1,697	5,892	1,947	15,027

※ 「全教科」は主要5教科以外の教科も含む総数。

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### (参考1) 個別・協働・振り返りの場面での使用頻度別の教科ごとのサンプル数

- (前頁の続き)

学習場面別の各教科における使用頻度の回答数

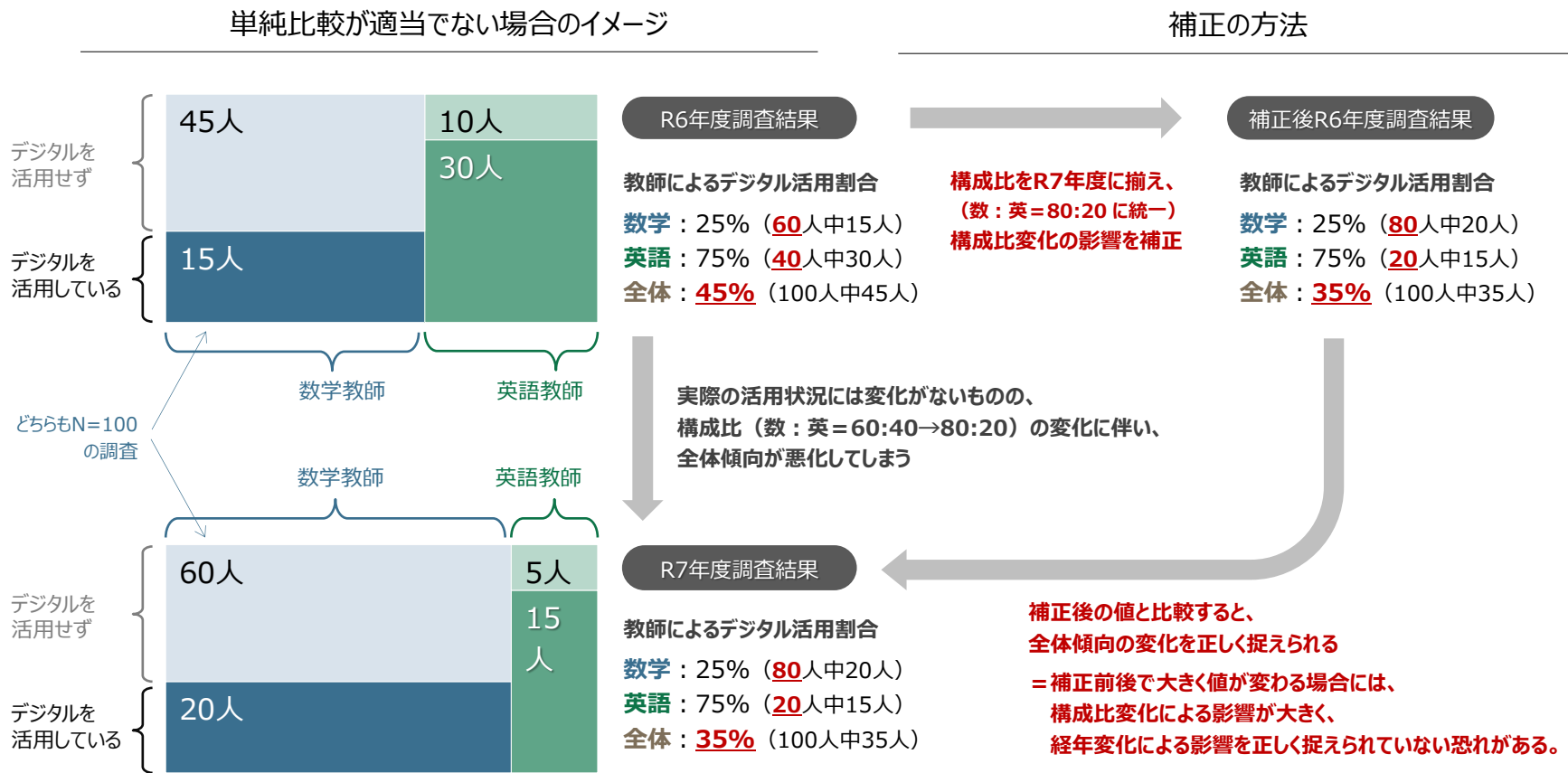
小学生（中高学年）の使用頻度	個別学習の場面での使用頻度						協働学習の場面での使用頻度						振り返りの場面での使用頻度					
	国語	算数	英語	理科	社会	全教科	国語	算数	英語	理科	社会	全教科	国語	算数	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	471	116	218	185	396	1,401	518	125	167	194	390	1,408	409	95	152	148	301	1,122
だいたい使う（4回に3回程度）	600	197	198	274	436	1,730	611	184	219	235	382	1,660	500	160	172	234	342	1,429
ときどき使う（2回に1回程度）	710	262	246	282	493	2,041	691	239	261	274	437	1,944	666	254	212	294	431	1,890
たまに使う（4回に1回程度）	899	369	258	413	614	2,596	784	348	229	410	557	2,375	835	272	232	404	576	2,360
使わない	2,513	1,749	1,118	6,52	1,785	7,997	2,589	1,797	1,162	693	1,958	8,378	2,783	1,912	1,270	726	2,074	8,964

中学生の使用頻度	個別学習の場面での使用頻度						協働学習の場面での使用頻度						振り返りの場面での使用頻度					
	国語	数学	英語	理科	社会	全教科	国語	数学	英語	理科	社会	全教科	国語	数学	英語	理科	社会	全教科
いつも使う	283	101	142	772	263	1,818	268	92	96	680	235	1,627	247	68	92	686	246	1,650
だいたい使う（4回に3回程度）	337	128	190	588	211	1,733	344	111	164	588	224	1,702	277	97	136	562	227	1,545
ときどき使う（2回に1回程度）	493	191	286	826	290	2,473	473	192	247	823	272	2,407	453	196	246	821	272	2,331
たまに使う（4回に1回程度）	557	317	346	1,190	383	3,305	524	278	290	1,105	361	3,017	545	259	292	1,079	337	2,983
使わない	2,126	1,540	1,978	6,581	2,196	17,110	2,187	1,604	2,145	6,761	2,251	17,686	2,274	1,657	2,176	6,809	2,261	17,930

## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

### (参考2) 経年変化分析の留意点：回答者構成の変化に伴う影響（1/2）

- 過年度の調査結果と比較する際、年度間で回答者の構成（教科の構成比）が著しく異なる場合には、単純比較が適当でない（時系列的な傾向を正しく捉えられない）可能性があります。（左図）
- 回答者構成の差異による影響の大きさを評価するために、“過年度調査の回答者構成”を“今年度調査の回答者構成”と揃えることによって、調査結果の補正を行い、補正前の値と補正後の値の比較・検証を行います。
- このとき、補正前後で大きく値が変わる場合には、“構成比の変化による影響”が大きく、単純比較では、“経年変化による影響”を正しく捉えられていない恐れがあります。

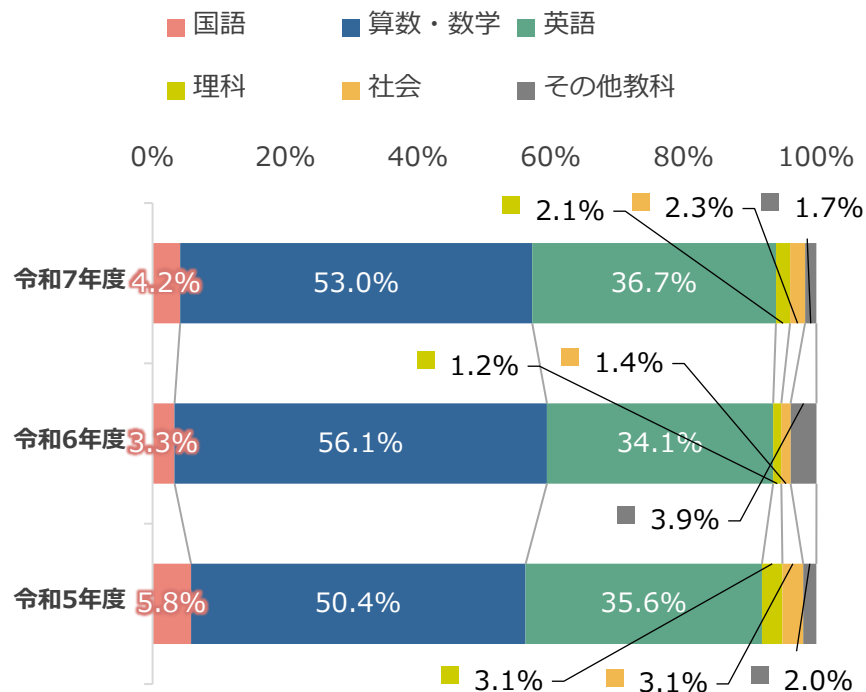


## 4. 大規模アンケート調査等の分析結果

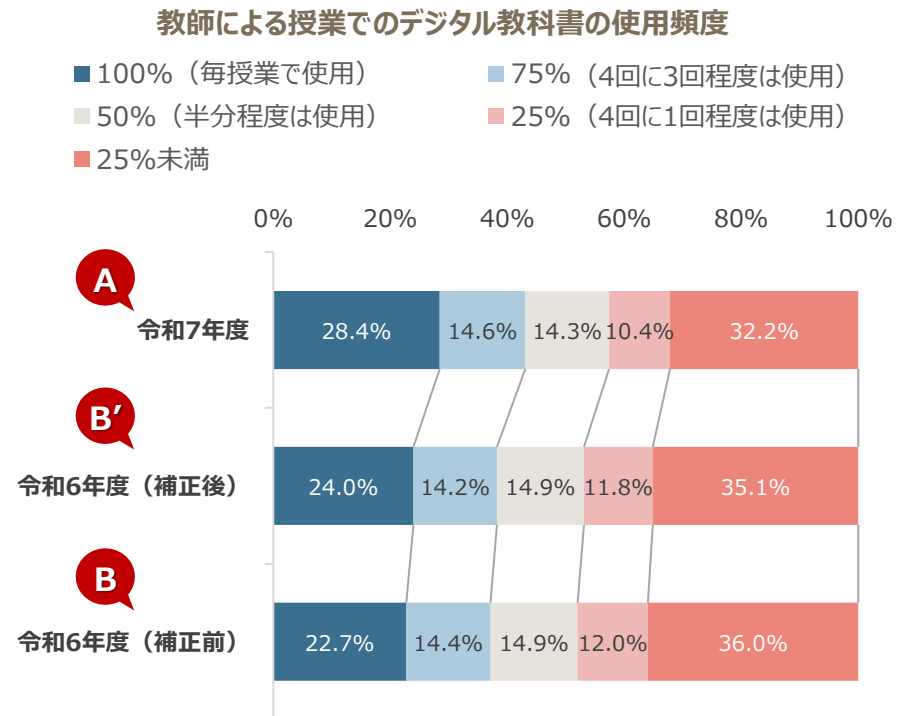
### (参考2) 経年変化分析の留意点：回答者構成の変化に伴う影響（2/2）

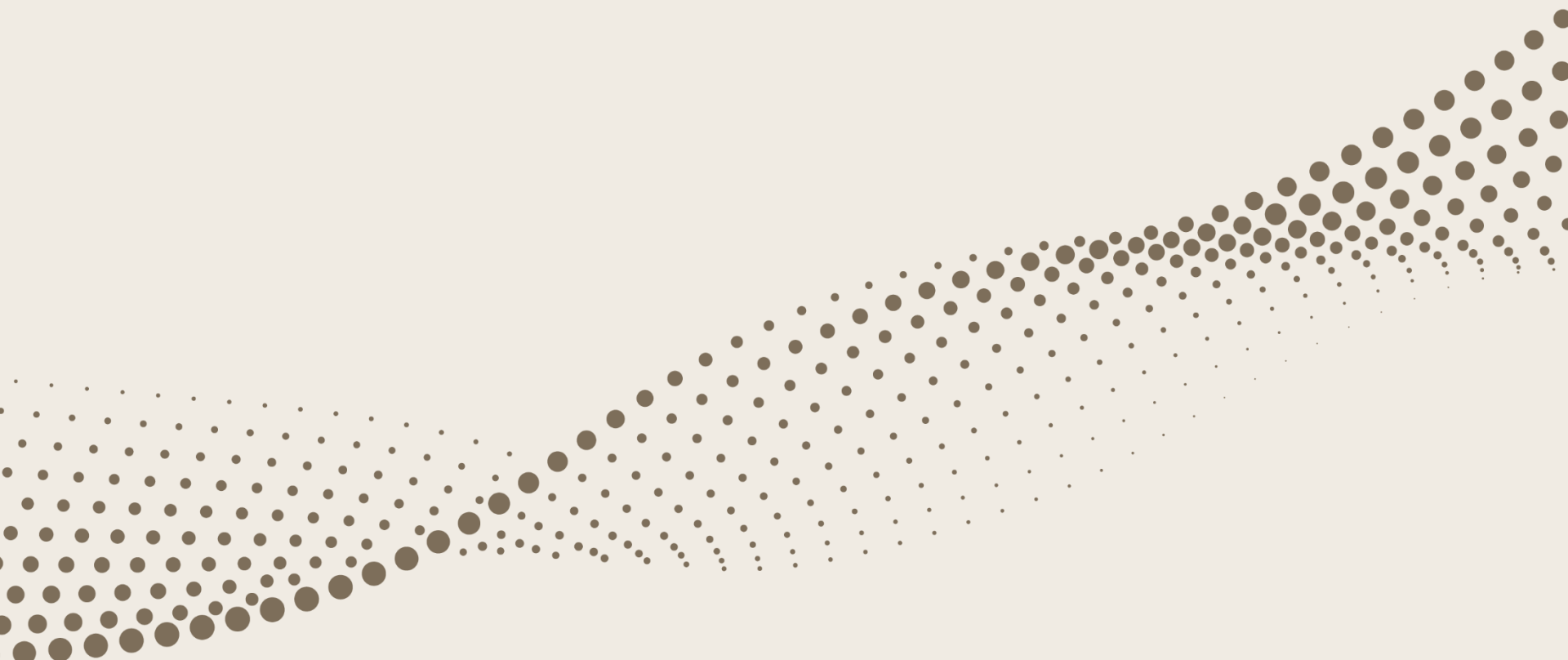
- 令和6年度調査と令和7年度調査の教科構成比を比較すると、「算数・数学」の割合が3.1ポイント減少しており、それに伴い、「英語」、「国語」など他教科の割合が増加しています。（左図）
- 一方、主要指標である「教師による授業でのデジタル教科書の使用頻度」（令和6年度調査結果）について、補正前（右図B）と補正後（右図B'）を比較すると、その差異は最大1.3%となっています。このように、「構成比の変化による影響」（右図BとB'の差異）は「経年変化による影響」（右図AとB'の差異）に比べると小さく、無視できる程度と考えられます。
- 上記のように、分析の中で「経年変化による影響」が見られる際は、「構成比の変化による影響」にも留意した上で、報告書の記載を行っております。

教科構成比の比較



補正前後の値の比較





アビーム、ABeam及びそのロゴは、アビームコンサルティング株式会社の日本その他の国における登録商標です。  
本文に記載されている会社名及び製品名は各社の商号、商標又は登録商標です。 ©2026 ABeam Consulting Ltd.



Build Beyond As One.